



DIGITAL SAXOPHONE

YDS-150

取扱説明書

Owner's Manual

Benutzerhandbuch

Mode d'emploi

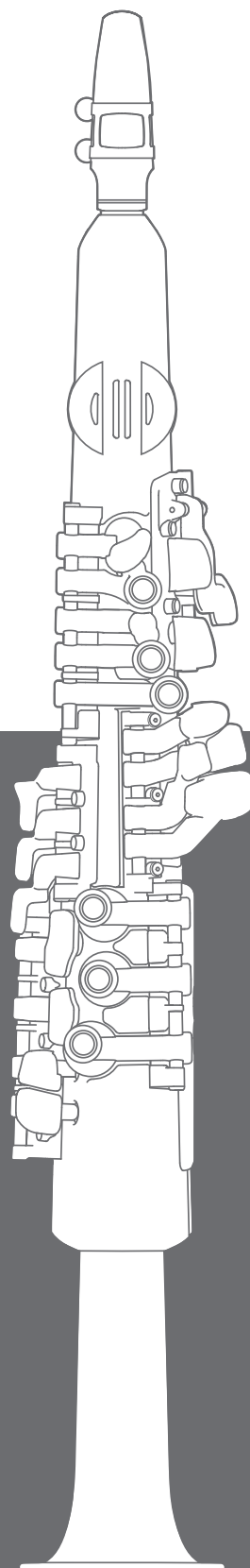
Manual de instrucciones

Manual do Proprietário

Руководство пользователя

사용설명서

使用说明书



日本語

English

Deutsch

Français

Español

Português

Русский

한국어

中文

JA EN DE FR ES PT RU KO ZH

FCC INFORMATION (U.S.A.)

1. IMPORTANT NOTICE: DO NOT MODIFY THIS UNIT!

This product, when installed as indicated in the instructions contained in this manual, meets FCC requirements. Modifications not expressly approved by Yamaha may void your authority, granted by the FCC, to use the product.

2. IMPORTANT: When connecting this product to accessories and/or another product use only high quality shielded cables. Cable/s supplied with this product MUST be used. Follow all installation instructions. Failure to follow instructions could void your FCC authorization to use this product in the USA.

3. NOTE: This product has been tested and found to comply with the requirements listed in FCC Regulations, Part 15 for Class "B" digital devices. Compliance with these requirements provides a reasonable level of assurance that your use of this product in a residential environment will not result in harmful interference with other electronic devices. This equipment generates/uses radio frequencies and, if not installed and used according to the instructions found in the users manual, may cause interference harmful to the operation of other electronic devices. Compliance

with FCC regulations does not guarantee that interference will not occur in all installations. If this product is found to be the source of interference, which can be determined by turning the unit "OFF" and "ON," please try to eliminate the problem by using one of the following measures:

Relocate either this product or the device that is being affected by the interference.

Utilize power outlets that are on different branch (circuit breaker or fuse) circuits or install AC line filter/s.

In the case of radio or TV interference, relocate/reorient the antenna. If the antenna lead-in is 300 ohm ribbon lead, change the lead-in to co-axial type cable.

If these corrective measures do not produce satisfactory results, please contact the local retailer authorized to distribute this type of product. If you can not locate the appropriate retailer, please contact Yamaha Corporation of America, Electronic Service Division, 6600 Orangethorpe Ave, Buena Park, CA90620

The above statements apply ONLY to those products distributed by Yamaha Corporation of America or its subsidiaries.

* This applies only to products distributed by Yamaha Corporation of America.

(class B)

COMPLIANCE INFORMATION STATEMENT (Supplier's declaration of conformity procedure)

Responsible Party : Yamaha Corporation of America
Address : 6600 Orangethorpe Ave., Buena Park, Calif. 90620
Telephone : 714-522-9011
Type of Equipment : Digital Saxophone
Model Name : YDS-150

This device complies with Part 15 of the FCC Rules.

Operation is subject to the following two conditions:

- 1) this device may not cause harmful interference, and
- 2) this device must accept any interference received including interference that may cause undesired operation.

* This applies only to products distributed by Yamaha Corporation of America.

(FCC SDoC)

The model number, serial number, power requirements, etc., may be found on or near the name plate, which is at the rear of the unit. You should note this serial number in the space provided below and retain this manual as a permanent record of your purchase to aid identification in the event of theft.

Model No.

Serial No.

(rear_en_01)

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。



注意喚起を示す記号



禁止を示す記号



行為を指示する記号

■ 「警告」「注意」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を区分して掲載しています。



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

「傷害を負う可能性が想定される」内容です。



警告

電源



禁止

USBケーブルをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、USBケーブルに重いものをのせない。USBケーブルが破損し、感電や火災の原因になります。



必ず実行

電源は必ず交流100Vを使用する。
エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。
感電やショートのおそれがあります。

分解禁止



禁止

この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。
感電や火災、けが、または故障の原因になります。

水に注意



禁止

本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

火に注意



禁止

本体の上ろうそくなど火気のあるものを置かない。

ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

医療用電気機器への影響



医療機器の近くなど電波の使用が制限された区域で使用しない。

心臓ペースメーカーや除細動器の装着部分から15cm以内で使用しない。

本体が発する電波や本体に内蔵されている磁石の磁気により、動作に影響を与えるおそれがあります。

電池



電池を分解しない。

電池の中のものに触れたり目に入ったりすると、化学やけどや失明のおそれがあります。



電池を火の中に入れない。

破裂するおそれがあります。



使い切りタイプの電池は、充電しない。

充電すると液漏れや破裂の原因になります。



電池を金属製のネックレスやヘアピン、コイン、鍵などと一緒に持ち運んだり、保管しない。

電池がショートし、発熱、破裂、火災のおそれがあります。



指定(15ページ)以外の電池を使用しない。

火災、発熱、液漏れの原因になります。



複数の電池を使う場合、同じメーカーの同じ種類、同じ品番の新しい電池を使用する。

種類やメーカー、品番の異なる電池と一緒に使用したり、新しい電池と古い電池を一緒に使うと、火災、発熱、液漏れの原因になります。



電池はすべて+/-の極性表示どおりに正しく入れる。

正しく入れていない場合、発熱、火災、液漏れのおそれがあります。



必ず実行

長時間使用しない場合や電池を使い切った場合は、電池を本体から抜いておく。

電池が消耗し、電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。



必ず実行

充電式ニッケル水素電池を使用する場合は、電池の取扱説明書の指示に従う。

電池に付属の取扱説明書をよく読んで、正しくご使用ください。また、充電の充電は、必ず専用の充電器をご使用ください。専用器以外を使用すると、電池が発熱、液漏れ、破裂するおそれがあります。



禁止

電池は子供の手の届くところに置かない。

お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。



禁止

電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。

失明や化学やけどなどのおそれがあります。万一液が目や口に入ったり皮膚についたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。

異常に気づいたら



電源プラグを抜く

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。(電池を使用している場合は、電池を本体から抜く。)

- ・USBケーブルやプラグがいたんだ場合
- ・製品から異常なおいや煙が出た場合
- ・製品の内部に異物が入った場合
- ・使用中に音が出なくなった場合
- ・製品に亀裂、破損がある場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。

⚠ 注意

電源



たこ足配線をしない。

音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。



必ず実行

電源プラグを抜くときは、USBケーブルを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

USBケーブルが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



電源プラグを抜く

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電や火災、故障の原因になることがあります。



必ず実行

USB電源アダプターは、必ず指定のもの(10ページ)を使用する。

異なったUSB電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災の原因になります。

設置



不安定な場所に置かない。
本体が転倒して故障したり、お客様やほかの方々がけがをしたりする原因になります。

禁止



必ず実行

本体を移動するときは、必ずUSBケーブルなどの接続ケーブルをすべて外した上で行う。
コードをいためたり、お客様やほかの方々が転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

電源プラグを使用する場合は、電源プラグは見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。
万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

接続



必ず実行

すべての機器の電源を切った上で、ほかの機器と接続する。また、電源を入れたり切ったりする前に、機器のボリュームを最小にする。
感電、聴覚障害または機器の損傷の原因になります。



必ず実行

演奏を始める前に機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にする。
聴覚障害または機器の損傷の原因になります。

取り扱い



禁止

本体のすき間に手や指を入れない。
お客様がけがをするおそれがあります。



禁止

キイなどのすき間から金属や紙片などの異物を入れない。
感電、ショート、火災、故障や動作不良の原因になることがあります。



禁止

本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
本体が破損したり、お客様やほかの方々がけがをしたりする原因になります。



禁止

マウスピースやリード、キイが破損した状態で使用しない。
ケガをするおそれがあります。



禁止

小さな部品は、乳幼児の手の届くところに置かない。
お子様が誤って飲み込むおそれがあります。



禁止

大きな音量で長時間使用しない。
聴覚障害の原因になります。特にヘッドホンを使用する場合はご注意ください。万一、聴力低下や耳障りを感じた場合は、専門の医師にご相談ください。



必ず実行

ストラップを使用して演奏する場合は、ストラップと楽器が確実に固定されていることを確認する。
楽器が落下して、本体が破損したり、お客様がけがをするおそれがあります。



禁止

ストラップだけを持って楽器を持ち上げない。
楽器がストラップからはずれて落下するおそれがあります。本体が破損したり、お客様やほかの方々がけがをしたりする原因になりますので、必ず楽器本体を持ってください。



禁止

楽器を振りまわすなどの乱暴な取り扱いはいししない。
楽器がストラップからはずれて落下したり、周囲の人を傷つけるなど、思わぬ事故の原因となります。

- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

[♪] (スタンバイ/ オン) スイッチを切った状態 (電源ランプが消えている) でも微電流が流れて

います。[♪] (スタンバイ/ オン) スイッチが切れているときの消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

使用済みの電池は、各自自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

注記(ご使用上の注意)

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

■ 製品の取り扱いに関する注意

- テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。
- スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスのアプリと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるためスマートデバイスの機内モードをオンにしてからBluetoothをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。
- 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。本体が変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります(5℃～40℃の範囲で動作することを確認しています)。
- 本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。本体が変色/変質する原因になります。
- キイを押したまま長時間放置しないでください。キイが故障するおそれがあります。

■ 製品のお手入れに関する注意

- お手入れの際は、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナー、アルコール、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色/変質する原因になりますので、使用しないでください。
- 製品本体には水分が付着しないよう十分注意してください。水分が付着してしまったら、すみやかに乾いた布で拭き取ってください。

お知らせ

■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- Bluetooth® およびロゴはBluetooth SIGの登録商標であり、ヤマハ株式会社はライセンスに基づき使用しています。



- MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

機種名(品番)、製造番号(シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品の背面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

機種名

製造番号

(rear_ja_02)

Bluetoothについて

Bluetoothとは、2.4 GHz帯の電波を利用して、対応する機器と無線で通信を行うことができる技術です。

Bluetooth通信の取り扱いについて

- Bluetooth対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有する周波数帯です。Bluetooth対応機器は、同じ周波数帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を採用していますが、他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断されることがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、電波状況、機器の種類により、通信速度や通信距離は異なります。
- 本機はすべてのBluetooth機能対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。

製品の取り扱いに関する注意

- 本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- 本製品は、日本電波法に基づく認証を受けた無線機器を内蔵しております。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は不要です。ただし、本製品に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解/改造する
 - 本体背面の銘板をはがしたり、消したりする

無線に関するご注意

この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

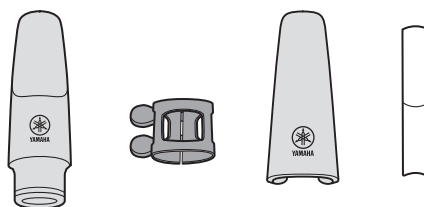
- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。

はじめに

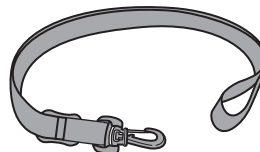
このたびは、ヤマハ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この製品はご家庭などで演奏や練習にお使いいただけるデジタルサクソフォンです。本書では、この製品を演奏するために必要な操作方法を説明しています。この楽器に搭載された機能を十分に活かし、演奏をお楽しみいただくため、本書をよくお読みになってからご使用ください。また、お読みになったあとも、いつでもご覧になれるところに大切に保管していただきますようお願いいたします。

付属品

- マウスピースセット(マウスピース、リガチャー、キャップ、リード)×1



- ストラップ×1



NOTE

- ストラップは専用ケース内側のポケットに収納されています。

- 交換用Oリングセット×1セット(3個)



- 交換用リード×1



- 専用ケース×1

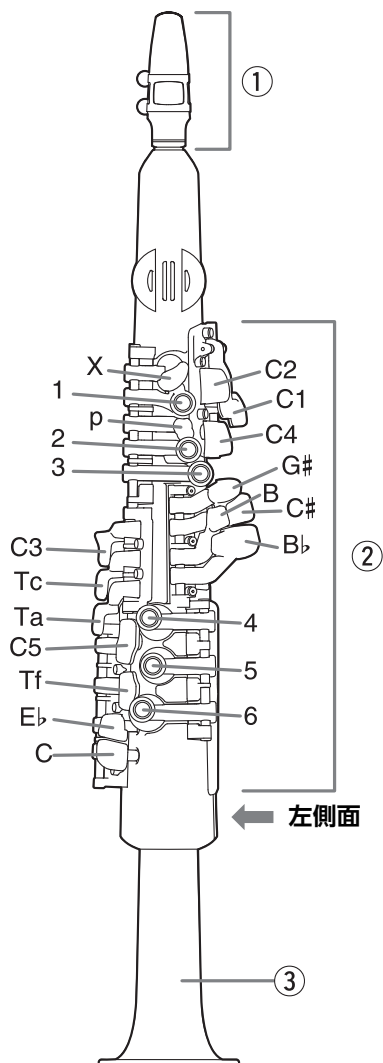
ご注意

- 専用ケースの中に、楽器本体とストラップ以外は収納しないでください。キイが長時間押されることにより、キイが故障するおそれがあります。

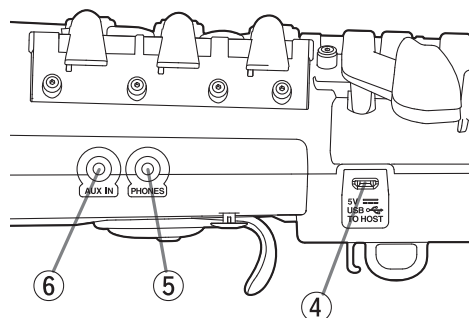
- 取扱説明書(本書)×1

各部の名称と機能

製品の正面



製品の左側面



① マウスピースセット

本製品専用です。

② キー

フィンガリングチャート：20ページ

③ ベル

内側にウォータードレインがあります。水滴や息がここから出ます。

④ 5V DC-IN/USB TO HOST端子

micro USB Type-B端子です。

USBケーブルを使ってUSB電源アダプターやUSBモバイルバッテリー、PCなどと接続します。

ご注意

- USBケーブルは3メートル未満のUSB A - micro Bタイプをご使用ください。

⑤ PHONES端子

ヘッドホンまたはアンプ内蔵スピーカーなどを接続します。3.5mmステレオミニ出力端子です。この端子に接続すると、製品本体からは音が出なくなります。

⚠ 注意

- 大きな音量で長時間ヘッドホンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。
- すべての機器の電源を切った上で、ほかの機器と接続してください。また、電源を入れたり切ったりする前に、機器のボリュームを最小にしてください。感電、聴覚障害または機器の損傷の原因になります。

⑥ AUX IN端子

携帯音楽プレーヤーなどのオーディオ機器を接続して、オーディオ機器に収録された楽曲などヘッドホンで聞くことができます。オーディオ機器の音量は、オーディオ機器側で調整してください。

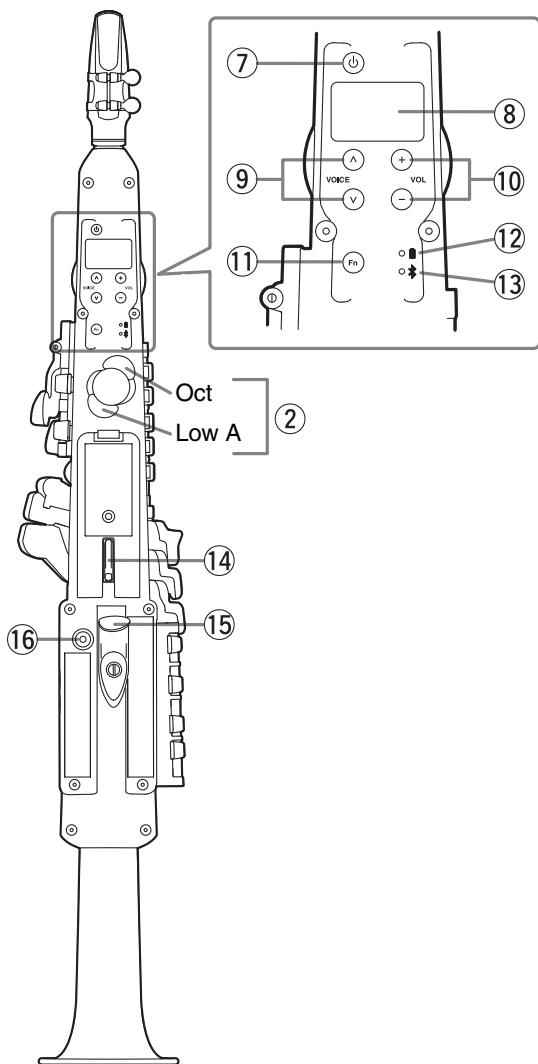
⚠ 注意

- 機器の損傷を防ぐために、オーディオ機器→楽器の順に電源を入れてください。電源を切るときは、この逆の順で行ってください。聴覚障害または機器の損傷の原因になります。

NOTE

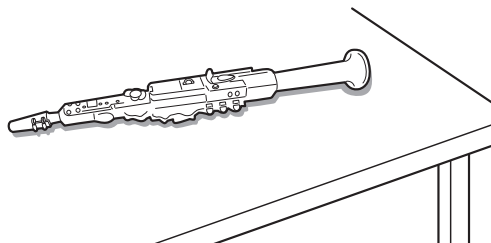
- オーディオケーブルおよび変換プラグは、抵抗のないものをお使いください。
- AUX IN端子、USB TO HOST端子、およびBluetooth接続経由の入力オーディオ信号は、ヘッドホンでのみ聴くことができます。

製品の背面



楽器の置き方

演奏中など楽器を置く場合は、平坦な机などに、キイが下向きになるように置いてください。椅子や譜面台など、不安定なところに置くと、落下などのおそれがあります。また、壁などに立てかけることもおやめください。



ご注意

- 楽器単独で立てて置かないでください。倒れた衝撃で楽器本体が破損するおそれがあります。立てる場合は市販のスタンドなどをお使いください。

⑦ [⏻](スタンバイ/オン)スイッチ

電源のスタンバイ/オンを切り替えます。

⑧ LED画面

音色の番号など、英数字が表示されます。

⑨ VOICE [^]/[v]ボタン

ボタンを押すたびに音色が切り替わります。

⑩ VOL [-]/[+]ボタン

押すたびに楽器の音量を上げ下げできます。ボタンを押している間は連続で音量が変化します。

- 設定範囲：0～15、od (初期設定：13)
- 初期設定音量に戻すには、VOL [-]ボタンとVOL [+]ボタンを同時に押してください。

⑪ [Fn](ファンクション)ボタン

このボタンを押しながら特定のキイを押すことで、色々な機能呼び出せます。また、一部の機能の操作にも使用します。

⑫ 電源ランプ

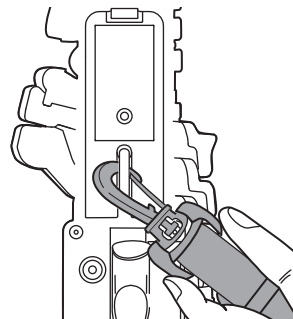
⑬ Bluetoothランプ

⑭ ストラップリング

付属のストラップを取り付けるリングです。

ストラップの付け方

付属のストラップを、しっかりとリングに取り付けてください。ストラップの長さは簡単に変えられますので、ご自分の使いやすい長さに調節してください。



⑮ サムフック

親指で演奏時に楽器を支えるためのフックです。楽器をしっかりと保持するために右手の親指を指かけに引っ掛けます。

⑯ アナログコントローラー

音色に変化を与えるときに使用します。

演奏の準備

■ 電源の準備


この楽器の電源は、以下の2つから選択することができます。お使いになる状況に応じて、それぞれの接続例に従い接続してください。

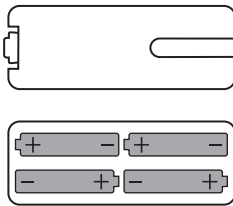
ご注意

- 電池を入れた状態で、市販のUSBケーブルを市販のUSB電源アダプター、または市販のUSBモバイルバッテリーに接続している場合、USBケーブルによる給電が優先されます。


電池(市販)を使用する

この楽器には、単4形の充電式ニッケル水素電池またはアルカリ乾電池が使用できます。

- 1 電源が切れていることを確認します。
電源オフ時は電源ランプ()が消灯します。
- 2 本体を柔らかい布などの上で裏返し、電池カバーを外します。
- 3 電池4本を入れます。
- 4 イラストに合わせて、向きを間違えないように入れてください。



● 電池の残量

電池の残量が約5～10分*まで低下したときは電源ランプ()が点滅します。また、残量が残りわずかときは、電源ランプが消灯しスタンバイ状態となります。

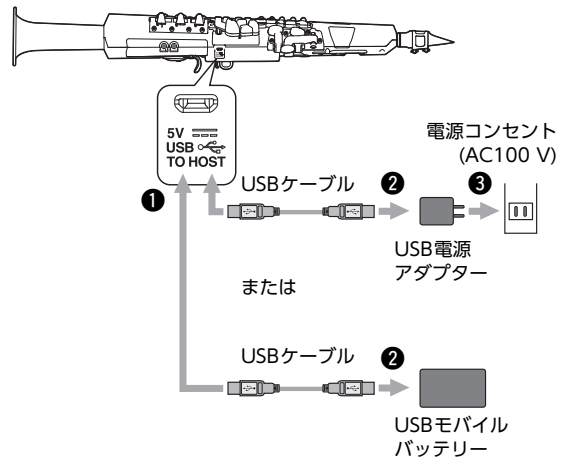
- * 電池の消耗は使用環境によって異なります。

NOTE

- 演奏中に電池が切れないよう、演奏の合間にはこまめに電源ランプを確認することをおすすめします。

USB電源アダプターまたはUSBモバイルバッテリーを使用する

図の順序で市販のUSBケーブルと、市販のUSB電源アダプターまたはUSBモバイルバッテリーを接続します。



● 使用可能なUSB電源アダプター / USBモバイルバッテリー

出力電圧：4.8V～5.2V


出力電流：1.0A以上

⚠ 注意

- 必ずUSB規格に適合し、電源供給ができるものをお使いください。異なったUSB電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。接続について詳しくは、お使いになるUSB電源アダプターやUSBモバイルバッテリーなどの取扱説明書をご覧ください。

■ 電源を入れる・切る

1 [⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れます。

電源がオンになると、電源ランプ()が点灯します。音量はマウスピースを吹いて確かめながら、調整してください。



⚠ 注意

- 大きな音量で長時間使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

ご注意

- 電源を入れてから、楽器が完全に起動するまで操作したり息を吹き込まないでください。楽器が誤動作する原因になります。

2 電源を切るには、もう一度[⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押します(1秒)。

⚠ 注意

- 電源を切った状態でも微電流が流れています。この楽器を長時間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントからUSB電源アダプターを抜いてください。また、長時間使用しない場合は、電池を本体から抜いてください。

NOTE

- 電源をオンにしてから5秒以上ボタン操作がされなかった場合、画面は消灯します。その状態でボタン操作や本体を動かすと再び画面が点灯します。

● オートパワーオフ機能

この楽器は、電源の切り忘れによる無駄な電力消費を防ぐため、本体が一定時間(30分)操作されないと自動的に電源が切れます(オートパワーオフ機能)。初期設定はオンですが、[Fn]ボタンからオン/オフを切り替えることもできます(13ページ)。

● オートパワーオフ機能を有効にする

一度無効にしたオートパワーオフ機能を有効にしたいときは、[Fn]ボタン(13ページ)から設定します。

ご注意

- アンプやスピーカーなどの外部機器を本体に接続した状態で、一定時間本体を操作しない場合は、外部機器損傷を防ぐために外部機器→楽器の順に電源を切ってください。接続した状態で自動的に電源が切れるのを避けたい場合は、オートパワーオフ機能を無効にしてください。

■ 楽器の音量を調整する

音量を調整します。

VOL [+]を押すと1ずつボリュームが上がります。

VOL [-]を押すと1ずつボリュームが下がります。

0~15、odの範囲で調整できます。初期値は13です。



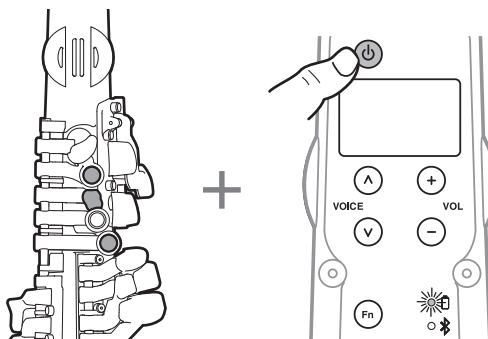
* odは最大音量になり、迫力のある音 that 得られます。音色や音域によっては音が若干ひずみやすくなります。

■ 初期化

すべての設定をリセットし、工場出荷状態と同じ設定にしたいときに操作します。

1 電源が入っている場合には、一度電源を切ります。

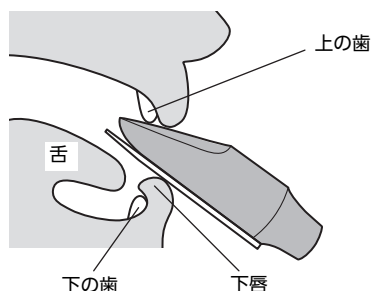
2 キーの[1]と[p]と[3]を押したまま電源を入れます。



演奏する

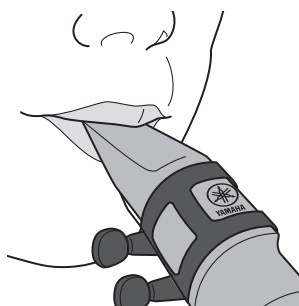
■ マウスピースのくわえかた

マウスピースの先端から1cmくらいの位置に上の歯をしっかりと当て、下の歯はリードに直接あたらないように下唇をかぶせます。



下唇でリードを支え、口の両端から息が漏れないようマウスピースとリードを包み込むように口を閉じます。

* リードとマウスピースは強くかみ過ぎないでください。



■ 音の出し方

マウスピースをくわえ、息を吹き込みます。息の吹き込みかたを強くすると、大きな音になり、弱くすると小さな音になります。アコースティックのサクソフォンのように、リードを振動させる必要はありません。

NOTE

- アコースティックのサクソフォンのようにマウスピースとネックの差し込み量を変えても、音のピッチは変わりません。

■ 音色を選ぶ

マウスピースに息を吹き込んだときに鳴る音を、アルトサクソやテナーサクソなどの音色や調性を変えることができます。

1 VOICE [▲]/[▼]を押します。

LED画面に音色番号が表示されます。

音色の名称は、19ページの音色リストをご覧ください。



LED画面の表示の意味は以下のとおりです。

A.01 ~ *A.17*: アルトサクソの音色 (in E♭)

S.01 ~ *S.13*: ソプラノサクソの音色 (in B♭)

T.01 ~ *T.15*: テナーサクソの音色 (in B♭)

B.01 ~ *B.11*: バリトンサクソの音色 (in E♭)

C.01 ~ *C.17*: サクソ以外の音色 (in C)

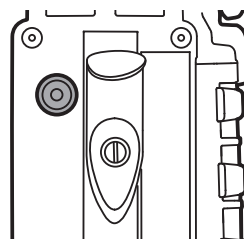
U.01 ~ *U.20*: 専用アプリ(14ページ)で編集したユーザー音色が選択できます。詳しくは専用アプリのマニュアルをご覧ください。

アナログコントローラーを使う

アナログコントローラーは選択した音色によってあらかじめ機能が割り当てられています。

- ピッチを上げ下げする(Pitch Bend ピッチベンド)
- 音に揺れの効果を与える(Modulation モジュレーション)
- 音のつながりを滑らかにする(Portamento ポルタメント)

音色ごとのアナログコントローラーの割り当て機能については、巻末の音色リストをご覧ください。



NOTE

- ポルタメントは、演奏音のピッチを滑らかに上げたり下げたりする奏法です。ポルタメントが割り当てられている音色でアナログコントローラーを倒しながらキイを操作すると、発音のピッチが滑らかに変化します。

[Fn] ボタンで設定を変更する

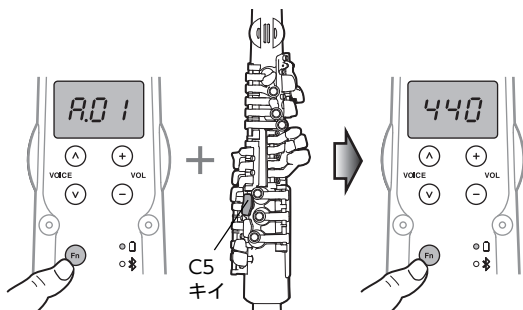
[Fn] ボタンを押しながら特定のキイを押すと、本製品の各種機能を設定できます。

基本操作

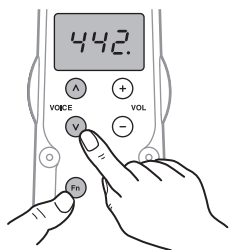
いずれの機能も以下の手順で設定します。

- 1 [Fn] ボタンを押しながら、機能の割り当てられたキイを押します。設定が終わるまで[Fn] ボタンは押したままにしてください。ボタンを離れた時点で値が決定され、音色選択の画面に戻ります。

例) チューニングの場合



- 2 [Fn] ボタンを押したまま、VOICE [A]/[V]を押して、お好みの値を選びます。



NOTE

- VOICE [A]/[V]の2つのボタンを同時に押すと、値が工場出荷時の初期値になります。

- 3 値を選び終わったら、[Fn] ボタンを離します。設定が終わり、音色選択の画面に戻ります。

機能	設定	キイ
息の抵抗感 吹く息の強さに対しての音の出やすさが変化します。設定した値が小さいほど、弱い息でも音が出やすくなります。	1 - 5 初期値：3	C3
息の反応 音が鳴り始める息の強さを調整できます。設定した値が大きいほど、音を鳴らすために強く息を吹き込む必要があります。	1 - 10 初期値：5	Tc
キイの反応 複数のキイを同時に押し離したりするとき、運指のバラつきによる不要な発音を防ぎます。設定値が大きいほど、不要な音が出にくくなります。	1 - 20 初期値：10	Ta
チューニング 楽器全体の音程を調整します。LED画面に音程の設定値が表示されます。427 - 453 Hzの範囲を0.5 Hz刻みで調整可能です。LED表示の桁目のドットは、0.5 Hzを示しています。	427 - 453 (Hz) 初期値：440	C5
オートパワーオフ 自動的に電源が切れる機能を設定します。LED画面に設定値が表示されます	Off, 5, 10, 15, 30, 60, 120 (分) 初期値：30	Tf
Bluetooth機能のオン・オフ Bluetooth機能のオン・オフを設定します。Bluetoothをオンにすると、ヘッドホンの本製品に接続している場合のみ、スマートデバイスなどで再生した楽曲をBluetooth経由で聞くことができます。	On、Off 初期値：Off	E♭
リバーブ 残響効果のエフェクトを設定します。数字が大きいくほど効果は大きくなります。リバーブはヘッドフォンにのみかかります。 NOTE • AUX INやBluetooth経由で再生した楽曲にはリバーブはかかりません。	Off, 1-5 初期値：3	G#

● Bluetooth機能をオンにして、お手持ちのスマートデバイスとペアリングする

1 Bluetooth機能をオンにします。

オンにするとBluetoothランプ(※)がゆっくりと点滅します。

Bluetooth Audioを使用したいときに、ペアリングを行ってください。専用アプリとの接続では、この操作は不要です。

2 [Fn] ボタンを押したまま、Key:Cを押します。
ペアリング待機状態になります。[Fn] ボタンを押したままにしてください。

- LED画面：[b--] ペアリング待機状態
- LED画面：[---] Bluetooth機能がオフ

3 [Fn] ボタンを押したまま、VOICE [∧]を押してペアリングを開始します。

このときLED画面が以下の表示に変わり、Bluetoothランプ(✱)が速く点滅します。



NOTE

- ペアリングを中断したいときはVOICE [V]を押します。

4 スマートデバイス側で接続先を選びます。

[YDS-150 Audio]を選びます。

5 ペアリングが完了すると、Bluetoothランプが速い点滅から点灯に変わります。

ペアリングに失敗したときは、Bluetoothランプがゆっくりと点滅し、LED表示が[b--]に変わります。

6 手順3のペアリング開始から5分経過すると、ペアリングは失敗となります。

7 [Fn] ボタンを離します。

音色選択画面に戻ります。

NOTE

- ペアリング中は常にBluetoothランプが点灯します。
- ご使用のスマートデバイスによっては、大きな音量で再生されることがあります。楽曲を再生する前に、スマートデバイス側の音量を調整してください

専用アプリを使う

本製品の専用アプリを使うことで、本製品の機能をより便利に設定することができます。

1 本製品専用アプリをお手持ちのスマートデバイスにインストールします。

2 Bluetoothで本製品とお手持ちのスマートデバイスを接続します。

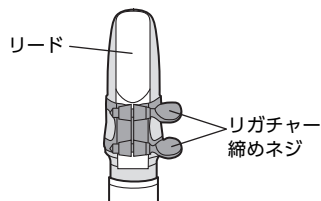
アプリ上から本製品の以下の設定を行うことができます。詳しくはアプリのマニュアルをご覧ください。

- ユーザーボイスの編集
- 運指情報の編集
- ボイス選択ショートカットの有効・無効など

お手入れのしかた

本製品をケースに収納する前に、本体からマウスピースを外し、ベルやマウスピース付近の水分を拭き取ってください。

1 リガチャー締めネジをゆるめ、マウスピースからリードとリガチャーを取り外します。



2 マウスピースをしっかりと持ち、左右に回しながら本体の接合部から引き抜きます。

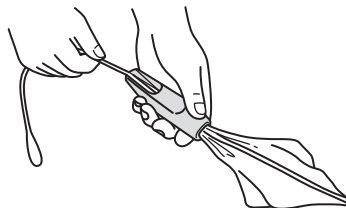


ご注意

- マウスピースを引き抜くときは、ネックの根元に曲げの力がかからないようにしてください。ネックに過度な力がかかって破損するおそれがあります。

3 クリーニングスワブ(別売)でマウスピースの内部を掃除します。

- * マウスピースの先端を傷つけないように注意してください。
- * クリーニングスワブは常に清潔に、乾燥させておきます。



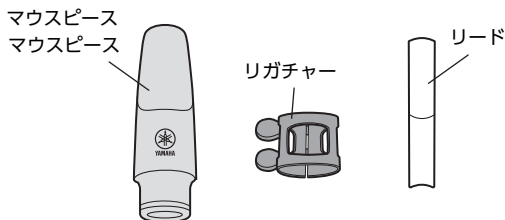
4 ベルやキイは乾いた柔らかい布で拭きます。

■ リードとリガチャーのセット

マウスピースをボディの接合部に、左右に回しながら差し込みます。差し込んだあと、マウスピースにリードとリガチャーをセットします。

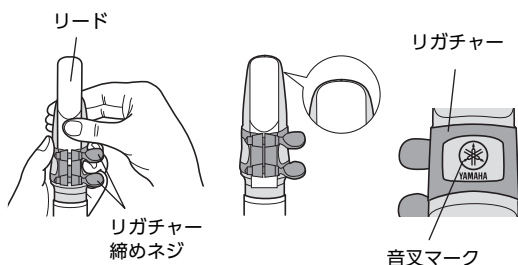
ご注意

- リードの先端は繊細なので、リガチャーなどで傷つけないように注意してください。



- 1 マウスピースの上側からリガチャーを差し込みます。
- 2 マウスピースの先端がほんの少し見えるくらいの位置にリードをセットしたら、リガチャー締めネジ2箇所を締めてリードを固定します。

* リガチャーは、マウスピースの音叉マークが中央に見えるくらいの位置にセットします。



ご注意

- 本製品に付属の専用マウスピースセット(マウスピース、リード、リガチャー)をご使用ください。正しく音が出なかったり、故障するおそれがあります。
- リガチャー締めネジは、リードが動かないように締めます。締めすぎないように注意してください。
- 製品本体および製品内部を水洗いしないでください。故障するおそれがあります。
- 本体接合部にはグリスを塗らないでください。接合部が劣化するおそれがあります。
- 本体の接合部とマウスピースにゆるみを感じたら、接合部のOリングを取り外し、付属のOリングと交換してください。
- 使用しているうちに、リードの先端が欠けたり、リードが変形した場合は、付属の交換用リードと交換してください。

困ったときは

• 音が出続けて止まらない

- 本体の電源を入れ直してください。
- マウスピースの接合部の穴に水分が多く付着している場合、音が出ないことがあります。細い綿棒などで水分を取り除いてください。

仕様一覧

品名	デジタルサクソフォン
音源	AWMサンプリング
Bluetooth接続	Bluetoothバージョン：4.2 対応プロファイル：A2DP Bluetooth Low Energy MIDI Specificationに準拠 無線出力：Bluetooth Class 2 最大通信距離：約10 m 無線周波数(動作周波数)：2,402～2,480 MHz 最大出力電力：4 dBm 変調方式：FHSS
電源	USB電源アダプター：5 V/1 A (micro USB Type-B) セルフパワー USBハブ：5 V/1 A 電池：単4電池(アルカリ乾電池/充電式ニッケル水素電池)×4(市販品)
電池寿命	アルカリ乾電池：3時間 充電式ニッケル水素電池：3時間 (使用環境によって異なります)
消費電力	4.5 W (USB電源アダプター使用時)
オートパワーオフ	○
寸法 (W x D x H)	699 mm x 110 mm x 103 mm
質量	1.0 kg(電池含まず)

本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

EN SIMPLIFIED EU DECLARATION OF CONFORMITY

Hereby, Yamaha Music Europe GmbH declares that the radio equipment type [model 1, model 2, model 3] is in compliance with Directive 2014/53/EU. The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address:

<https://europe.yamaha.com/en/support/compliance/doc.html>

FR DECLARATION UE DE CONFORMITE SIMPLIFIEE

Le soussigné, Yamaha Music Europe GmbH, déclare que l'équipement radioélectrique du type [model 1, model 2, model 3] est conforme à la directive 2014/53/UE. Le texte complet de la déclaration UE de conformité est disponible à l'adresse internet suivante:

<https://europe.yamaha.com/en/support/compliance/doc.html>

DE VEREINFACHTE EU-KONFORMITÄTSEKTLÄRUNG

Hiermit erklärt Yamaha Music Europe GmbH, dass der Funkanlagentyp [model 1, model 2, model 3] der Richtlinie 2014/53/EU entspricht. Der vollständige Text der EU-Konformitätserklärung ist unter der folgenden Interneta-dresse verfügbar:

<https://europe.yamaha.com/en/support/compliance/doc.html>

ES DECLARACIÓN UE DE CONFORMIDAD SIMPLIFICADA

Por la presente, Yamaha Music Europe GmbH declara que el tipo de equipo radioeléctrico [model 1, model 2, model 3] es conforme con la Directiva 2014/53/UE. El texto completo de la declaración UE de conformidad está disponible en la dirección Internet siguiente:

<https://europe.yamaha.com/en/support/compliance/doc.html>

PT DECLARAÇÃO UE DE CONFORMIDADE SIMPLIFICADA

O(a) abaixo assinado(a) Yamaha Music Europe GmbH declara que o presente tipo de equipamento de rádio [model 1, model 2, model 3] está em conformidade com a Diretiva 2014/53/UE. O texto integral da declaração de conformidade está disponível no seguinte endereço de Internet:

<https://europe.yamaha.com/en/support/compliance/doc.html>

Importer: Yamaha Music Europe GmbH

Siemensstrasse 22-34, 25462 Rellingen, Germany

- Radio Frequency (Operational Frequency).....2402 MHz to 2480 MHz
- Maximum Output Power (EIRP) 4.0 dBm (2.5 mW)

This device complies with Industry Canada's licence-exempt RSSs. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause interference; and
- (2) This device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

This equipment complies with IC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment and meets RSS-102 of the IC radio frequency (RF) Exposure rules. This equipment has very low levels of RF energy that is deemed to comply without testing of specific absorption rate (SAR).

This transmitter must not be co-located or operated in conjunction with any other antenna or transmitter.

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment and meets the FCC radio frequency (RF) Exposure Guidelines. This equipment has very low levels of RF energy that is deemed to comply without testing of specific absorption rate (SAR).

PRECAUTIONS

PLEASE READ CAREFULLY BEFORE PROCEEDING

Please keep this manual in a safe and handy place for future reference.



WARNING

Always follow the basic precautions listed below to avoid the possibility of serious injury or even death from electrical shock, short-circuiting, damages, fire or other hazards. These precautions include, but are not limited to, the following:

Power

- Do not place the USB cable near heat sources such as heaters or radiators. Also, do not excessively bend or otherwise damage the cord, or place heavy objects on it.
- Only use the voltage specified as correct for the instrument. The required voltage is printed on the name plate of the instrument.
- Check the electric plug periodically and remove any dirt or dust which may have accumulated on it.

Do not open

- This instrument contains no user-serviceable parts. Do not open the instrument or attempt to disassemble or modify the internal components in any way. If it should appear to be malfunctioning, discontinue use immediately and have it inspected by qualified Yamaha service personnel.

Water warning

- Do not expose the instrument to rain, use it near water or in damp or wet conditions, or place on it any containers (such as vases, bottles or glasses) containing liquids which might spill into any openings. If any liquid such as water seeps into the instrument, turn off the power immediately and unplug the power cord from the AC outlet. Then have the instrument inspected by qualified Yamaha service personnel.
- Never insert or remove an electric plug with wet hands.

Fire warning

- Do not put burning items, such as candles, on the unit. A burning item may fall over and cause a fire.

Influences on electro-medical devices

- Radio waves or magnetism may affect electro-medical devices.
 - Do not use this product near medical devices or inside areas in which the use of radio waves is restricted.
 - Do not use this product within 15cm (6 in.) of persons with a heart pacemaker or defibrillator implant.

Battery

- Follow the precautions below. Failure to do so might result in explosion, fire, overheating or battery fluid leakage.
 - Do not tamper with or disassemble batteries.
 - Do not dispose of batteries in fire.
 - Do not attempt to recharge batteries that are not designed to be charged.
 - Keep the batteries separate from metallic objects such as necklaces, hairpins, coins, and keys.
 - Use the specified battery type (page 15) only.
 - Use new batteries, all of which are the same type, same model, and made by the same manufacturer.
 - Always make sure all batteries are inserted in conformity with the +/- polarity markings.
 - When the batteries run out, or if the instrument is not to be used for a long time, remove the batteries from the instrument.
 - When using Ni-MH batteries, follow the instructions that came with the batteries. Use only the specified charger device when charging.
- Keep batteries away from small children who might accidentally swallow them.
- If the batteries do leak, avoid contact with the leaked fluid. If the battery fluid should come in contact with your eyes, mouth, or skin, wash immediately with water and consult a doctor. Battery fluid is corrosive and may possibly cause loss of sight or chemical burns.

If you notice any abnormality

- When one of the following problems occur, immediately turn off the power switch and disconnect the electric plug from the outlet. (If you are using batteries, remove all batteries from the instrument.) Then have the device inspected by Yamaha service personnel.
 - The USB cable or plug becomes frayed or damaged.
 - It emits unusual smells or smoke.
 - Some object has been dropped into the instrument.
 - There is a sudden loss of sound during use of the instrument.
 - If any cracks or breakages exist on the instrument.

CAUTION

Always follow the basic precautions listed below to avoid the possibility of physical injury to you or others, or damage to the instrument or other property. These precautions include, but are not limited to, the following:

Power

- Do not connect the instrument to an electrical outlet using a multipleconnector. Doing so can result in lower sound quality, or possibly cause overheating in the outlet.
- When removing the electric plug from the instrument or an outlet, always hold the plug itself and not the USB cable. Pulling by the USB cable can damage it.
- Remove the electric plug from the outlet when the instrument is not to be used for extended periods of time, or during electrical storms.
- Use the specified USB power adaptor (page 10) only. Using the wrong adaptor can result in damage to the instrument or overheating.

Location

- Do not place the instrument in an unstable position where it might accidentally fall over.
- Before moving the instrument, remove all connected cables, to prevent damage to the cables or injury to anyone who might trip over them.
- When using an electric plug, make sure that the AC outlet you are using is easily accessible in plain view. If some trouble or malfunction occurs, immediately turn off the power switch and disconnect the plug from the outlet. Even when the power switch is turned off, electricity is still flowing to the product at the minimum level. When you are not using the product for a long time, make sure to disconnect the plug from the wall AC outlet.

Connections

- Before connecting the instrument to other electronic components, turn off the power for all components. Before turning the power on or off for all components, set all volume levels to minimum.
- Be sure to set the volumes of all components at their minimum levels and gradually raise the volume controls while playing the instrument to set the desired listening level.

Handling

- Do not insert a finger or hand in any gaps on the instrument.
- Never insert or drop paper, metallic, or other objects into the gaps on the panel or keys. This could cause physical injury to you or others, damage to the instrument or other property, or operational failure.
- Do not rest your weight on, or place heavy objects on the instrument, and do not use excessive force on the buttons, switches or connectors.
- Do not use the instrument if the mouthpiece, reed or ligature is damaged.
- Keep small parts out of the reach of infants. Your children may accidentally swallow them.
- Do not use the instrument/device or headphones for a long period of time at a high or uncomfortable volume level, since this can cause permanent hearing loss. If you experience any hearing loss or ringing in the ears, consult a physician.
- When using a strap, make sure the strap is securely attached to the instrument.
- Do not lift the instrument by the strap. It can cause serious injury or damage to the instrument.
- Do not treat the instrument in a rough manner such as swinging it about, etc. The strap on the instrument may detach causing unexpected accidents such as the instrument dropping, etc., or injuring persons close by.

Yamaha cannot be held responsible for damage caused by improper use or modifications to the instrument, or data that is lost or destroyed.

Always turn the power off when the instrument is not in use.

Even when the [] (Standby/On) switch is in standby status (power lamp is off), electricity is still flowing to the instrument at the minimum level.

When you are not using the instrument for a long time, make sure you unplug the power cord from the wall AC outlet.

Make sure to discard used batteries according to local regulations.

NOTICE

To avoid the possibility of malfunction/ damage to the product, damage to data, or damage to other property, follow the notices below.

■ Handling

- Do not connect this product to public Wi-Fi and/or Internet directly. Only connect this product to the Internet through a router with strong password-protections. Consult your router manufacturer for information on security best practices.
- Do not use the instrument in the vicinity of a TV, radio, stereo equipment, mobile phone, or other electric devices. Otherwise, the instrument, TV, or radio may generate noise. When you use the instrument along with an application on your smart device such as a smartphone or tablet, we recommend that you set Bluetooth to on after setting "Airplane Mode" to on on that device in order to avoid noise caused by communication.
- Do not expose the instrument to excessive dust or vibrations, or extreme cold or heat (such as in direct sunlight, near a heater, or in a car during the day) to prevent the possibility of panel disfiguration, damage to the internal components or unstable operation. (Verified operating temperature range: 5° – 40°C, or 41° – 104°F.)
- Do not place vinyl, plastic or rubber objects on the instrument, since this might discolor the panel or keyboard.
- Do not leave the instrument for a long period of time with a key pressed, since this might damage the key.

■ Maintenance

- When cleaning the instrument, use a soft cloth. Do not use paint thinners, solvents, alcohol, cleaning fluids, or chemical-impregnated wiping cloths.
- Be careful not to expose the instrument to water. If any water gets on the instrument, wipe it off using a dry cloth.

Information

■ About this manual

- The illustrations and LED displays as shown in this manual are for instructional purposes only, and may appear somewhat different from those on your instrument.
- The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Yamaha Corporation is under license.



- The company names and product names in this manual are the trademarks or registered trademarks of their respective companies.

About Bluetooth

Bluetooth is a technology for wireless communication between devices within an area of about 10 meters (33 ft.), and employs the 2.4 GHz frequency band.

■ Handling Bluetooth communications

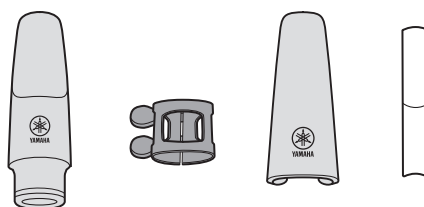
- The 2.4 GHz band used by Bluetooth compatible devices is a radio band shared by many types of equipment. While Bluetooth compatible devices use a technology minimizing the influence of other components using the same radio band, such influence may reduce the speed or distance of communications and in some cases interrupt communications.
- The speed of signal transfer and the distance at which communication is possible differs according to the distance between the communicating devices, the presence of obstacles, radio wave conditions and the type of equipment.
- Yamaha does not guarantee all wireless connections between this unit and devices compatible with Bluetooth function.

Your particular instrument does not have Bluetooth capability if a “Y” indication is printed on the upperright corner of the label at the bottom.

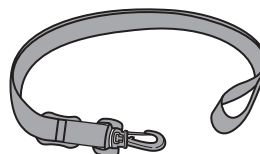
Thank you for purchasing the Yamaha Digital Saxophone! This digital saxophone can be used for playing and practicing at home. We recommend that you read this manual carefully so that you can fully take advantage of the advanced and convenient functions of the instrument. We also recommend that you keep this manual in a safe and handy place for future reference.

Included Accessories

- **Mouthpiece set (mouthpiece, ligature, cap, reed) × 1**



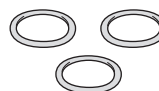
- **Strap × 1**



NOTE

- The strap is stored in the pocket inside the special case.

- **Replacement O-ring × 1 set (3 pieces included)**



- **Replacement reed × 1**



- **Special case × 1**

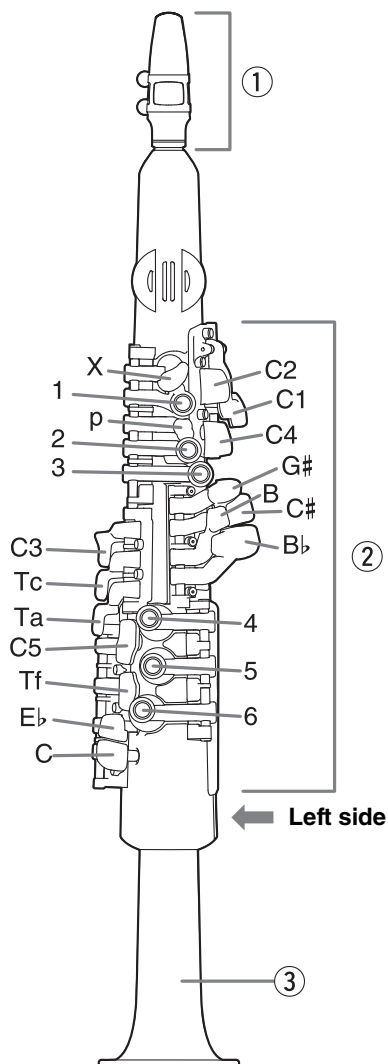
NOTICE

- Make sure to only store this instrument and the strap inside the special case, since storing other things might damage the keys.

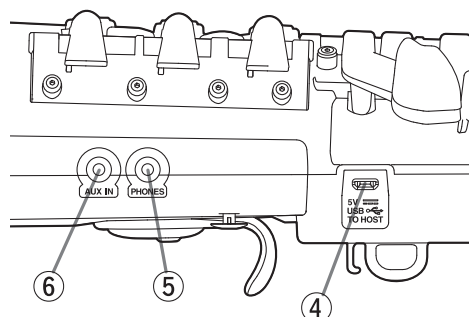
- **Owner's Manual × 1**

Controls and Functions

Front side



Left side



① Mouthpiece set

For use exclusively with this instrument.

② Keys

(Fingering Chart: page 20)

③ Bell

There is a water drain inside the bell. Water condensation and excess breath moisture can be drained from here.

④ 5 V DC-IN/USB TO HOST terminal

Micro USB Type-B terminal.

For connection to a USB power adaptor, USB mobile battery, or PC with a USB cable.

NOTICE

- Use a USB A to micro B cable of less than 3 meters. Do not use a USB 3.0 cable.

⑤ PHONES jack

For connecting a pair of stereo headphones or other equipment with a mini stereo phone plug (3.5 mm). The instrument's built-in speakers automatically stop producing sound when plugged in.

⚠ CAUTION

- To prevent hearing loss, avoid using headphones at high volumes for extended periods of time.
- Before connecting the instrument to other electronic components, turn off the power for all components. Before turning the power on or off for all components, set all volume levels to minimum. This can cause permanent hearing loss.

⑥ AUX IN jack

For inputting the sound of an audio player and listening to it through the built-in speaker of the instrument (with a 3.5 mm, mini stereo phone plug). To adjust the input volume from the [AUX IN] jack, adjust the audio playback volume on the audio device.

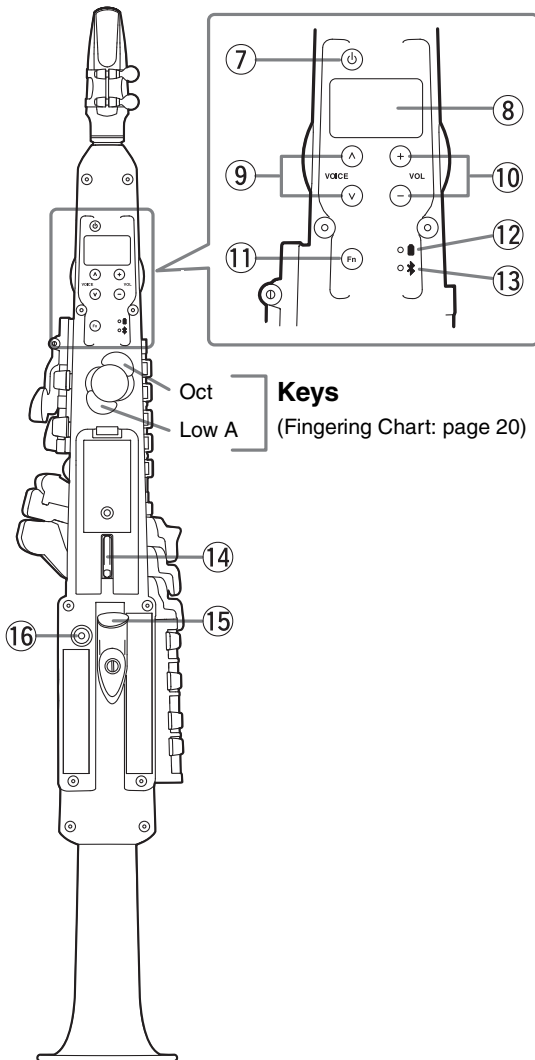
⚠ CAUTION

- To avoid possible damage, first turn on the power for the external device, and then for the instrument. When turning off the power, first turn off the power for the instrument, and then for the external device. This can cause permanent hearing loss.

NOTE

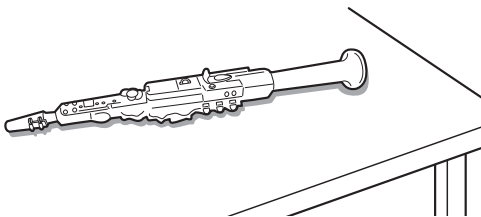
- Use an appropriate adaptor plug if the output jack of the audio device does not match the stereo mini phone plug of the audio cable.
- Use audio cables and adaptor plugs that have no series resistors.

Back side



Laying the Instrument Down

When the instrument is not being played, place it on a flat surface as shown in the illustration below. Do not place the instrument on a chair, music stand, or other such unstable surface, as there is a risk of the instrument falling. Also, never lean the instrument up against a wall, etc.



NOTICE

- Do not stand the instrument up by itself. Doing so can cause damage to the instrument due to the impact if it falls down. If you want to stand the instrument up, please use a commercially available stand.

⑦ [⏻] (Standby/On) button

Press this button to turn on the instrument.

⑧ LED screen

Displays information such as the Voice number in alphanumeric characters.

⑨ VOICE [^]/[v] buttons

Changes the Voice each time a button is pressed.

⑩ VOL [-]/[+] buttons

Raises or lowers the instrument volume each time a button is pressed. Press and hold a button to change the volume quickly.

- Setting range: 0 to 15, od (Default: 13)
- Press the VOL [-] button and VOL [+] button simultaneously to restore the default volume setting.

⑪ [Fn] (Function) button

Press specific keys while holding this button to call up various functions. This is also used to operate some functions.

⑫ Power lamp

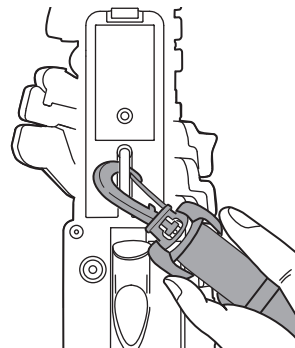
⑬ Bluetooth lamp

⑭ Strap ring

Attach the included strap to this ring.

How to Attach the Strap

Firmly attach the included strap to the ring. You can easily change the length of the strap to adjust it to a length that is easy for you to use.



⑮ Thumb hook

Use this hook to support the instrument with your thumb when playing. Wrap your right thumb around the thumb hook to hold the instrument firmly.

⑯ Analog controller

Used to apply changes to the Voice.

Before Playing

■ Power Requirements


This instrument can be powered in one of the two ways listed below. Determine which you intend to use, and follow the instructions for setting up.

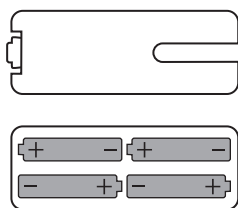
NOTICE

- If you connect the instrument to a commercially available USB power adaptor or USB mobile battery while batteries are in the instrument, priority is given to power from the USB cable.


Using batteries

This instrument requires four “AA” size, alkaline (LR6) / manganese (R6) batteries, or rechargeable nickel-metal hydride batteries (rechargeable Ni-MH batteries).

- 1 Make sure that the power of the instrument is off.**
The power lamp () will be off when the power is off.
- 2 Place the instrument upside-down on a soft cloth and remove the battery cover.**
- 3 Insert the four new batteries, being careful to follow the polarity markings on the inside of the compartment.**



● Remaining Battery Power

When the remaining battery power drops to about 5 or 10 minutes*, the POWER LED lamp () flashes. Furthermore, when there is almost no remaining power, the POWER LED lamp turns off and the instrument enters standby mode.

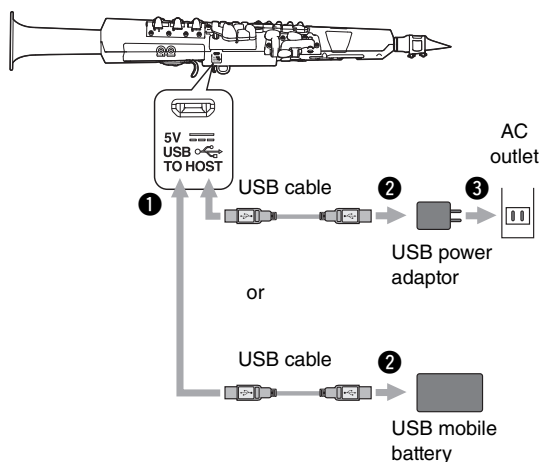
* Varies depending on the usage environment.

NOTE

- You should check the Power lamp frequently and take precautions that the battery does not run out during a performance.

Using a USB power adaptor or USB mobile battery (sold separately)

Connect the USB cable to a USB power adaptor or USB mobile battery (sold separately) in the order shown in the illustration. Follow the order shown here in reverse when disconnecting the USB cable.



- **Use only a USB power adaptor or USB mobile battery compatible with the USB standard for power supply.**

Output voltage 4.8 V to 5.2 V
Output current 1.0 A or greater

CAUTION

- **Before using a USB power adaptor or USB mobile battery, be sure to read the relevant precautions.**

■ Turning on the Power / Setting to Standby

1 Press the [⏻] (Standby/On) button to turn the power on.

The power lamp (🔌) is lit in red when the power is on. Adjust the volume as desired while blowing into the mouthpiece.



⚠ CAUTION

- Do not use the instrument or headphones for a long period of time at a high or uncomfortable volume level, since this can cause permanent hearing loss.

NOTICE

- While turning on the power, do not attempt any other operations, such as blowing into the mouthpiece. Doing so may cause the instrument to malfunction.

2 Press and hold the [⏻] (Standby/On) button for longer than one second to enable standby mode.

⚠ CAUTION

- Even when in standby mode, an electric current is still flowing in the instrument at the minimum level. When you are not using the instrument for a long time, make sure to disconnect the USB power adaptor from the AC outlet, or remove the batteries from the instrument.

NOTE

- If over 5 seconds elapses with no keys or buttons operated since the power was turned on, the LED display turns off. Simply operate any button or move the instrument to turn the LED display on again.

● Enabling / Disabling Auto Power Off

To prevent unnecessary power consumption, this instrument features an Auto Power Off function that automatically turns the power off if the instrument is not operated for a specified period of time (30 minutes). By default, it is set to On; however, this setting can be changed with the [Fn] button.

NOTICE

- If your instrument is connected to other equipment such as amplifiers and speakers but you do not intend to use it for 30 minutes, we recommend that you turn off all devices as described in the corresponding owner's manuals. Doing so eliminates the risk of damage to the other equipment. If you do not want the instrument to turn off automatically when connected to other equipment, disable the Auto Power Off function.

■ Adjusting the Instrument Volume

Adjust the volume.

The volume is increased by 1 each time VOL [+] is pressed. The volume is decreased by 1 each time VOL [-] is pressed. You can adjust the volume in a range of 0 to 15, od. The default value is 13.

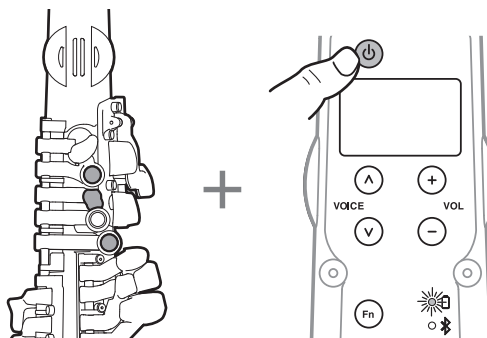


- * The "od" (overdrive) setting is the maximum volume, for the most powerful sound. Keep in mind that there may be distortion in the sound for specific Voices and in the lower ranges.

■ Initialization

Perform this operation when you want to reset all settings to their factory defaults.

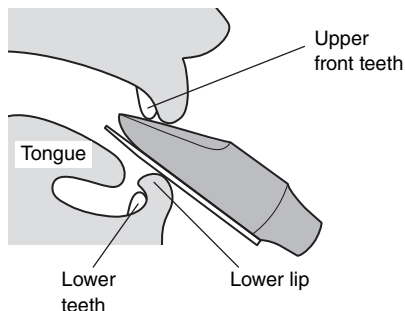
- 1 If the power is on, turn the power off.
- 2 Turn the power on while holding keys [1], [p], and [3].



Playing the Instrument

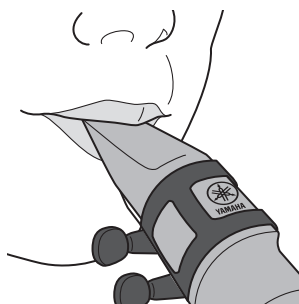
■ Mouth Shape

Position the mouthpiece in your mouth with your upper front teeth resting about 1cm from the tip of the mouthpiece. Cover your lower teeth with your lower lip to keep your teeth from coming into direct contact with the reed.



With the reed resting on your lower lip, seal your mouth around the mouthpiece to keep air from leaking out of the corners of your mouth when blowing.

* Do not bite hard on the reed or mouthpiece.



■ How to Play Sound

Put the mouthpiece into your mouth and blow. Blow strongly for a higher volume, and softly for a lower volume. There is no need to vibrate the reed like an acoustic saxophone.

NOTE

- Unlike an acoustic saxophone, changing the degree to which the mouthpiece is inserted into the neck will not change the pitch of the sound.

■ Selecting a Voice

It is possible to select a Voice and tonality you like, such as an alto saxophone, tenor saxophone, etc.

1 Press VOICE [^]/[v].

The Voice number is displayed on the LED display. For the Voice names, refer to the Voice List on page 19.



The display on the LED screen has the following meanings.

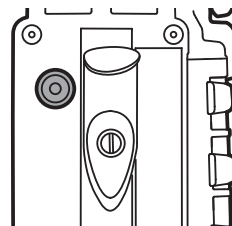
- R.01* to *R.17* : Alto sax Voices (in E \flat)
- S.01* to *S.13* : Soprano sax Voices (in B \flat)
- T.01* to *T.15* : Tenor sax Voices (in B \flat)
- b.01* to *b.11* : Baritone sax Voices (in E \flat)
- C.01* to *C.17* : Non-sax Voices (in C)
- U.01* to *U.20* : You can select user Voices edited in the dedicated app (page 14). For details, refer to the manual for the dedicated app.

Using the Analog Controller

The analog controller has functions assigned by default depending on the selected Voice.

- Raising or lowering the pitch (Pitch Bend)
- Applying vibrato to the sound. (Modulation)
- Smoothing out the pitch slide between notes (Portamento)

For details about the functions assigned to the analog controller for each Voice, see the Voice List at the end of this document.



NOTE

- Portamento is a playing technique that smoothly slides the pitch of the performance up and down. When using a Voice with portamento assigned to it, move the thumb controller to smoothly change the pitch.

Changing Settings with the [Fn] Button

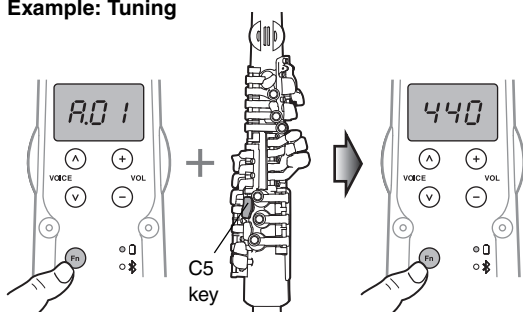
Press specific keys while holding the [Fn] button to perform settings for the various functions of the instrument.

Basic operations

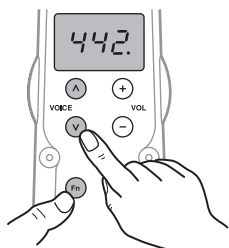
Use the following procedure to perform settings for each function.

- 1 While holding the [Fn] button, press the key to which the function is assigned. Hold the [Fn] button until you finish performing settings. If you release the button, the value at that moment is set and operation returns to the Voice selection screen.

Example: Tuning



- 2 While holding the [Fn] button, press VOICE [^]/[v] and select the desired value.



NOTE

- Press both VOICE [^]/[v] buttons simultaneously to restore the value to the factory default.


- 3 When you have finished selecting a value, release the [Fn] button.

This will complete the setting and return the operation to the Voice selection screen.

Function	Settings	Key
Breath pressure resistance Determines how much the sound volume changes in response to the sustained strength of your breath. The lower the value, the more responsive the instrument is to your breath strength.	1 to 5 Default: 3	C3
Breath response Determines how much the sound volume changes in response to your initial breath strength. The higher the value, the harder you have to initially blow into the instrument to produce sound.	1 to 10 Default: 5	Tc
Key response Prevents unwanted sounds from being produced, due to inconsistent timing in fingering when pressing or releasing multiple keys simultaneously. The higher the value, the more unwanted sounds are suppressed.	1 to 20 Default: 10	Ta
Tuning Adjusts the overall pitch of the instrument. The pitch value is displayed on the LED screen. You can adjust the pitch in the range of 427 to 453 Hz in 0.5 Hz steps. The dot in the first digit of the LED display indicates 0.5 Hz.	427 to 453 (Hz) Default: 440	C5
Auto power off Sets the function for automatically turning the power off. The value is displayed on the LED screen.	Off, 5, 10, 15, 30, 60, 120 (minutes) Default: 30	Tf
Bluetooth function on/off Sets the Bluetooth function on or off. When Bluetooth is on and headphones are connected to this instrument, you can listen to music played on a smart device or similar device via Bluetooth.	On, Off Default: Off	Eb
Reverb Set the reverberation effect. The higher the number, the greater the effect. Reverberation is applied only to the headphone output. NOTE <ul style="list-style-type: none"> • Reverberation does not affect the AUX IN input or the audio data received via Bluetooth. 	Off, 1 to 5 Default: Off	G#

• Turning the Bluetooth function on and pairing with your smart device

- 1 Turn the Bluetooth function on.

When it is on, the Bluetooth lamp () will flash slowly. Perform pairing when you want to use Bluetooth Audio. This operation is not required when connecting to a dedicated app.

2 While holding the [Fn] button, press the C key.

This puts the instrument in pairing standby. Keep holding the [Fn] button.

- LED screen: [b--] Pairing standby
- LED screen: [---] Bluetooth function off

3 While holding the [Fn] button, press the VOICE [^] button to begin pairing.

The LED screen will change to the following display and the Bluetooth lamp (📶) will flash rapidly.



NOTE

- To cancel the pairing, press the VOICE [v] button.

4 Select the connection on the smart device.

Select [YDS-150 Audio] if handling audio.

5 When pairing is complete, the Bluetooth lamp will switch from quickly flashing to staying on.

If pairing fails, the Bluetooth lamp flashes slowly and the LED display changes to [b--].

6 If five minutes elapse since starting pairing in Step 3, pairing fails.

7 Release the [Fn] button.

Operation returns to the Voice selection screen.

NOTE

- While paired, the Bluetooth lamp stays lit up.
- Depending on your smart device, audio can play at a high or uncomfortable volume level. Adjust the volume of your smart device before playing audio.

Using the Dedicated App

You can use the dedicated app for this instrument to perform settings for the functions of this instrument more conveniently.

1 Install the dedicated app for this instrument on your smart device.

2 Connect this instrument and your smart device via Bluetooth.

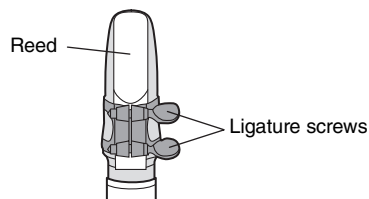
You can perform the following settings for this instrument on the app. For details, refer to the manual for the app.

- Editing user Voices / editing fingering information / enabling and disabling Voice selection shortcuts, etc.

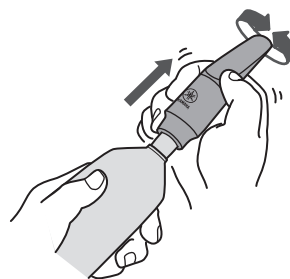
Instrument Maintenance after Playing

Before storing this instrument in its case, remove the mouthpiece from this instrument and wipe off any moisture near the bell and mouthpiece.

1 Loosen the ligature screws and remove the reed and ligature from the mouthpiece.



2 Hold the mouthpiece firmly and turn it from side to side to slide it off from the neck.

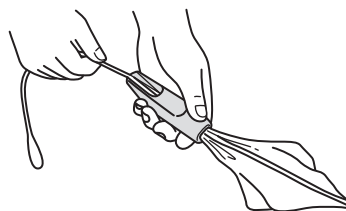


NOTICE

- When removing the mouthpiece, avoid applying a bending force to the neck base. Excessive force applied to the neck can damage it.

3 Use a cleaning swab (sold separately) to clean the inside of the mouthpiece.

- * Be careful not to damage the tip of the mouthpiece.
- * Always keep the cleaning swab clean and dry.



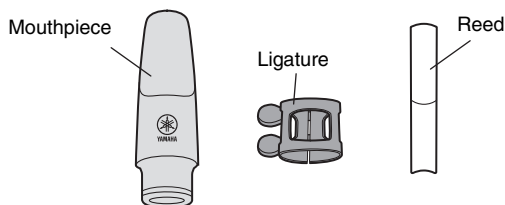
4 Wipe the bell and keys with a dry, soft cloth.

■ Setting the Reed and Ligature

Slide the mouthpiece onto the body's neck, turning from side to side. After attaching the mouthpiece, set the reed and ligature onto the mouthpiece.

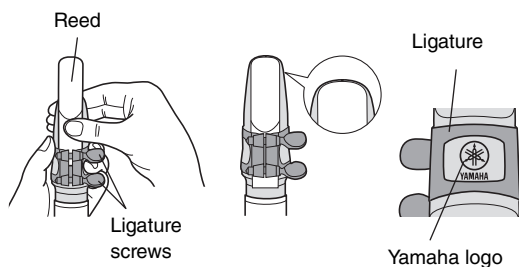
NOTICE

- The reed tip is delicate so please take care not to damage it with the ligature, etc.



- 1 Slide the ligature onto the mouthpiece from its tapered end.**
- 2 Position the reed so that the edge of the mouthpiece is slightly visible over the reed tip. Tighten the two screws on the ligature to secure the reed in place.**

* Position the ligature so that the tuning fork logo is centered in the ligature's open space.



NOTICE

- Use the dedicated mouthpiece set (mouthpiece, reed, ligature) included with this instrument. Failure to do so can result in sound not being produced properly or other malfunctions.
- Tighten the ligature screws just enough to keep the reed from moving. Take care not to over-tighten.
- Do not wash this instrument or the instrument interior with water. Doing so can result in damage to the instrument.
- Do not apply grease to the instrument neck. Doing so can result in damage to the neck.
- When the connection between the neck and the mouthpiece is getting looser, replace the O-ring with the included replacement one.
- If over the course of use the tip of the reed is broken off or the reed becomes disfigured, replace it with the included replacement reed.

Troubleshooting

• Sound does not stop.

- Try turning the power on again.
- Fluid remaining on the hole inside the mouthpiece joint may result in the sound not stopping. Remove fluid from the hole by using a slim cotton swab.

Specifications

Product name	Digital Saxophone
Voices	AWM Sampling
Bluetooth	Bluetooth version: 4.2 Supported profile: A2DP Complies with Bluetooth Low Energy MIDI Specification Wireless output: Bluetooth Class 2 Maximum communication distance: About 10 m Radio frequency (Operation frequency): 2,402 to 2,480 MHz Maximum output power (EIRP): 4 dBm Type of modulation: FHSS
Power supply	USB AC adaptor: 5 V / 1 A Self-powered USB hub: 5 V / 1 A Four "AA" size alkaline (LR6), manganese (R6) or Ni-MH rechargeable (HR6) batteries
Power consumption	4.5 W (when using a USB AC adaptor)
Auto Power Off	Yes
Size (W x D x H)	699 mm (W) x 110 mm (D) x 103 mm (H)
Weight	1.0 kg (not including batteries)

* The contents of this manual apply to the latest specifications as of the publishing date. To obtain the latest manual, access the Yamaha website then download the manual file.
Since specifications, equipment or separately sold accessories may not be the same in every locale, please check with your Yamaha dealer.

VORSICHTSMASSNAHMEN

BITTE SORGFÄLTIG DURCHLESEN, EHE SIE FORTFAHREN

Bitte heben Sie dieses Handbuch an einem sicheren und leicht zugänglichen Ort auf, um später wieder darin nachschlagen zu können.



WARNUNG

Beachten Sie stets die nachstehend aufgelisteten Vorsichtsmaßnahmen, um mögliche schwere Verletzungen oder sogar tödliche Unfälle infolge eines elektrischen Schlags, von Kurzschlüssen, Feuer oder anderen Gefahren zu vermeiden. Zu diesen Vorsichtsmaßnahmen gehören die folgenden Punkte, die jedoch keine abschließende Aufzählung darstellen:

Stromversorgung

- Verlegen Sie das Netzkabel nicht in der Nähe von Wärmequellen wie Heizgeräten oder Radiatoren. Schützen Sie das Kabel außerdem vor übermäßigem Verknicken oder anderen Beschädigungen und stellen Sie keine schweren Gegenstände darauf ab.
- Schließen Sie das Instrument nur an die auf ihm angegebene Netzspannung an. Die erforderliche Spannung ist auf dem Typenschild des Instruments aufgedruckt.
- Überprüfen Sie regelmäßig den Zustand des Netzsteckers, und entfernen Sie Schmutz oder Staub, der sich eventuell darauf angesammelt hat.

Öffnen verboten!

- Dieses Instrument enthält keine vom Anwender zu wartenden Teile. Versuchen Sie nicht, das Instrument zu öffnen oder die inneren Komponenten zu entfernen oder auf irgendeine Weise zu ändern. Sollte einmal eine Fehlfunktion auftreten, so nehmen Sie es sofort außer Betrieb und lassen Sie es von einem qualifizierten Yamaha-Kundendiensttechniker prüfen.

Vorsicht mit Wasser

- Achten Sie darauf, dass das Instrument nicht durch Regen nass wird, verwenden Sie es nicht in der Nähe von Wasser oder unter feuchten oder nassen Umgebungsbedingungen und stellen Sie auch keine Behälter (wie z. B. Vasen, Flaschen oder Gläser) mit Flüssigkeiten darauf, die heraus schwappen und in Öffnungen hineinfließen könnten. Wenn eine Flüssigkeit wie z. B. Wasser in das Instrument gelangt, schalten Sie sofort die Stromversorgung aus und ziehen Sie das Netzkabel aus der Steckdose. Lassen Sie das Instrument anschließend von einem qualifizierten Yamaha-Kundendiensttechniker überprüfen.
- Schließen Sie den Netzstecker niemals mit nassen Händen an oder ziehen Sie ihn heraus.

Brandschutz

- Stellen Sie keine brennenden Gegenstände (z. B. Kerzen) auf dem Instrument ab. Ein brennender Gegenstand könnte umfallen und einen Brand verursachen.

Einflüsse auf elektromedizinische Geräte

- Funkwellen oder magnetische Felder können sich auf elektromedizinische Geräte auswirken.
 - Verwenden Sie dieses Gerät nicht in der Nähe medizinischer Geräte oder in Bereichen, in denen die Nutzung von Funkstrahlung verboten ist.
 - Halten Sie beim Verwenden dieses Produkts einen Mindestabstand von 15 cm zwischen dem Produkt und Personen mit Herzschrittmacher oder Defibrillator ein.

Batterien

- Beachten Sie die folgenden Vorsichtsmaßnahmen. Bei Missachtung der Maßnahmen könnte es zu einer Explosion oder einem Brand kommen oder Batterieflüssigkeit auslaufen.
 - Manipulieren Sie Batterien nicht und nehmen Sie sie nicht auseinander.
 - Werfen Sie Batterien nicht ins Feuer.
 - Versuchen Sie niemals, Batterien aufzuladen, die nicht zum mehrfachen Gebrauch und Nachladen vorgesehen sind.
 - Bewahren Sie die Batterien nicht zusammen mit metallischen Gegenständen wie Halsketten, Haarnadeln, Münzen und Schlüsseln auf.
 - Verwenden Sie ausschließlich die angegebenen Batterietypen (Seite 15).
 - Verwenden Sie neue Batterien gleichen Typs und Modells vom gleichen Hersteller.
 - Vergewissern Sie sich stets, dass alle Batterien gemäß den Polaritätskennzeichnungen (+/-) eingelegt sind.
 - Wenn die Batterien leer sind oder Sie das Instrument längere Zeit nicht nutzen werden, entnehmen Sie die Batterien aus dem Instrument.
 - Bei Verwendung von Ni-MH-Batterien beachten Sie die mit den Batterien gelieferten Anweisungen. Verwenden Sie zum Aufladen ausschließlich das angegebene Ladegerät.
- Halten Sie Batterien von kleinen Kindern fern, die sie versehentlich verschlucken könnten.
- Wenn die Batterien leak sind, vermeiden Sie jede Berührung mit der ausgetretenen Flüssigkeit. Wenn die Batterieflüssigkeit mit Augen, Mund oder Haut in Kontakt kommt, bitte sofort mit Wasser auswaschen und einen Arzt aufsuchen. Batterieflüssigkeit ist ätzend und kann zum Verlust des Augenlichts oder zu chemischen Verbrennungen führen.

Falls Sie etwas Ungewöhnliches am Instrument bemerken

- Wenn eines der folgenden Probleme auftritt, schalten Sie unverzüglich den Netzschalter aus und ziehen Sie den Netzstecker aus der Steckdose. (Wenn Sie Batterien verwenden, entnehmen Sie alle Batterien aus dem Instrument.) Lassen Sie das Gerät anschließend von einem qualifizierten Yamaha-Kundendiensttechniker überprüfen.
 - Das USB-Kabel oder der USB-Stecker sind zerfasert oder beschädigt.
 - Das Instrument sendet ungewöhnliche Gerüche oder Rauch ab.
 - Ein Gegenstand ist in das Instrument gefallen.
 - Während der Verwendung des Instruments kommt es zu einem plötzlichen Tonausfall.
 - Wenn Risse oder Brüche am Instrument vorhanden sind.

Befolgen Sie unbedingt die nachfolgend beschriebenen grundlegenden Vorsichtsmaßnahmen, um die Gefahr von Verletzungen bei Ihnen oder Dritten sowie Beschädigungen des Instruments oder anderer Gegenstände zu vermeiden. Zu diesen Vorsichtsmaßnahmen gehören die folgenden Punkte, die jedoch keine abschließende Aufzählung darstellen:

Stromversorgung

- Schließen Sie das Instrument niemals über einen Mehrfachanschluss an eine Netzsteckdose an. Dies kann zu einem Verlust der Klangqualität führen und möglicherweise auch zu Überhitzung in der Netzsteckdose.
- Fassen Sie immer den Stecker selbst und niemals nur das USB-Kabel an, wenn Sie ihn vom Instrument oder von der Steckdose abziehen. Durch Ziehen am USB-Kabel kann es beschädigt werden.
- Ziehen Sie bei Nichtbenutzung des Instruments über einen längeren Zeitraum oder während eines Gewitters den Netzstecker aus der Steckdose.
- Verwenden Sie ausschließlich den mitgelieferten USB-Netzadapter (Seite 10). Die Verwendung eines nicht adäquaten Adapters kann zu einer Beschädigung oder Überhitzung des Instruments führen.

Aufstellort

- Achten Sie auf einen sicheren Stand des Instruments, um ein unabsichtliches Umstürzen zu vermeiden.
- Ziehen Sie, bevor Sie das Instrument bewegen, alle angeschlossenen Kabel ab, um zu verhindern, dass die Kabel beschädigt werden oder jemand darüber stolpert und sich verletzt.
- Falls Sie das Gerät über Netzspannung versorgen, achten Sie darauf, dass die verwendete Netzsteckdose leicht erreichbar ist. Sollten Probleme auftreten oder es zu einer Fehlfunktion kommen, schalten Sie das Instrument sofort aus, und ziehen Sie den Stecker aus der Steckdose. Auch dann, wenn das Produkt ausgeschaltet ist, wird es minimal mit Strom versorgt. Falls Sie das Instrument für längere Zeit nicht nutzen möchten, sollten Sie unbedingt den Stecker aus der Wandsteckdose ziehen.

Verbindungen

- Bevor Sie das Instrument an andere elektronische Komponenten anschließen möchten, schalten Sie alle Geräte aus. Stellen Sie zunächst alle Lautstärkeregler an den Geräten auf Minimum, bevor Sie die Geräte ein- oder ausschalten.
- Sie sollten die Lautstärke grundsätzlich an allen Geräten zunächst auf die Minimalstufe stellen und beim Spielen des Instruments allmählich erhöhen, bis der gewünschte Pegel erreicht ist.

Yamaha haftet nicht für Schäden, die auf eine nicht ordnungsgemäße Bedienung oder Änderungen am Instrument zurückzuführen sind, oder für den Verlust oder die Zerstörung von Daten.

Schalten Sie das Instrument immer aus, wenn Sie es nicht verwenden.

Auch wenn sich der Schalter [] (Standby/Ein) im Standby-Zustand befindet (Netzstromleuchte ist ausgeschaltet), fließt eine geringe Menge Strom durch das Instrument.

Falls Sie das Instrument längere Zeit nicht nutzen möchten, sollten Sie unbedingt das Netzkabel aus der Steckdose ziehen.

Achten Sie darauf, dass gebrauchte Batterien den geltenden Bestimmungen gemäß entsorgt werden.

Umgang

- Stecken Sie weder Finger noch Hand in irgendwelche Spalten oder Öffnungen des Instruments.
- Stecken Sie niemals Papier, Metallteile oder andere Gegenstände in die Schlitze an den Handgriffen oder Klappen, und lassen Sie nichts dort hineinfallen. Dies könnte Verletzungen bei Ihnen oder anderen Personen, Schäden am Instrument oder an anderen Gegenständen oder Betriebsstörungen verursachen.
- Stützen Sie sich nicht mit dem Körpergewicht auf dem Instrument ab, und stellen Sie keine schweren Gegenstände darauf ab. Üben Sie keine übermäßige Gewalt auf Tasten, Schalter oder Stecker aus.
- Verwenden Sie das Instrument nicht, wenn das Mundstück, das Rohrblatt oder die Blattschraube beschädigt sind.
- Halten Sie kleine Teile außerhalb der Reichweite von kleinen Kindern. Ihre Kinder könnten sie versehentlich verschlucken.
- Verwenden Sie die Kopfhörer des Instruments/Geräts nicht über eine längere Zeit mit zu hohen oder unangenehmen Lautstärken. Hierdurch können bleibende Hörschäden auftreten. Falls Sie Gehörverlust bemerken oder ein Klingeln im Ohr feststellen, lassen Sie sich von Ihrem Arzt beraten.
- Achten Sie bei Gebrauch einer Trageschnur darauf, dass diese gut am Instrument befestigt wird.
- Heben Sie das Instrument nicht an der Trageschnur an. Sie könnten sich verletzen oder das Instrument beschädigen.
- Behandeln Sie das Instrument nicht grob, z. B. Herumschwingen usw. Der am Instrument angebrachte Gurt kann sich lösen und unerwartete Unfälle verursachen, z. B. falls das Instrument herunterfällt usw., oder in der Nähe befindliche Personen können verletzt werden.

ACHTUNG

Um die Möglichkeit einer Fehlfunktion oder Beschädigung des Produkts, der Beschädigung von Daten oder anderem Eigentum auszuschließen, befolgen Sie die nachstehenden Hinweise.

■ Umgang

- Verbinden Sie dieses Instrument nicht direkt mit öffentlichen Wireless-LAN-Netzen und/oder dem Internet. Eine Internetverbindung sollte nur über einen Router mit starkem Passwortschutz hergestellt werden. Informieren Sie sich beim Hersteller des Routers über bewährte Vorgehensweisen in Bezug auf die Sicherheit.
- Betreiben Sie das Instrument nicht in der Nähe von Fernsehgeräten, Radios, Stereoanlagen, Mobiltelefonen oder anderen elektrischen Geräten. Andernfalls können das Instrument, das Fernsehgerät oder das Radio gegenseitige Störungen erzeugen. Wenn Sie das Instrument mit einer App auf Ihrem Smart-Gerät, z. B. dem Smartphone oder Tablet, verwenden, empfehlen wir, dass Sie Bluetooth aktivieren, nachdem Sie den Flugmodus eingeschaltet haben, damit keine Kommunikationsgeräusche entstehen.
- Setzen Sie das Instrument weder übermäßigem Staub oder Vibrationen noch extremer Kälte oder Hitze aus (beispielsweise direktem Sonnenlicht, in der Nähe einer Heizung oder tagsüber in einem Fahrzeug), um eine mögliche Gehäuseverformung, eine Beschädigung der eingebauten Komponenten oder Fehlfunktionen beim Betrieb zu vermeiden. (Nachgeprüfter Betriebstemperaturbereich: 5 °C bis 40 °C)
- Stellen Sie keine Gegenstände aus Vinyl, Kunststoff oder Gummi auf dem Instrument ab, da hierdurch Bedienfeld oder Griffklappen verfärbt werden könnten.
- Lassen Sie das Instrument nicht längere Zeit mit gedrückten Klappen liegen, da diese dadurch beschädigt werden können.

■ Wartung

- Verwenden Sie zur Reinigung des Instruments ein weiches Tuch. Verwenden Sie keine Verdünnung, keine Lösungsmittel, keinen Alkohol, keine Reinigungsflüssigkeiten oder mit chemischen Substanzen imprägnierte Reinigungstücher.
- Achten Sie darauf, das Instrument nicht mit Wasser in Berührung zu bringen. Falls es doch nass wird, wischen Sie es mit einem trockenen Tuch ab.

Informationen

■ Über diese Anleitung

- Die in dieser Anleitung gezeigten Abbildungen und Darstellungen der LED-Anzeige dienen lediglich zur Veranschaulichung und können vom tatsächlichen Aussehen an Ihrem Gerät abweichen.
- Die Wortmarke und das Logo Bluetooth® sind eingetragene Warenzeichen der Bluetooth SIG, Inc. Jegliche Verwendung dieser Zeichen durch die Yamaha Corporation erfolgt unter Lizenz.



- Die Unternehmens- und Produktnamen in diesem Handbuch sind Warenzeichen oder eingetragene Warenzeichen der entsprechenden Unternehmen.

Die Nummer des Modells, die Seriennummer, der Leistungsbedarf usw. sind auf dem Typenschild, das sich auf der Rückseite des Geräts befindet, oder in der Nähe davon angegeben. Sie sollten diese Seriennummer an der unten vorge-sehene Stelle eintragen und dieses Handbuch als dauerhaften Beleg für Ihren Kauf aufbewahren, um im Fall eines Diebstahls die Identifikation zu erleichtern.

Modell Nr.

Seriennr.

(rear_de_01)

Informationen zu Bluetooth

Bluetooth ist eine Technologie für die drahtlose Kommunikation zwischen Geräten im 2,4-GHz-Frequenzband im Umkreis von 10 Metern.

■ Kommunikation über Bluetooth

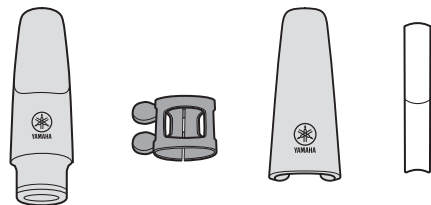
- Das 2,4-GHz-Band, das von Bluetooth-kompatiblen Geräten verwendet wird, ist ein Funkfrequenzband, das von vielen Geräten genutzt wird. Obwohl Bluetooth-kompatible Geräte eine Technologie verwenden, die den Einfluss anderer Komponenten auf dasselbe Funkfrequenzband gering halten soll, können solche Einflüsse durch andere Komponenten die Geschwindigkeit bzw. die mögliche Distanz der Kommunikation verringern und in einigen Fällen eine Kommunikation sogar unmöglich machen.
- Die Geschwindigkeit der Signalübertragung und die Distanz, über die eine Kommunikation möglich ist, hängt von der Entfernung zwischen den kommunizierenden Geräten, dem Vorhandensein von Hindernissen, der Qualität der Funkwellen und der Art des verwendeten Geräts ab.
- Yamaha kann nicht garantieren, dass alle drahtlosen Verbindungen zwischen diesem und anderen Bluetooth-kompatiblen Geräten funktionieren.

Ihr spezielles Instrument verfügt nicht über die Bluetooth-Funktion, wenn auf dem Aufkleber an der Unterseite ein „Y“-Symbol oben rechts in der Ecke aufgedruckt ist.

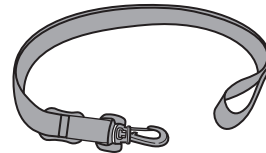
Vielen Dank für den Kauf dieses digitalen Saxophons von Yamaha! Dieses digitale Saxophon können Sie zum Spielen und Üben zu Hause verwenden. Wir empfehlen Ihnen, dieses Handbuch aufmerksam zu lesen, damit Sie die fortschrittlichen und praktischen Funktionen des Instruments voll ausnutzen können. Außerdem empfehlen wir Ihnen, diese Anleitung an einem sicheren und leicht zugänglichen Ort aufzubewahren, um später darin nachschlagen zu können.

Mitgeliefertes Zubehör

- **1 Mundstück-Set (Mundstück, Blattschraube, unterer Ventildeckel, Rohrblatt)**



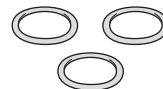
- **1 Trageschnur**



HINWEIS

- Die Trageschnur befindet sich in einer Tasche im Spezialkoffer.

- **1 Set Ersatz-O-Ringe (3-teilig)**



- **1 Ersatz-Rohrblatt**



- **1 Spezialkoffer**

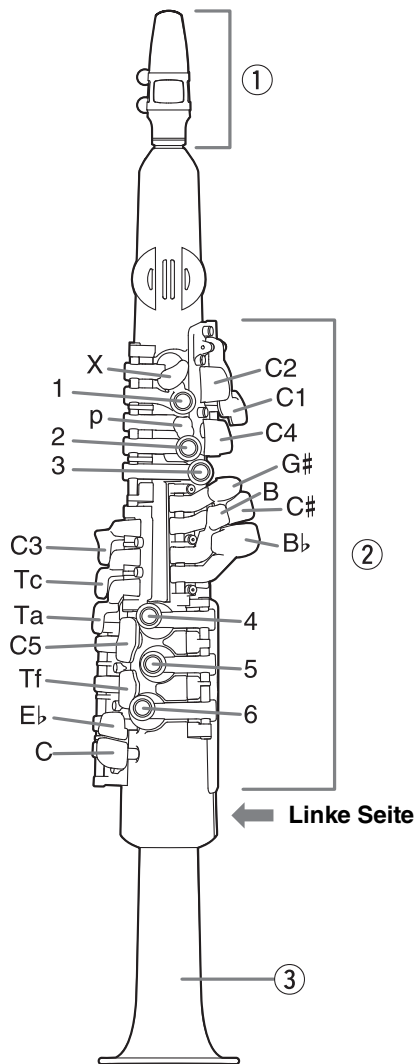
ACHTUNG

- Bewahren Sie nur dieses Instrument und die Trageschnur im Spezialkoffer auf. Andere Gegenstände könnten die Klappen beschädigen.

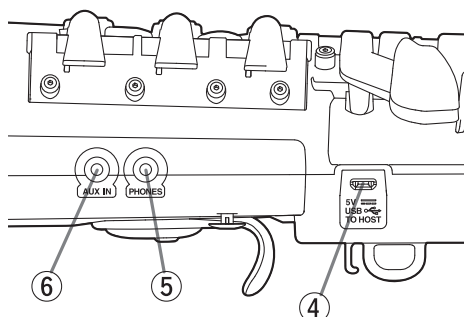
- **1 Benutzerhandbuch**

Bedienelemente und Funktionen

Vorderseite



Linke Seite



① Mundstück-Set

Exklusiv zur Verwendung mit diesem Instrument.

② Klappen

(Griffabelle: Seite 20)

③ Schallstück

Im Schallstück befindet sich ein Wasserablauf. Feuchtigkeit durch Kondenswasser und Atemluft kann hier abgelassen werden.

④ 5-V-Buchse DC-IN/USB TO HOST

Micro USB-Anschluss Typ B.

Zum Anschließen eines USB-Netzadapters, einer USB-Powerbank oder eines PCs über ein USB-Kabel.

ACHTUNG

- Nutzen Sie ein USB A-Micro B-Kabel, das kürzer als 3 m ist. Verwenden Sie kein USB 3.0-Kabel.

⑤ PHONES-Buchse

Dient zum Anschließen eines Stereokopfhörers oder anderer Geräte mit Mini-Stereo-Klinkenstecker (3,5 mm). Die eingebauten Lautsprecher des Instruments geben keinen Klang mehr aus, sobald solche Geräte eingesteckt werden.

⚠ VORSICHT

- Um einem Gehörverlust vorzubeugen, sollten Sie Kopfhörer nicht über längere Zeit mit hoher Lautstärke nutzen.
- Bevor Sie das Instrument an andere elektronische Komponenten anschließen möchten, schalten Sie alle Geräte aus. Stellen Sie zunächst alle Lautstärkeregler an den Geräten auf Minimum, bevor Sie die Geräte ein- oder ausschalten. Ansonsten kann es zu dauerhaften Hörschäden kommen.

⑥ AUX IN-Buchse

Für die Zuführung eines Tonsignals von einem Audioplayer und zum Wiedergeben des Signals über den integrierten Lautsprecher des Instruments (Mini-Stereo-Klinkenstecker, 3,5 mm). Um die Eingangslautstärke von der [AUX IN]-Buchse zu regeln, stellen Sie die Audio-Wiedergabelautstärke am Audiogerät ein.

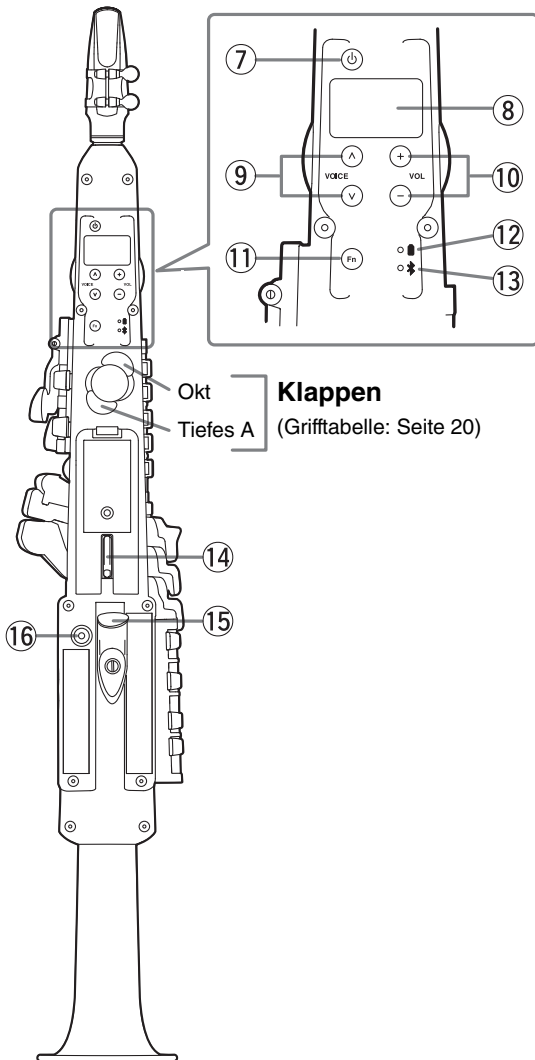
⚠ VORSICHT

- Um mögliche Schäden an den Geräten zu vermeiden, schalten Sie zuerst das externe Gerät und dann das Instrument ein. Wenn Sie das System ausschalten, schalten Sie zuerst das Instrument und danach das externe Gerät aus. Ansonsten kann es zu dauerhaften Hörschäden kommen.

HINWEIS

- Verwenden Sie einen geeigneten Adapterstecker, falls der Stecker vom Kabel vom externen Audiogerät nicht passen sollte.
- Verwenden Sie Audiokabel und Adapterstecker, die keine integrierten Vorwiderstände besitzen.

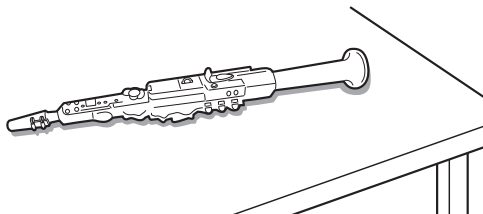
Rückseite



Klappen
(Grifftabelle: Seite 20)

Ablegen des Instruments

Wenn das Instrument nicht gespielt wird, legen Sie es auf eine flache Oberfläche, wie in der Abbildung unten dargestellt. Platzieren Sie das Instrument nicht auf einem Stuhl, einem Notenständer oder einer anderen instabilen Oberfläche, wo es herunterfallen könnte. Lehnen Sie das Instrument auch niemals gegen eine Wand.



ACHTUNG

- Stellen Sie das Instrument nicht für sich auf den Boden. Es kann zu Schäden führen, wenn es umkippt und auf den Boden schlägt. Wenn Sie das Instrument hinstellen möchten, nutzen Sie einen professionellen Ständer.

7 [⏻] (Standby/Ein)-Taste

Mit dieser Taste schalten Sie das Instrument ein.

8 LED-Display

Zur Darstellung von Informationen wie der Voice-Nummer in alphanumerischen Zeichen.

9 VOICE [^]/[v]-Tasten

Zum Ändern der Voice auf Tastendruck.

10 VOL [-]/[+]-Tasten

Auf Tastendruck können Sie damit das Instrument lauter oder leiser stellen. Wenn Sie eine Taste gedrückt halten, können Sie die Lautstärke schnell verändern.

- Einstellbereich: 0 bis 15, „od“ (Voreinstellung: 13)
- Sie können die Voreinstellung wiederherstellen, wenn Sie Tasten VOL [-] und VOL [+] gleichzeitig drücken.

11 [Fn]-Taste (Funktion)

In Kombination mit dieser Taste lassen sich diverse Funktionen aufrufen. Außerdem bedienen Sie hiermit bestimmte Funktionen.

12 Ein/Aus-Anzeige

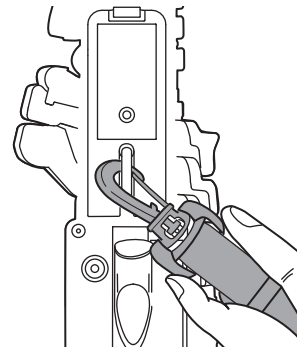
13 Bluetooth-Anzeige

14 Ring für Trageschnur

An diesem Ring wird die beigelegte Trageschnur befestigt.

So befestigen Sie die Trageschnur

Befestigen Sie die beigelegte Trageschnur an diesem Ring. Sie können die Länge der Trageschnur ganz einfach nach Ihren Wünschen einstellen.



15 Daumenauflage

Mit dieser Auflage stützen Sie das Instrument beim Spielen mit dem Daumen. Legen Sie den rechten Daumen um die Daumenauflage, um das Instrument sicher festzuhalten.

16 Analog-Bedienelement

Damit ändern Sie Einstellungen der Voice.

Vor dem Spielen

■ Stromversorgung (Anforderungen)

Dieses Instrument kann wie unten aufgeführt auf zwei verschiedene Weisen mit Strom versorgt werden. Entscheiden Sie, wie Sie das Gerät betreiben möchten, und befolgen Sie dann die Anweisungen zur Einrichtung.


ACHTUNG

- Wenn Sie das Instrument bei eingelegten Batterien mit einem handelsüblichen USB-Netzadapter oder einer USB-Powerbank verbinden, wird es zuerst über das USB-Kabel mit Strom versorgt.

Verwenden von Batterien

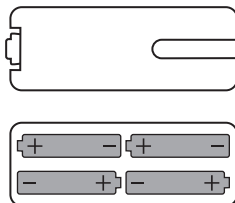
Dieses Instrument benötigt vier Alkali-(LR6)/Mangan-(R6)-Batterien der Größe „AA“ oder wiederaufladbare Nickel-Metallhydrid-Akkus (Ni-MH-Batterien bzw. -Akkus).

1 Stellen Sie sicher, dass das Instrument ausgeschaltet ist.


Die Ein/Aus-Anzeige () erlischt, wenn das Gerät ausgeschaltet ist.

2 Legen Sie das Instrument verkehrt herum auf ein weiches Tuch und entfernen Sie die Batteriefachabdeckung.

3 Setzen Sie vier neue Batterien ein. Achten Sie dabei auf die richtige Polung der Batterien, die Sie der Abbildung im Inneren des Batteriefachs entnehmen können.



● Akku-Anzeige

Wenn der Akkustand auf etwa 5 bis 10 Minuten* Laufzeit fällt, blinkt die „POWER“ LED-Anzeige (). Wenn der Akku danach fast ganz entleert ist, schaltet sich die „POWER“ LED-Anzeige ab, und das Instrument wird in den Standby-Modus versetzt.

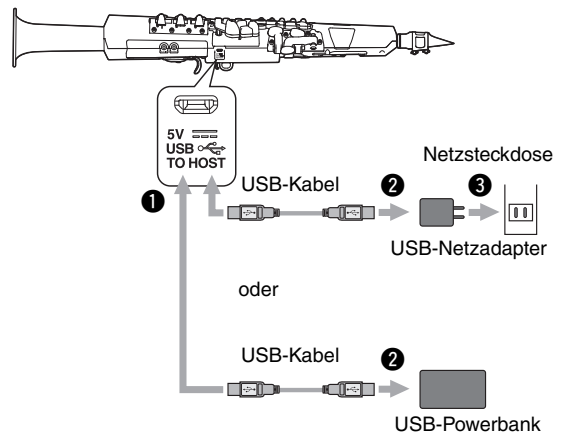
* Variiert je nach Bedienungsumgebung.

HINWEIS

- Wir empfehlen, die „Power“-Anzeige regelmäßig zu prüfen, damit der Akku nicht während des Spielens plötzlich leer ist.

Bei Verwendung eines USB-Netzadapters oder einer USB-Powerbank (separat erhältlich)

Schließen Sie das mitgelieferte USB-Kabel in der angegebenen Reihenfolge an einen USB-Netzadapter oder eine USB-Powerbank (gesondert erhältlich) an. Gehen Sie in umgekehrter Reihenfolge vor, wenn Sie das USB-Kabel abziehen möchten.



● Verwenden Sie nur USB-Netzadapter oder USB-Powerbanks, die dem USB-Standard zur Stromversorgung entsprechen.

Ausgangsspannung 4,8 V bis 5,2 V
Ausgangsstrom 1,0 A oder höher

VORSICHT

- Vor Verwendung eines USB-Netzadapters oder einer USB-Powerbank achten Sie darauf, die entsprechenden Vorsichtsmaßnahmen zu lesen.

■ Einschalten des Instruments oder Aktivieren des Standby-Modus

1 Drücken Sie die Taste [] (Standby/Ein), um das Instrument einzuschalten.

Die Ein/Aus-Anzeige () leuchtet rot, wenn das Instrument eingeschaltet ist.

Stellen Sie die Lautstärke wie gewünscht ein, während Sie in das Mundstück blasen.



VORSICHT

- Benutzen Sie das Instrument oder die Kopfhörer nicht über eine längere Zeit mit zu hohen oder unangenehmen Lautstärken. Hierdurch können bleibende Hörschäden auftreten.

ACHTUNG

- Während Sie das Instrument einschalten, führen Sie keine anderen Bedienvorgänge aus, z. B. Blasen ins Mundstück. Dadurch kann es zu Fehlfunktionen des Instruments kommen.

2 Halten Sie die []-Taste (Standby/Ein) länger als eine Sekunde gedrückt, um das Instrument in den Standby-Modus zu schalten.

VORSICHT

- Auch im Standby-Modus fließt ein geringer elektrischer Strom. Wenn Sie das Instrument voraussichtlich längere Zeit nicht benutzen, achten Sie darauf, den USB-Netzadapter aus der Steckdose zu ziehen und/oder die Batterien/Akkus aus dem Instrument herauszunehmen.
- Wenn nach dem Einschalten mehr als 5 Sekunden verstreichen, ohne dass Klappen betätigt werden, wird die LED-Anzeige ausgeschaltet. Sie können es wieder aktivieren, wenn Sie eine Klappe betätigen oder das Instrument bewegen.

● Aktivieren/Deaktivieren der Auto-Power-Off-Funktion (Automatische Abschaltung)

Um unnötigen Stromverbrauch zu vermeiden, besitzt dieses Instrument eine Auto-Power-Off-Funktion, die das Instrument automatisch ausschaltet, wenn es für eine gewisse Zeit (30 Minuten) nicht benutzt wird. Ab Werk ist die Funktion eingeschaltet, dies kann jedoch mit der [Fn]-Taste geändert werden.

ACHTUNG

- Wenn Ihr Instrument an andere Geräte wie Verstärker und Lautsprecher angeschlossen ist und Sie es in den nächsten 30 Minuten nicht nutzen werden, empfehlen wir Ihnen, alle Geräte wie in den zugehörigen Anleitungen beschrieben auszuschalten. Dies beseitigt die Gefahr einer Beschädigung der anderen Geräte. Wenn Sie nicht möchten, dass sich das Instrument automatisch ausschaltet, wenn es an andere Geräte angeschlossen ist, deaktivieren Sie die automatische Abschaltung (Auto Power Off).

■ Einstellen der Lautstärke des Instruments

Lautstärke einstellen.

Jedes Mal, wenn Sie auf VOL [+] drücken, erhöhen Sie die Lautstärke um den Wert 1. Jedes Mal, wenn Sie auf VOL [-] drücken, verringern Sie die Lautstärke um den Wert 1. Der Lautstärkebereich reicht von 0 bis 15 sowie „od“. Der Vorgabewert liegt bei 13.

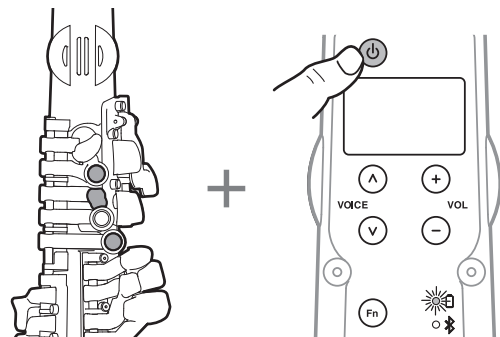


- * Die Einstellung „od“ (Overdrive, Übersteuerung) steht für die größte Lautstärke, den kraftvollsten Sound. Denken Sie daran, dass es bei bestimmten Voices sowie in den tieferen Tonlagen zu Verzerrungen kommen kann.

■ Initialisierung

Durch diesen Vorgang können Sie alle Einstellungen auf die Werksvorgaben zurücksetzen.

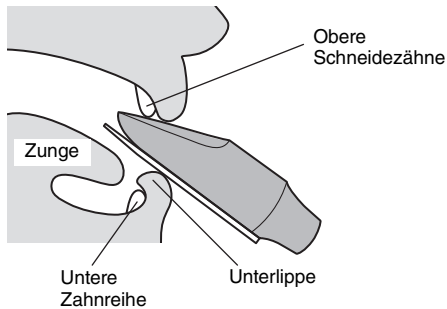
- 1 Falls das Instrument noch eingeschaltet ist, schalten Sie es aus.
- 2 Schalten Sie es ein, während Sie gleichzeitig die Klappen [1], [p] und [3] gedrückt halten.



Das Instrument spielen

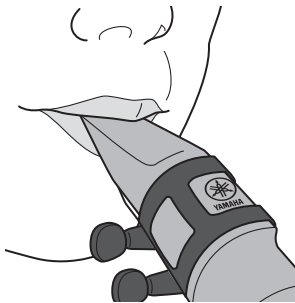
■ Mundhaltung

Nehmen Sie das Mundstück so in den Mund, dass die oberen Schneidezähne etwa 1 cm von der Spitze des Mundstücks entfernt sind. Bedecken Sie die untere Zahnreihe mit der Unterlippe, um zu verhindern, dass Ihre Zähne direkt mit dem Rohrblatt in Kontakt kommen.



Während das Rohrblatt auf der Unterlippe aufliegt, schließen Sie den Mund komplett um das Mundstück, um zu verhindern, dass beim Hineinblasen Luft aus den Mundwinkeln strömt.

- * Beißen Sie nicht hart auf das Rohrblatt oder das Mundstück.



■ Töne erzeugen

Nehmen Sie das Mundstück in den Mund und blasen Sie hinein. Höhere Töne erzeugen Sie, wenn Sie kräftiger blasen, tiefere, wenn Sie sanft blasen. Anders als bei einem akustischen Saxophon, brauchen Sie hier das Rohrblatt nicht in Schwingung zu versetzen.

HINWEIS

- Ebenfalls anders als bei einem akustischen Saxophon, wird die Tonhöhe nicht durch die Stellung des Mundstücks im Hals verändert.

■ Auswahl einer Voice

Sie haben die Möglichkeit, selbst eine Voice und eine Tonalität, z. B. Altsaxophon oder Tenorsaxophon usw., auszuwählen.

1 Drücken Sie auf VOICE [^]/[v].

Die Voice-Nummer wird auf der LED-Anzeige angezeigt. Die entsprechenden Namen finden Sie in der Voice-Liste auf Seite 19.



Die Anzeige auf der LED-Anzeige hat folgende Bedeutungen:

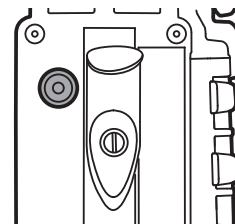
- R.01* bis *R.17* : Altsaxophon-Voices (in E♭)
- S.01* bis *S.13* : Sopransaxophon-Voices (in B♭)
- T.01* bis *T.15* : Tenorsaxophon-Voices (in B♭)
- B.01* bis *B.11* : Baritonsaxophon-Voices (in E♭)
- C.01* bis *C.17* : Andere als Saxophon-Voices (in C)
- U.01* bis *U.20* : Sie können auch Voices von Anwendern auswählen, die in der speziellen App für das Instrument bearbeitet wurden (Seite 14). Weitere Informationen dazu erhalten Sie im Handbuch der App.

Verwendung des Analog-Bedienelements

Dem Analog-Bedienelement sind bestimmte Funktionen je nach ausgewählter Voice als Voreinstellung zugewiesen.

- **Tonhöhe nach oben oder unten verändern (Tonhöhenbeugung)**
- **Vibrato anwenden (Modulation)**
- **Tonhöhenwechsel zwischen Noten glätten (Portamento)**

Einzelheiten dazu, welche Funktionen dem Analog-Bedienelement für jede Voice zugewiesen wurden, finden Sie in der Voice-Liste am Ende des Dokuments.



HINWEIS

- Portamento bezeichnet eine Spieltechnik, durch die beim Spielen die Tonhöhe gleitend nach oben oder unten verändert wird. Wenn Sie eine Voice spielen, der Portamento zugewiesen ist, können Sie die Tonhöhe durch Bewegen der Daumen-Spielhilfe sanft verändern.

Verändern von Einstellungen durch die [Fn]-Taste

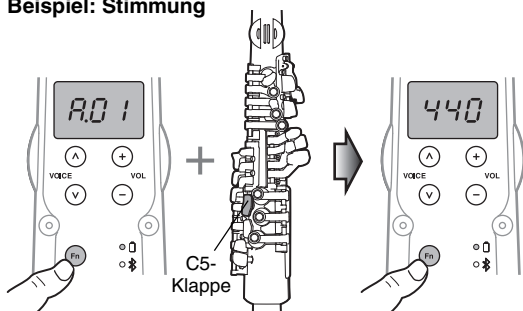
Mithilfe bestimmter Klappen können Sie bei gedrückter [Fn]-Taste Einstellungen für diverse Funktionen des Instruments vornehmen.

Bedienung der Grundfunktionen

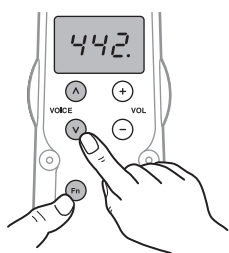
Mit der folgenden Vorgehensweise nehmen Sie Einstellungen für jede Funktion vor:

- 1 Halten Sie die [Fn]-Taste gedrückt und drücken Sie dann die Klappe, der die Funktion zugewiesen ist. Halten Sie die [Fn]-Taste gedrückt, bis Sie mit den Einstellungen fertig sind. Wenn Sie die Taste loslassen, wird der zu diesem Zeitpunkt angezeigte Wert eingestellt, und es wird wieder das Menü für die Voice-Auswahl angezeigt.

Beispiel: Stimmung



- 2 Halten Sie [Fn]-Taste gedrückt, drücken Sie VOICE [^]/[v] und wählen Sie den gewünschten Wert aus.



HINWEIS

- Wenn Sie beide VOICE [^]/[v]-Tasten gleichzeitig drücken, werden die Werte auf die Vorgabe zurückgesetzt.

- 3 Wenn Sie mit der Auswahl eines Werts fertig sind, lassen Sie die [Fn]-Taste los.

Dadurch werden die Einstellungen abgeschlossen, und es wird wieder das Menü für die Voice-Auswahl angezeigt.

Funktion	Einstellungen	Klappe
Atemdruck-Widerstand Legt fest, wie sich die Lautstärke je nach Atemstärke beim anhaltenden Hineinblasen ändert. Je niedriger der Wert ist, desto empfindlicher reagiert das Instrument auf die Atemstärke.	1 bis 5 Voreinstellung: 3	C3
Atemdynamik Legt fest, wie sich die Lautstärke je nach Atemstärke beim ersten Hineinblasen ändert. Je höher der Wert ist, desto kräftiger müssen Sie ins Instrument hineinblasen, um einen Ton zu erzeugen.	1 bis 10 Voreinstellung: 5	Tc
Klappendynamik Damit lassen sich unerwünschte Töne verhindern, die entstehen, wenn Sie beim Griff mehrere Klappen nicht völlig synchron drücken oder loslassen. Je höher der Wert ist, desto mehr unerwünschte Töne werden unterdrückt.	1 bis 20 Voreinstellung: 10	Ta
Stimmung Einstellen der Gesamtstimmung des Instruments. Der Stimmungswert wird auf dem LED-Display angezeigt. Sie können die Tonhöhe in 0,5-Hz-Schritten von 427 bis 435 Hz verändern. Der Punkt an der ersten Stelle der LED-Anzeige zeigt 0,5 Hz an.	427 bis 453 (Hz) Voreinstellung: 440	C5
Auto Power Off Funktion für die automatische Abschaltung. Der Wert wird auf dem LED-Display angezeigt.	Off (Aus), 5, 10, 15, 30, 60, 120 (Minuten) Voreinstellung: 30	Tf
Bluetooth-Funktion Ein/Aus Aktiviert oder deaktiviert die Bluetooth-Funktion. Wenn Bluetooth aktiviert ist, können Sie mit angeschlossenen Kopfhörern über Bluetooth Musik von einem Smart-Gerät oder dergleichen hören.	On (Ein), Off (Aus) Voreinstellung: Off (Aus)	E♭
Reverb Einstellung des Nachhall-Effekts. Je größer die Zahl, desto stärker wirkt der Effekt. Nachhall wird nur auf die Ausgabe über Kopfhörer angewendet. HINWEIS • Der Nachhall beeinflusst nicht den AUX IN-Eingang oder über Bluetooth empfangene Audiodaten.	Off (Aus), 1 bis 5 Voreinstellung: Off (Aus)	G#

• Aktivieren von Bluetooth und Koppeln mit Ihrem Smart-Gerät

- 1 Schalten Sie die Bluetooth-Funktion ein.

Die Bluetooth-Anzeige (📶) blinkt langsam, wenn die Funktion aktiviert ist. Wenn Sie Bluetooth-Audio nutzen möchten, müssen Sie die Geräte koppeln. Das ist nicht erforderlich, wenn Sie eine Verbindung zur eigenen App für das Instrument herstellen.

2 Halten Sie die [Fn]-Taste gedrückt und drücken Sie die Klappe [C].

Dadurch wird das Koppeln des Instruments angehalten. Halten Sie die [Fn]-Taste weiter gedrückt.

- LED-Display: [b--] Standby während der Kopplung
- LED-Display: [---] Bluetooth-Funktion ausgeschaltet

3 Halten Sie die [Fn]-Taste gedrückt und drücken Sie die VOICE [^]-Taste, um mit dem Koppeln zu beginnen.

Das LED-Display ändert sich wie unten abgebildet, und die Bluetooth-Anzeige (📶) blinkt schnell.



HINWEIS

- Um die Kopplung abzubrechen, drücken Sie auf die VOICE [V]-Taste.

4 Wählen Sie die Verbindung auf Ihrem Smart-Gerät aus.

Wenn Sie Audio bearbeiten, wählen Sie [YDS-150 Audio] aus.

5 Nach abgeschlossener Kopplung hört die Bluetooth-Anzeige zu blinken auf und leuchtet dauerhaft.

Falls die Kopplung fehlschlägt, blinkt die Bluetooth-Anzeige langsam, und die LED-Anzeige ändert sich in [b--].

6 Wenn nach dem Beginn der Kopplung in Schritt 3 mehr als fünf Minuten vergehen, ist die Kopplung fehlgeschlagen.

7 Lassen Sie die [Fn]-Taste los.

Es wird wieder das Menü für die Voice-Auswahl angezeigt.

HINWEIS

- Die Bluetooth-Anzeige leuchtet dauerhaft, solange die Kopplung besteht.
- Je nach verwendetem Smart-Gerät können Audiodaten sehr laut oder sogar unangenehm laut wiedergegeben werden. Passen Sie deshalb die Lautstärke auf dem Smart-Gerät vor der Wiedergabe an.

Verwendung der eigenen App

Sie können in der eigenen App für dieses Instrument ganz bequem Einstellungen für Funktionen vornehmen.

1 Installieren Sie die eigene App für dieses Instrument auf Ihrem Smart-Gerät.

2 Verbinden Sie dieses Instrument und Ihr Smart-Gerät per Bluetooth miteinander.

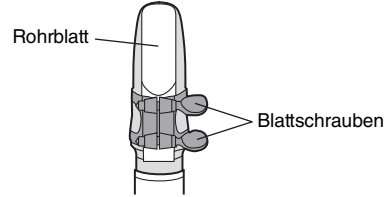
Sie können folgende Einstellungen für dieses Instrument in der App vornehmen. Weitere Informationen erhalten Sie im Handbuch der App.

- Bearbeiten von Anwender-Voices oder Griff-Informationen/ Aktivieren oder Deaktivieren von Kurzbefehlen für die Voice-Auswahl usw.

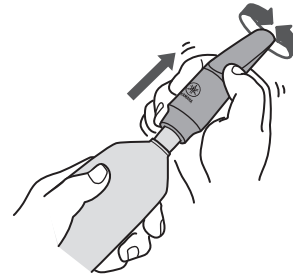
Instrumentenpflege nach dem Spielen

Bevor Sie das Instrument im Koffer verstauen, nehmen Sie das Mundstück ab und wischen Sie Feuchtigkeit um Schallstück und Mundstück ab.

1 Lösen Sie die Blattschrauben und entfernen Sie Rohrblatt und Blattschrauben vom Mundstück.



2 Halten Sie das Mundstück fest und drehen Sie es vorsichtig hin und her, wenn Sie es vom Hals ziehen.

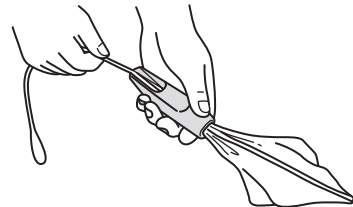


ACHTUNG

- Achten Sie darauf, den Hals beim Entfernen des Mundstücks am Sockel nicht zu biegen. Wenn Sie zu viel Druck auf den Hals ausüben, kann er beschädigt werden.

3 Reinigen Sie das Innere des Mundstücks mit einem speziellen, separat erhältlichen Reinigungstuch.

- * Gehen Sie sorgfältig vor, damit Sie die Spitze des Mundstücks nicht beschädigen.
- * Halten Sie das Reinigungstuch immer sauber und trocken.



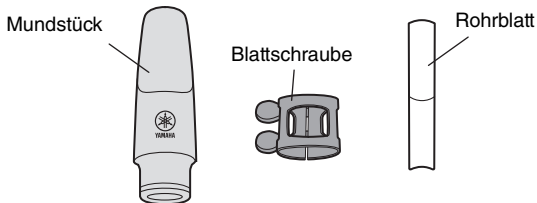
4 Wischen Sie Schallstück und Klappen mit einem trockenen, weichen Tuch ab.

■ Einsetzen von Rohrblatt und Blattschraube

Schieben Sie das Mundstück auf den Hals des Instruments. Drehen Sie es dabei leicht hin und her. Nachdem Sie das Mundstück aufgesetzt haben, bringen Sie das Rohrblatt und die Blattschraube am Mundstück an.

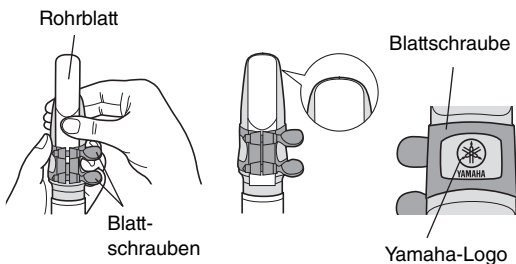
ACHTUNG

- Die Spitze des Rohrblatts ist sehr empfindlich. Achten Sie darauf, sie nicht mit der Blattschraube zu beschädigen.



- Schieben Sie die Blattschraube vom konischen Ende her auf das Mundstück.
- Positionieren Sie das Rohrblatt so, dass das Ende des Mundstücks knapp über der Spitze des Rohrblattes zu sehen ist. Ziehen Sie die beiden Schrauben der Blattschraube fest, um das Rohrblatt zu sichern.

* Positionieren Sie die Blattschraube so, dass das Stimmgabel-Logo in der Mitte des offenen Bereichs der Blattschraube zu sehen ist.



ACHTUNG

- Verwenden Sie das eigens dem Instrument beigelegte Mundstück-Set (Mundstück, Rohrblatt, Blattschrauben). Andernfalls kann es vorkommen, dass die Töne nicht richtig erzeugt werden oder das Instrument anderweitig nicht richtig funktioniert.
- Ziehen Sie die Schrauben so weit fest, dass das Rohrblatt sich nicht verschiebt, aber drehen Sie nicht zu fest.
- Waschen Sie das Instrument oder das Innere des Instruments nicht mit Wasser ab. Dadurch kann es beschädigt werden.
- Tragen Sie kein Fett auf den Instrumentenhals auf. Dadurch kann er beschädigt werden.
- Falls die Verbindung zwischen Hals und Mundstück sich lockert, tauschen Sie den O-Ring gegen einen der mitgelieferten Ersatzringe aus.
- Falls im Verlauf der Benutzung des Instruments das Rohrblatt bricht oder sich verformt, tauschen Sie es gegen das beiliegende Ersatzstück aus.

Fehlerbehebung

• Der Ton wird kontinuierlich weiter ausgegeben.

- Versuchen Sie, das Instrument wieder einzuschalten.
- Wenn sich Flüssigkeit in der Öffnung der Mundstückverbindung befindet, kann es vorkommen, dass der Ton unverändert ausgegeben wird. Entfernen Sie die Flüssigkeit mit einem dünnen Baumwolltuch.

Technische Daten

Produktname	Digitales Saxophon
Voices	AWM-Sampling
Bluetooth	Bluetooth-Version: 4.2 Unterstütztes Profil: A2DP Entspricht der MIDI-Spezifikation Bluetooth Low Energy Drahtlos-Ausgabe: Bluetooth-Klasse 2 Maximale Kommunikationsdistanz: Ungefähr 10 m Funkfrequenz (Betriebsfrequenz): 2.402 bis 2.480 MHz Maximale Ausgangsleistung (EIRP): 4 dBm Modulationsart: FHSS
Stromversorgung	USB-Netzteil: 5 V/1 A USB-Hub mit eigener Stromversorgung: 5 V/1 A Vier Alkali- (LR6), Mangan- (R6) oder wiederaufladbare NiMH-Batterien (HR6), Größe „AA“
Stromverbrauch	4,5 W (bei Verwendung eines USB-Netzteils)
Auto Power Off (Automatische Abschaltung)	Ja
Größe (B × T × H)	699 mm (B) × 110 mm (T) × 103 mm (H)
Gewicht	1,0 kg (ohne Batterien)

* Der Inhalt dieses Benutzerhandbuchs gilt für die neuesten Technischen Daten zum Zeitpunkt der Veröffentlichung. Um die neueste Version der Anleitung zu erhalten, rufen Sie die Website von Yamaha auf und laden Sie dann die Datei mit der Anleitung herunter. Da die Technischen Daten, das Gerät selbst oder gesondert erhältliches Zubehör nicht in jedem Land gleich sind, setzen Sie sich im Zweifel bitte mit Ihrem Yamaha-Händler in Verbindung.

MEMO

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence.

L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes :

- 1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage;
- 2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux rayonnements énoncées pour un environnement non contrôlé et respecte les règles d'exposition aux fréquences radioélectriques (RF) CNR-102 de l'IC. Cet équipement émet une énergie RF très faible qui est considérée comme conforme sans évaluation du débit d'absorption spécifique (DAS).

PRÉCAUTIONS D'USAGE

LISEZ ATTENTIVEMENT AVANT DE PROCÉDER À TOUTE MANIPULATION

Rangez ce manuel en lieu sûr et à portée de main afin de pouvoir le consulter ultérieurement.



AVERTISSEMENT

Veillez à toujours observer les précautions élémentaires énumérées ci-après pour éviter de graves blessures, voire la mort, en raison d'une électrocution, d'un court-circuit, de dégâts, d'un incendie ou de tout autre risque. La liste de ces précautions n'est pas exhaustive :

Alimentation

- Ne laissez pas le câble USB à proximité de sources de chaleur telles que les radiateurs ou les éléments chauffants. Évitez également de le plier de façon excessive ou de l'endommager de quelque manière que ce soit ou de placer dessus des objets lourds.
- Utilisez uniquement la tension requise pour l'instrument. Celle-ci est indiquée sur la plaque du fabricant de l'instrument.
- Vérifiez périodiquement l'état de la fiche électrique, dépoussiérez-la et nettoyez-la.

Ne pas ouvrir

- L'instrument ne contient aucune pièce nécessitant l'intervention de l'utilisateur. N'ouvrez pas l'instrument et ne tentez pas d'en démonter les éléments internes ou de les modifier de quelque façon que ce soit. Si l'appareil présente des signes de dysfonctionnement, mettez-le immédiatement hors tension et faites-le contrôler par un technicien Yamaha qualifié.

Prévention contre l'eau

- N'exposez pas l'instrument à la pluie et ne l'utilisez pas près d'une source d'eau, dans un milieu humide ou s'il a pris l'eau. Ne déposez pas dessus des récipients (tels que des vases, des bouteilles ou des verres) contenant des liquides qui risqueraient de se déverser dans ses ouvertures. Si un liquide, tel que de l'eau, pénètre à l'intérieur de l'instrument, mettez immédiatement ce dernier hors tension et débranchez le cordon d'alimentation de la prise secteur. Faites ensuite contrôler l'instrument par un technicien Yamaha qualifié.
- N'essayez jamais de retirer ou d'insérer une fiche électrique avec les mains mouillées.

Prévention contre les incendies

- Ne déposez pas des objets présentant une flamme, tels que des bougies, sur l'instrument. Ceux-ci pourraient se renverser et provoquer un incendie.

Influences sur les appareils électro-médicaux

- Les ondes radio ou le magnétisme peuvent affecter les appareils électro-médicaux.
 - N'utilisez pas ce produit à proximité de dispositifs médicaux ou dans des zones où l'utilisation d'ondes radio est restreinte.
 - N'utilisez pas ce produit lorsque vous vous trouvez à moins d'une distance de 15cm de personnes ayant un stimulateur cardiaque ou un implant cardiaque défibrillateur.

Piles

- Veillez à respecter les précautions détaillées ci-après. Le non respect de ces instructions risque de provoquer une explosion, un incendie ou une fuite du liquide des piles.
 - N'altérez pas les piles et n'essayez pas de les démonter.
 - Ne jetez pas les piles au feu.
 - Ne tentez pas de recharger une pile non rechargeable.
 - Gardez les piles éloignées des objets métalliques tels que les colliers, les épingles à cheveux, les pièces de monnaie ou les clés.
 - Utilisez uniquement le type de pile spécifié (page 15).
 - Veillez à utiliser des piles neuves, de type et de modèle identiques, issues du même fabricant.
 - Prenez soin de respecter la polarité (+/-) lors de la mise en place des piles.
 - Lorsque les piles sont épuisées ou en cas de non-utilisation de l'instrument pendant une durée prolongée, retirez les piles de l'instrument.
 - En cas d'utilisation de piles Ni-MH, suivez les instructions fournies avec celles-ci. Pour charger les piles, servez-vous exclusivement du chargeur approprié.
- Conservez les piles hors de portée des enfants, car ceux-ci risquent de les avaler.
- En cas de fuite du liquide des piles, évitez tout contact avec ce liquide. En cas de contact avec les yeux, la bouche ou la peau, rincez immédiatement à l'eau claire et consultez un médecin. Le liquide présent dans la pile est corrosif et peut provoquer la cécité ou des brûlures chimiques.

En cas d'anomalie

- Si l'un des problèmes suivant survient, coupez immédiatement l'alimentation et retirez la fiche électrique de la prise. (Si l'instrument fonctionne actuellement sur piles, retirez-en toutes les piles.) Faites ensuite contrôler l'appareil par un technicien Yamaha.
 - Le câble USB est effiloché ou la fiche électrique endommagée.
 - L'instrument dégage une odeur inhabituelle ou de la fumée.
 - Un objet est tombé à l'intérieur de l'instrument.
 - Une brusque perte de son est intervenue durant l'utilisation de l'instrument.
 - Si vous constatez des fissures ou des bris sur l'instrument.

ATTENTION

Observez toujours les précautions élémentaires reprises ci-dessous pour éviter tout risque de blessures corporelles, à vous-même ou à votre entourage, ainsi que la détérioration de l'instrument ou de tout autre bien. La liste de ces précautions n'est pas exhaustive :

Alimentation

- N'utilisez pas de connecteur multiple pour brancher l'instrument sur une prise secteur. Cela risque d'affecter la qualité du son, voire de provoquer la surchauffe de la prise.
- Veillez à toujours saisir la fiche, et non le câble USB, pour débrancher l'instrument de la prise d'alimentation. Si vous tirez sur le câble USB, vous risquez de l'endommager.
- Débranchez la fiche électrique de la prise secteur lorsque vous n'utilisez pas l'instrument pendant un certain temps ou en cas d'orage.
- Utilisez uniquement l'adaptateur secteur USB spécifié (page 10). L'utilisation d'un adaptateur inapproprié peut endommager l'instrument ou entraîner sa surchauffe.

Emplacement

- Ne placez pas l'instrument dans une position instable afin d'éviter qu'il ne tombe accidentellement.
- Avant de déplacer l'instrument, débranchez-en tous les câbles afin d'éviter de les endommager ou de blesser quiconque risquerait de trébucher dessus.
- Lors de l'utilisation d'une fiche électrique, assurez-vous que la prise secteur que vous utilisez est facilement accessible et bien en vue. En cas de problème ou de dysfonctionnement, coupez immédiatement l'alimentation et retirez la fiche de la prise. Même lorsque l'interrupteur d'alimentation est en position d'arrêt, du courant électrique de faible intensité continue de circuler dans l'instrument. Si vous n'utilisez pas le produit pendant une période prolongée, veillez à débrancher la fiche de la prise murale.

Connexions

- Avant de raccorder l'instrument à d'autres appareils électroniques, mettez ces derniers hors tension. Avant de mettre ces appareils sous ou hors tension, réglez tous les niveaux de volume sur le son minimal.
- Veillez également à régler tous les appareils sur le volume minimal et à augmenter progressivement les commandes de volume tout en jouant de l'instrument pour obtenir le niveau sonore souhaité.

Yamaha ne peut être tenu responsable des détériorations causées par une mauvaise manipulation de l'instrument ou par des modifications apportées par l'utilisateur, ni des données perdues ou détruites.

Mettez toujours l'instrument hors tension lorsque vous ne l'utilisez pas.

Même lorsque l'interrupteur [] (Veille/Marche) est en position de veille et que le voyant d'alimentation est éteint, une faible quantité d'électricité circule toujours dans l'instrument.

Lorsque vous n'utilisez pas l'instrument pendant une période prolongée, veillez à débrancher le cordon d'alimentation de la prise murale.

Veillez à mettre au rebut les piles usagées selon la réglementation locale en vigueur.

Manipulation

- Ne glissez pas les doigts ou la main dans les fentes de l'instrument.
- N'insérez jamais d'objets en papier, en métal ou tout autre matériau dans les fentes du panneau ou du clavier. Vous pourriez vous blesser ou provoquer des blessures à votre entourage, endommager l'instrument ou un autre bien ou causer des dysfonctionnements au niveau de l'instrument.
- Ne vous appuyez pas sur l'instrument et ne déposez pas d'objets lourds dessus. Ne manipulez pas trop brutalement les touches, les sélecteurs et les connecteurs.
- N'utilisez pas l'instrument si le bec, l'anche ou la ligature sont endommagés.
- Assurez-vous de conserver les petits composants hors de portée des jeunes enfants, qui pourraient les avaler accidentellement.
- N'utilisez pas l'instrument ou le casque de manière prolongée à des niveaux sonores trop élevés ou inconfortables qui risqueraient d'entraîner des troubles définitifs de l'audition. Si vous constatez une baisse d'acuité auditive ou que vous entendez des sifflements, consultez un médecin.
- Si vous utilisez une sangle, assurez-vous que celle-ci est fixée sur l'instrument de manière sécurisée.
- Ne soulevez pas l'instrument en le tenant par la sangle. Cela pourrait provoquer des blessures graves ou endommager l'instrument.
- Traitez l'instrument avec soin, évitez notamment de le balancer à droite ou à gauche. En effet, la sangle risquerait de se détacher et l'instrument pourrait heurter un objet, tomber ou blesser une personne se trouvant à proximité.

AVIS

Pour éviter d'endommager le produit ou de perturber son fonctionnement, détruire des données ou détériorer le matériel avoisinant, il est indispensable de respecter les avis ci-dessous.

■ Manipulation

- Ne reliez pas ce produit à un réseau Wi-Fi public et/ou à Internet directement. Utilisez un routeur et une protection par mots de passe fiables. Pour plus d'informations sur les meilleures pratiques en matière de sécurité, consultez le fabricant de votre routeur.
- N'utilisez pas l'instrument à proximité d'un téléviseur, d'une radio, d'un équipement stéréo, d'un téléphone mobile ou d'autres appareils électriques. Autrement, ces équipements risquent de produire des interférences. Si vous utilisez l'instrument avec une application téléchargée sur un appareil intelligent tel qu'un smartphone ou une tablette, nous vous recommandons d'activer sur l'appareil la connexion Bluetooth après avoir activé le mode avion afin d'éviter toute interférence produite par la communication.
- Ne laissez pas l'instrument exposé à un environnement trop poussiéreux, à des vibrations excessives ou à des conditions de chaleur et de froid extrêmes (par exemple, à la lumière directe du soleil, à proximité d'un radiateur ou dans une voiture en pleine journée), au risque de déformer le panneau, d'endommager les composants internes ou de provoquer un dysfonctionnement de l'appareil. (Plage de températures de fonctionnement vérifiée : 5 °C – 40 °C.)
- Ne déposez pas d'objets en vinyle, en plastique ou en caoutchouc sur l'instrument, car ceux-ci risquent de décolorer le panneau ou le clavier.
- Ne conservez pas l'instrument pendant une longue période avec une clé enfoncée, car cela pourrait endommager cette clé.

■ Entretien

- Utilisez un chiffon doux pour le nettoyage de l'instrument. N'utilisez jamais de diluants de peinture, de solvants, d'alcool, de produits d'entretien ou de tampons de nettoyage imprégnés de produits chimiques.
- Veillez à ne pas exposer l'instrument à de l'eau. Si de l'eau coule sur l'instrument, essuyez-la à l'aide d'un chiffon sec.

Informations

■ À propos de ce manuel

- Les illustrations et affichages LED figurant dans ce manuel sont uniquement proposés à titre d'information et peuvent être différents de ceux de votre instrument.
- Le nom et les logos Bluetooth® sont des marques commerciales déposées par Bluetooth SIG, Inc., et Yamaha Corporation utilise ces marques sous licence.



- Les noms de société et les noms de produit mentionnés dans ce manuel sont des marques commerciales ou des marques déposées de leurs sociétés respectives.

Le numéro de modèle, le numéro de série, l'alimentation requise, etc., se trouvent sur ou près de la plaque signalétique du produit, située à l'arrière de l'unité. Notez le numéro de série dans l'espace fourni ci-dessous et conservez ce manuel en tant que preuve permanente de votre achat afin de faciliter l'identification du produit en cas de vol.

N° de modèle

N° de série

(rear_fr_01)

À propos de Bluetooth

La technologie Bluetooth permet la communication sans fil entre des dispositifs situés dans une zone d'environ 10 mètres sur la bande de fréquences de 2,4 GHz.

■ Gestion des communications Bluetooth

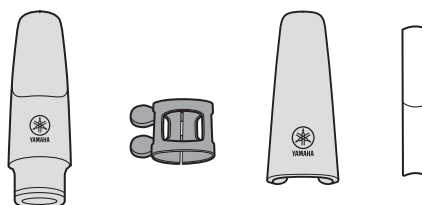
- La bande de 2,4 GHz utilisée par les disponibles compatibles avec la technologie Bluetooth est une bande radio partagée par de nombreux types d'équipement. Alors que les périphériques compatibles Bluetooth reposent sur une technologie qui minimise l'influence d'autres composants utilisant la même bande radio, une telle influence peut réduire la vitesse ou la distance des communications et dans certains cas interrompre les communications.
- La vitesse de transfert du signal et la distance à laquelle la communication est possible varient en fonction de la distance entre les périphériques communiquant, de la présence d'obstacles, des conditions liées aux ondes radio et du type d'équipement.
- Yamaha ne garantit pas toutes les connexions sans fil entre cette unité et les périphériques compatibles Bluetooth.

Votre instrument ne dispose pas de fonctionnalité Bluetooth si l'indication « Y » est imprimée dans le coin supérieur droit de l'étiquette située sur le bas du produit.

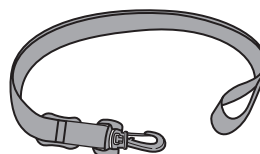
Merci d'avoir choisi ce saxophone numérique Yamaha ! Ce saxophone numérique est destiné à la pratique d'exercices chez vous. Nous vous conseillons de lire attentivement ce mode d'emploi afin de tirer pleinement profit des fonctions avancées et fort commodes de votre instrument. Nous vous recommandons également de le garder à portée de main pour toute référence ultérieure.

Accessoires inclus

- 1 ensemble de bec (bec, ligature, couvre-bec, anche)



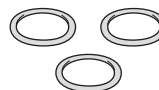
- 1 sangle



NOTE

- La sangle est rangée dans la poche intérieure de l'étui spécial.

- 1 ensemble de joints toriques de rechange (3 pièces)



- 1 anche de rechange



- 1 étui spécial

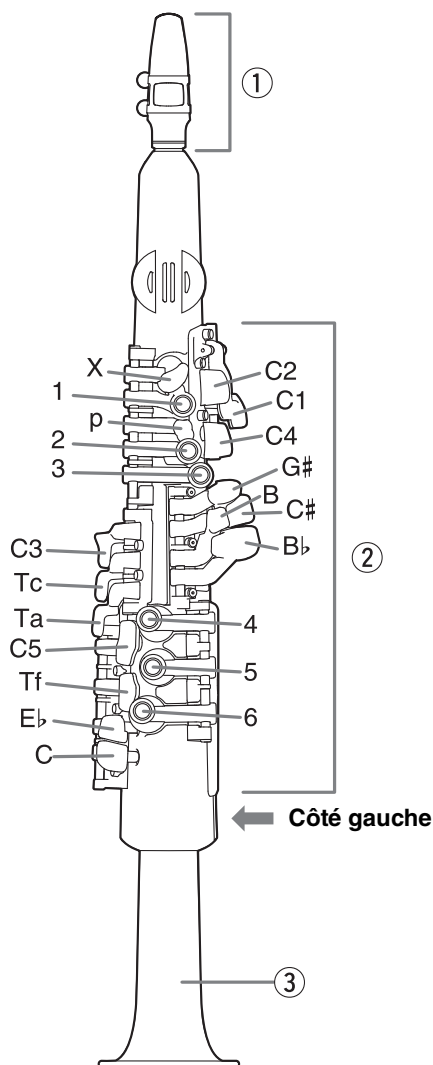
AVIS

- Prenez soin de ne ranger dans l'étui spécial que cet instrument et la sangle, car l'ajout d'autres objets pourrait endommager les clés.

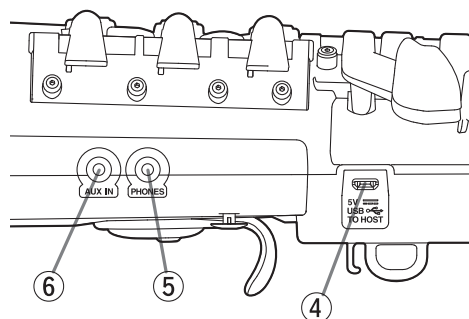
- 1 Mode d'emploi

Commandes et fonctions

Face avant



Côté gauche



① Ensemble du bec

À utiliser exclusivement avec cet instrument.

② Clés

(Tablature : page 20)

③ Pavillon

À l'intérieur du pavillon se trouve un système de purge. La condensation d'eau et l'humidité excessive du soufflé peuvent être purgées ici.

④ Borne 5 V DC-IN/USB TO HOST (Entrée CC 5 V/USB vers hôte)

Microborne USB de type B.

Permet la connexion à un adaptateur secteur USB, à une pile pour appareil portable USB ou à un ordinateur à l'aide d'un câble USB.

AVIS

- Utilisez un câble USB A-micro B de moins de 3 mètres. N'utilisez pas de câble USB 3.0.

⑤ Prise [PHONES] (Casque)

Permet de connecter un casque stéréo ou tout autre équipement équivalent via une miniprise casque stéréo (3,5 mm). Les haut-parleurs intégrés de l'instrument arrêtent automatiquement la production du son lorsqu'un casque est connecté.

⚠ ATTENTION

- Pour éviter tout risque de perte d'audition, n'utilisez pas le casque à un volume élevé pendant une période prolongée.
- Avant de raccorder l'instrument à d'autres appareils électroniques, mettez ces derniers hors tension. Avant de mettre ces appareils sous ou hors tension, réglez tous les niveaux de volume sur le son minimal. Cela risque d'entraîner des troubles définitifs de l'audition.

⑥ Prise AUX IN (Entrée CC)

Permet d'émettre le son d'un lecteur audio en entrée et de l'écouter via le haut-parleur intégré de l'instrument (en branchant une prise casque stéréo 3,5 mm). Pour régler le volume d'entrée de la prise [AUX IN], réglez le volume de reproduction du périphérique audio.

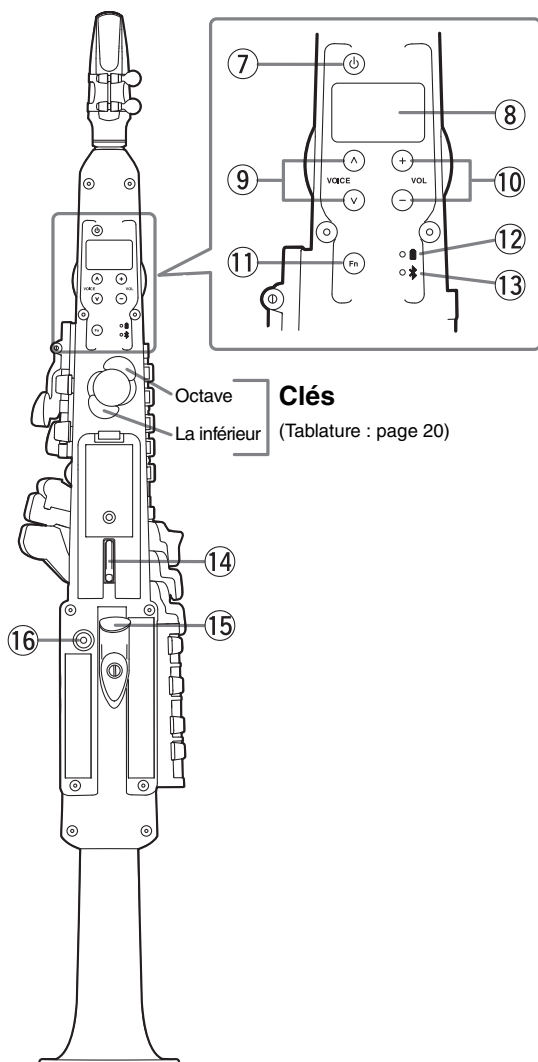
⚠ ATTENTION

- Pour éviter d'éventuels dommages, vous devez mettre sous tension le périphérique externe d'abord, puis l'instrument. Lors de la mise hors tension du système, vous devez éteindre l'instrument d'abord, puis le périphérique externe. Cela risque d'entraîner des troubles définitifs de l'audition.

NOTE

- Utilisez une fiche d'adaptateur appropriée si la prise de sortie du périphérique audio ne correspond pas à la prise casque du câble audio.
- Utilisez des câbles audio et des fiches d'adaptateur ne disposant pas de résistances montées en série.

Face arrière

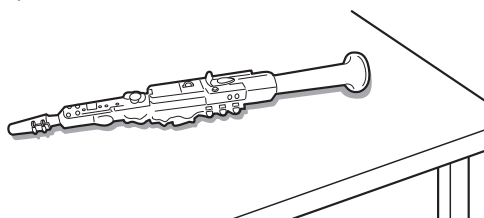


Clés

(Tablature : page 20)

Pose à plat de l'instrument

Lorsque l'instrument n'est pas utilisé, placez-le sur une surface plane comme indiqué dans l'illustration ci-dessous. Ne placez pas l'instrument sur une chaise, un pupitre ou toute autre surface instable. Ne l'appuyez pas non plus contre un mur, car il risquerait de tomber.



AVIS

- Ne posez pas l'instrument à la verticale. Vous risqueriez de l'endommager en cas de chute. Si vous souhaitez entreposer l'instrument à la verticale, utilisez un support vendu dans le commerce.

⑦ Touche [⏻] (Veille/Marche)

Appuyez sur cette touche pour mettre l'instrument sous tension.

⑧ Écran LED

Affiche des informations telles que le numéro de la sonorité en caractères alphanumériques.

⑨ Touches de SONORITÉ [^] [v]

Change de sonorité à chaque pression de touche.

⑩ Touches de VOLUME [-] [+]

Augmente ou diminue le volume de l'instrument à chaque pression de touche. Appuyez sur une touche et maintenez-la enfoncée pour moduler le volume rapidement.

- Plage des réglages : 0 à 15, « od » (saturation) (par défaut : 13)
- Appuyez simultanément sur les touches VOL [-] et VOL [+] pour rétablir le réglage du volume par défaut.

⑪ Touche [Fn] (Fonction)

Appuyez sur des clés spécifiques tout en maintenant cette touche enfoncée pour appeler différentes fonctions. Cette touche permet également d'activer certaines fonctions.

⑫ Témoin d'alimentation

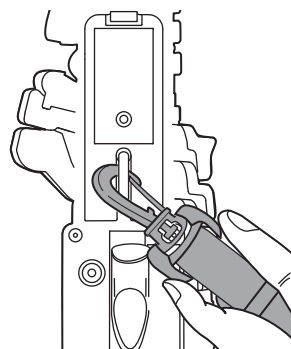
⑬ Témoin Bluetooth

⑭ Anneau de la sangle

Fixez la sangle fournie à cet anneau.

Comment fixer la sangle

Fixez solidement la sangle fournie à cet anneau. Vous pouvez moduler facilement la longueur de la sangle afin d'utiliser l'instrument confortablement.



⑮ Support-pouce

Utilisez ce support pour tenir l'instrument avec votre pouce lorsque vous jouez. Placez votre pouce droit autour du support-pouce pour tenir fermement l'instrument.

⑯ Contrôleur analogique

Permet de moduler une sonorité.

Avant de jouer

■ Alimentation

Cet instrument peut être alimenté selon l'une des deux méthodes suivantes. Déterminez la méthode que vous comptez utiliser, puis suivez les instructions pour l'installation.

AVIS

- Si vous connectez l'instrument à un adaptateur secteur USB ou à une pile pour appareil portable USB disponible dans le commerce, alors que des piles sont présentes dans l'instrument, la priorité est donnée à l'alimentation par câble USB.

Utilisation des piles

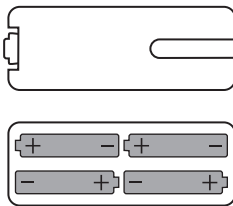
Cet instrument nécessite quatre piles de format AA alcalines (LR6) ou au manganèse (R6), ou rechargeables au nickel-hydrure métallique (piles Ni-MH rechargeables).

1 Vérifiez que l'instrument est hors tension.


Le témoin () s'éteint lorsque l'appareil est hors tension.

2 Placez l'instrument à l'envers sur un chiffon doux et retirez le couvercle du compartiment des piles.

3 Insérez quatre piles neuves en respectant les indications de polarité figurant à l'intérieur du logement.



● Énergie restante dans les piles

Lorsque l'énergie restante dans les piles n'est plus que de 5 à 10 minutes, le témoin LED d'alimentation () clignote. Par ailleurs, lorsque les piles sont presque épuisées, le témoin LED d'alimentation s'éteint et l'instrument passe en mode veille.

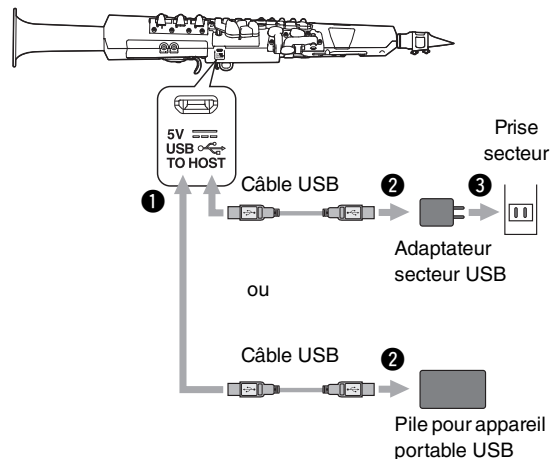
* Varie en fonction de l'environnement d'utilisation.

NOTE

- Il est recommandé de vérifier le témoin d'alimentation régulièrement afin de ne pas se retrouver sans énergie pendant la performance.

Utilisation d'un adaptateur secteur USB ou d'une pile pour appareil portable USB (vendus séparément)

Connectez le câble USB à un adaptateur secteur USB ou à une pile pour appareil portable USB (vendus séparément) selon l'ordre indiqué sur l'illustration. Suivez la procédure indiquée ici dans l'ordre inverse pour déconnecter le câble USB.



● Utilisez uniquement l'adaptateur secteur USB ou une pile pour appareil portable USB compatible avec la norme USB de l'alimentation.

Tension de sortie de 4,8 V à 5,2 V


Courant de sortie de 1 A minimum

! ATTENTION

- Avant d'utiliser un adaptateur secteur USB ou une pile pour appareil portable USB, lisez attentivement les précautions appropriées.

■ Mise sous tension/Mise en veille

1 Appuyez sur la touche [] (Veille/Marche) pour allumer l'instrument.

Le témoin () est allumé en rouge lorsque l'appareil est sous tension.

Réglez le volume à votre convenance tout en soufflant dans le bec.



ATTENTION

- N'utilisez pas l'instrument ou le casque de manière prolongée à des niveaux sonores trop élevés ou inconfortables pour l'oreille au risque d'endommager durablement votre ouïe.

AVIS

- Lors de la mise sous tension, ne tentez aucune autre opération, telle que souffler dans le bec. Ceci pourrait provoquer le dysfonctionnement de l'instrument.

2 Maintenez la touche [] (Veille/Marche) enfoncée pendant plusieurs secondes pour activer le mode veille.

ATTENTION

- Notez que, même en mode veille, une très faible quantité de courant électrique circule toujours dans l'instrument. Si vous n'utilisez pas l'instrument pendant un certain temps, assurez-vous de débrancher l'adaptateur secteur USB de la prise secteur et/ou de retirer les piles de l'instrument.
- Après la mise sous tension de l'instrument, l'écran LED s'éteint si plus de 5 secondes s'écoulent sans pression de clé ni de touche. Il vous suffit d'appuyer sur une touche ou de bouger l'instrument pour réactiver l'écran LED.

● Activation/Désactivation de la fonction de mise hors tension automatique

Pour empêcher toute consommation électrique superflue, cet instrument est doté d'une fonction de mise hors tension automatique qui éteint l'appareil dès qu'il n'est plus utilisé pendant une durée déterminée (30 minutes). Cette fonction est activée par défaut. Cependant, il est possible de modifier ce réglage à l'aide de la touche [Fn].

AVIS

- Si votre instrument est connecté à un autre équipement (amplificateurs et haut-parleurs, par exemple), mais que vous ne comptez pas l'utiliser pendant 30 minutes, nous vous recommandons de mettre hors tension tous ces équipements comme décrit dans leurs modes d'emploi respectifs. Vous éliminerez ainsi le risque d'endommagement de ces équipements. Si vous ne souhaitez pas que l'instrument s'éteigne automatiquement lorsqu'il est connecté à un autre équipement, désactivez la fonction Auto Power Off.

■ Réglage du volume de l'instrument

Réglez le volume.

Le volume augmente de 1 unité à chaque pression de la touche VOL [+]. Le volume diminue de 1 unité à chaque pression de la touche VOL [-]. Vous pouvez régler le volume de 0 à 15, « od » (pour saturation). La valeur par défaut est de 13.

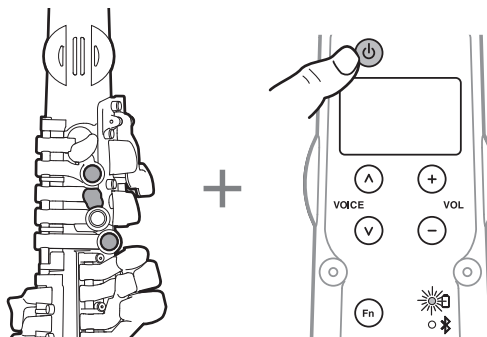


- * Le réglage « od » (pour « overdrive » ou saturation) est le volume maximal qui offre le son le plus puissant. N'oubliez pas que le son de certaines sonorités peut être déformé dans les basses fréquences.

■ Réinitialisation

Effectuez cette opération lorsque vous souhaitez réinitialiser tous les réglages sur les valeurs usine par défaut.

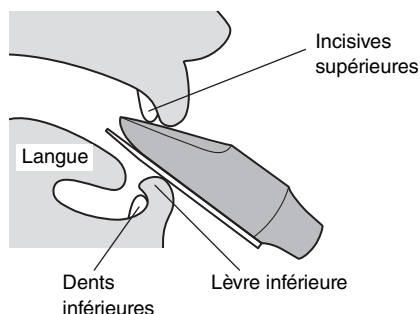
- 1 Si l'instrument est sous tension, mettez-le hors tension.
- 2 Mettez l'instrument sous tension en maintenant les touches [1], [p] et [3] enfoncées.



Utilisant de l'instrument

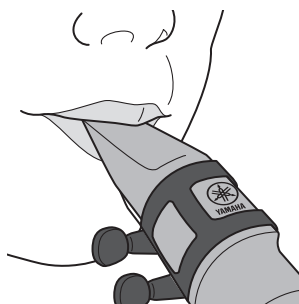
■ Forme de la bouche

Placez le bec dans votre bouche en appuyant les incisives supérieures à environ 1 cm de l'extrémité du bec. Couvrez les dents inférieures avec la lèvre inférieure afin d'éviter qu'elles entrent en contact direct avec l'anche.



Lorsque l'anche repose sur la lèvre inférieure, refermez la bouche sur le bec afin d'empêcher toute fuite d'air par les commissures lorsque vous soufflez.

- * Ne mordez pas l'anche ou le bec.



■ Émettre un son

Placez le bec dans la bouche et soufflez. Soufflez fort pour obtenir un volume élevé et légèrement pour obtenir un volume faible. Il n'est pas nécessaire de faire vibrer l'anche comme sur un saxophone acoustique.

NOTE

- Contrairement au saxophone acoustique, la hauteur de ton n'est pas modifiée en fonction du degré d'insertion du bec dans le tenon.

■ Sélection d'une sonorité

Il est possible de sélectionner une sonorité et une tonalité de votre choix telle qu'un saxophone alto, un saxophone ténor, etc.

1 Appuyez sur la touche VOICE [^]/[v].

Le numéro de la sonorité s'affiche sur l'écran LED.

Pour les noms des sonorités, reportez-vous à la Liste des sonorités, page 19.



L'affichage sur l'écran LED a les significations suivantes.

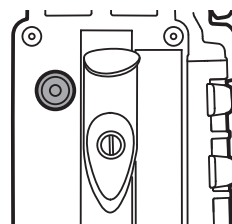
- R.01* à *R.17* : Tonalités de saxophone alto (en mi \flat)
- S.01* à *S.13* : Tonalités de saxophone soprano (en si \flat)
- T.01* à *T.15* : Tonalités de saxophone ténor (en si \flat)
- B.01* à *B.11* : Tonalités de saxophone baryton (en mi \flat)
- C.01* à *C.17* : Tonalités d'autres instruments (en do)
- U.01* à *U.20* : Vous pouvez sélectionner des tonalités utilisateur modifiées dans l'application dédiée (page 14). Pour plus d'informations, reportez-vous au manuel de l'application dédiée.

Utilisation du contrôleur analogique

Le contrôleur analogique comprend des fonctions attribuées par défaut en fonction de la sonorité sélectionnée.

- **Augmentation ou diminution de la hauteur de ton (variation de hauteur de ton)**
- **Application du vibrato au son. (Modulation)**
- **Atténuation du glissement de hauteur de ton entre les notes (portamento)**

Pour plus d'informations sur les fonctions attribuées au contrôleur analogique pour chaque tonalité, consultez la liste des sonorités à la fin du présent document.



NOTE

- Le portamento est une technique de jeu qui fait glisser en douceur la hauteur de ton vers le haut ou vers le bas. Lorsque vous utilisez une sonorité avec le portamento qui lui est attribué, déplacez le contrôleur de pouce afin de modifier délicatement la hauteur de ton.

Modification des réglages avec la touche [Fn]

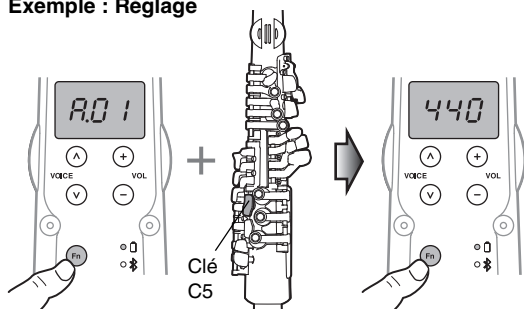
Appuyez sur des clés spécifiques tout en maintenant la touche [Fn] enfoncée pour régler les différentes fonctions de l'instrument.

Principe d'utilisation

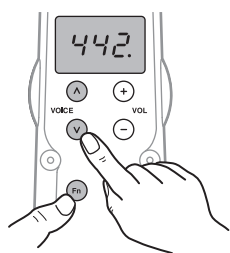
Utilisez la procédure suivante pour effectuer les réglages de chaque fonction.

- 1 Tout en maintenant la touche [Fn] suivante, appuyez sur la clé à laquelle la fonction est attribuée. Maintenant la touche [Fn] enfoncée jusqu'à ce que vous ayez terminé les réglages. Si vous relâchez la touche, la valeur en vigueur à ce moment est enregistrée et vous revenez à l'écran de sélection de sonorité.

Exemple : Réglage



- 2 Tout en maintenant la touche [Fn] enfoncée, appuyez sur VOICE [^]/[v] et sélectionnez la valeur souhaitée.



NOTE

- Appuyez simultanément sur les touches VOICE [^]/[v] pour restaurer la valeur usine par défaut.

- 3 Lorsque vous avez sélectionné une valeur, relâchez la touche [Fn].

Le réglage est terminé et vous revenez à l'écran de sélection de sonorité.

Fonction	Réglages	Clé
Résistance à la pression du souffle Détermine la variation de volume en réponse à la force et à la durée de votre souffle. Plus la valeur est faible, plus l'instrument est réactif à la force et à la durée de votre souffle.	1 à 5 Valeur par défaut : 3	C3
Réponse au souffle Détermine la variation de volume en réponse à la force et à la durée initiales de votre souffle. Plus la valeur est élevée, plus vous devez souffler fort dans l'instrument pour produire un son.	1 à 10 Valeur par défaut : 5	Tc
Réponse de clé Évite toute production de son superflu lié à un rythme irrégulier du doigté lors de la pression ou du relâchement simultanés de plusieurs clés. Plus la valeur est élevée, plus les sons superflus sont supprimés.	1 à 20 Valeur par défaut : 10	Ta
Réglage Permet de régler la hauteur de ton globale de l'instrument. La valeur de hauteur de ton s'affiche sur l'écran LED. Vous pouvez régler la hauteur de ton de 427 à 453 Hz par incréments de 0,5 Hz. Le point sur le premier chiffre de l'écran LED indique 0,5 Hz.	427 à 453 (Hz) Valeur par défaut : 440	C5
Mise hors tension automatique Définit la fonction de mise hors tension automatique. La valeur s'affiche sur l'écran LED.	Off, 5, 10, 15, 30, 60, 120 (minutes) Valeur par défaut : 30	Tf
Activation/désactivation de la fonction Bluetooth Active/désactive la fonction Bluetooth. Lorsque la fonction Bluetooth est activée et qu'un casque est connecté à cet instrument, vous pouvez écouter la musique sur un appareil intelligent ou un appareil semblable via Bluetooth.	On, Off Valeur par défaut : Désactivée	Mi-
Réverbération Règle l'effet de réverbération. Plus le numéro est élevé, plus l'effet est important. La réverbération s'applique uniquement à la sortie casque. NOTE • La réverbération n'a pas d'incidence sur l'entrée AUX IN ou sur les données audio reçues via Bluetooth.	Off, 1 à 5 Valeur par défaut : Désactivée	Sol#

• Activation de la fonction Bluetooth et appariement avec votre appareil intelligent

1 Activez la fonction Bluetooth.

Lorsqu'elle est activée, le témoin Bluetooth () clignote lentement. Effectuez l'appariement lorsque vous souhaitez utiliser la fonction audio Bluetooth. Cette opération n'est pas nécessaire lorsque vous établissez la connexion à l'application dédiée.

2 Tout en maintenant la touche [Fn] enfoncée, appuyez sur la clé C.

L'instrument est alors en attente d'appariement. Maintenez la touche [Fn] enfoncée.

- Écran LED : [b--] En attente d'appariement
- Écran LED : [--] Fonction Bluetooth désactivée

3 Tout en maintenant la touche [Fn] enfoncée, appuyez sur la touche VOICE [^] pour démarrer l'appariement.

L'écran LED indique les informations suivantes et le témoin Bluetooth (✱) clignote rapidement.



NOTE

- Pour annuler l'appariement, appuyez sur la touche VOICE [v].

4 Sélectionnez la connexion sur l'appareil intelligent.

Sélectionnez [YDS-150 Audio] si vous gérez le son.

5 Lorsque l'appariement est terminé, le témoin Bluetooth qui clignotait rapidement reste allumé en permanence.

En cas d'échec de l'appariement, le témoin Bluetooth clignote lentement et l'écran LED indique [b--].

6 Si cinq minutes s'écoulent après le démarrage de l'appariement à l'étape 3, cela signifie que l'appariement a échoué.

7 Relâchez la touche [Fn].

Vous revenez à l'écran de sélection de sonorité.

NOTE

- Lorsque l'appariement aboutit, le témoin Bluetooth reste allumé.
- Selon le type de votre appareil intelligent, le son peut être émis à un volume élevé ou inconfortable. Réglez le volume de votre appareil intelligent avant d'émettre des sons.

Utilisation de l'application dédiée

Vous pouvez utiliser l'application dédiée pour cet instrument afin d'effectuer plus confortablement le réglage des fonctions de cet instrument.

1 Installez l'application dédiée pour cet instrument sur votre appareil intelligent.

2 Connectez cet instrument et votre appareil intelligent via Bluetooth.

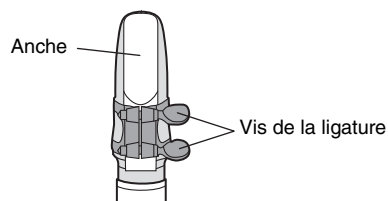
Vous pouvez effectuer dans l'application les réglages suivants de cet instrument. Pour plus d'informations, reportez-vous au manuel de l'application.

- Modification des sonorités utilisateur/modification des informations sur le doigté/activation et désactivation des raccourcis de sélection de sonorité, etc.

Entretien de l'instrument après utilisation

Avant de ranger l'instrument dans son étui, retirez le bec et essuyez toute trace d'humidité près du pavillon et du bec.

1 Desserrez les vis de la ligature, puis retirez l'anche et la ligature du bec.



2 Tenez le bec fermement et faites-le glisser en le tournant d'un côté à l'autre pour le séparer du tenon.

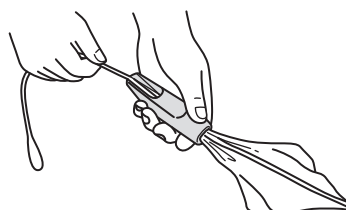


AVIS

- Lorsque vous retirez le bec, évitez de tordre la base du tenon. Votre risqueriez de l'endommager.

3 Utilisez un écouvillon (vendu séparément) pour nettoyer l'intérieur du bec.

- * Prenez soin de ne pas endommager l'extrémité du bec.
- * Faites en sorte que l'écouvillon soit toujours propre et sec.



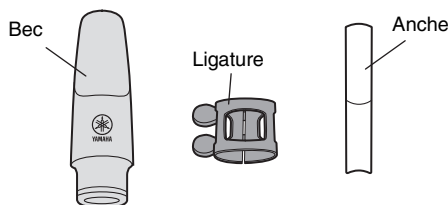
4 Essuyez le pavillon et les clés à l'aide d'un chiffon doux et sec.

■ Réglage de l'anche et de la ligature

Faites glisser le bec sur le tenon du corps, en le faisant tourner dans un sens et dans l'autre. Après avoir placé le bec, fixez dessus l'anche et la ligature.

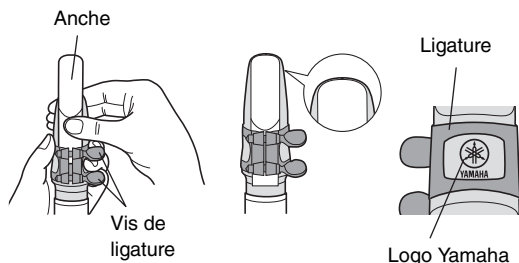
AVIS

- L'extrémité de l'anche est délicate ; manipulez-la avec soin afin de ne pas l'endommager avec la ligature, etc.



- 1 Faites glisser la ligature dans le bec en insérant en premier l'extrémité conique.**
- 2 Placez l'anche de manière à ce que le bord du bec soit légèrement visible sur l'extrémité de l'anche. Serrez les deux vis sur la ligature afin de maintenir l'anche en place.**

* Placez la ligature de manière à ce que logo représentant un diapason soit centré dans l'espace libre de la ligature.



AVIS

- Utilisez l'ensemble de bec dédié (bec, anche et ligature) fourni avec cet instrument. Si vous ne respectez pas cette consigne, vous risquez d'obtenir un son inapproprié ou d'autres dysfonctionnements.
- Serrez suffisamment les vis de la ligature pour empêcher l'anche de bouger. Prenez soin de ne pas trop les serrer.
- Ne lavez pas cet instrument ou l'intérieur avec de l'eau. Vous risqueriez d'endommager l'instrument.
- N'appliquez pas de graisse au tenon. Vous risqueriez de l'endommager.
- Lorsque la jointure du tenon et du bec se desserre, remplacez le joint torique en utilisant celui fourni.
- Si, au fur et à mesure de l'utilisation, l'extrémité de l'anche se casse ou se déforme, remplacez l'anche en utilisant celle fournie.

Résolution des problèmes

• Le son ne s'arrête pas.

- Essayez d'éteindre et de remettre l'instrument sous tension.
- Le liquide restant dans l'orifice du raccord du bec peut provoquer un son continu. Éliminez le liquide de l'orifice à l'aide d'un fin tampon de coton.

Caractéristiques techniques

Nom de produit	Saxophone numérique
Sonorités	Échantillonnage AWM
Bluetooth	Version Bluetooth : 4.2 Profil pris en charge : A2DP Compatible avec la norme Bluetooth Low Energy MIDI Sortie sans fil : Bluetooth classe 2 Portée de communication maximale : environ 10 m Radiofréquence (fréquence opérationnelle) : 2 402 à 2 480 MHz Puissance maximale en sortie (EIRP) : 4 dBm Type de modulation : FHSS
Alimentation	Adaptateur secteur USB : 5 V/1 A Concentrateur USB autoalimenté : 5 V/1 A Quatre piles de type AA alcalines (LR6), au manganèse (R6) ou Piles Ni-MH rechargeables (HR6)
Consommation électrique	4,5 W (lors de l'utilisation d'un adaptateur secteur USB)
Mise hors tension automatique	Oui
Dimensions (L × P × H)	699 (L) × 110 (P) × 103 (H) mm
Poids	1 kg (sans les piles)

* Le contenu de ce manuel s'applique aux dernières caractéristiques techniques connues à la date d'impression. Pour obtenir la version la plus récente du manuel, accédez au site Web de Yamaha, puis téléchargez le fichier du manuel concerné. Étant donné que les caractéristiques techniques, les équipements et les accessoires vendus séparément varient d'un pays à l'autre, adressez-vous pour cela à votre distributeur Yamaha.

PRECAUCIONES

LEER DETENIDAMENTE ANTES DE EMPEZAR

Guarde este manual en un lugar seguro y fácilmente accesible para futuras consultas.



ADVERTENCIA

Siga siempre las precauciones básicas detalladas a continuación para prevenir la posibilidad de lesiones graves, o incluso la muerte, por descargas eléctricas, cortocircuitos, daños, incendios u otros peligros. Estas precauciones incluyen, aunque no de forma exclusiva, las siguientes:

Alimentación

- No coloque el cable USB cerca de fuentes de calor como calefactores o radiadores. Asimismo, no doble demasiado el cable ni lo deteriore de ningún otro modo, ni ponga objetos pesados encima de él.
- Utilice el instrumento únicamente con la tensión especificada, que está impresa en la placa de identificación del instrumento.
- Compruebe periódicamente el enchufe y quite la suciedad o el polvo que pudiera haberse acumulado en él.

No abrir

- El instrumento contiene piezas cuyo mantenimiento no debe realizar el usuario. No abra el instrumento ni trate de desmontar o modificar de forma alguna los componentes internos. En caso de mal funcionamiento, deje de usarlo de inmediato y pida al servicio técnico de Yamaha que lo inspeccione.

Advertencia sobre el agua

- No exponga el instrumento a la lluvia, ni lo use cerca del agua o en lugares donde haya mucha humedad, ni le ponga encima recipientes (como jarrones, botellas o vasos) que contengan líquido, ya que puede derramarse y penetrar en el interior del aparato. Si algún líquido, como agua, se filtrara en el instrumento, apáguelo de inmediato y desenchúfelo de la toma de CA. Seguidamente, pida al servicio técnico de Yamaha que lo revise.
- Nunca enchufe o desenchufe un cable eléctrico con las manos húmedas.

Advertencia sobre el fuego

- No coloque sobre la unidad objetos encendidos como, por ejemplo, velas, porque podrían caerse y provocar un incendio.

Afecta a los dispositivos de electromedicina

- Las ondas de radiofrecuencia o el magnetismo pueden afectar a los dispositivos de electromedicina.
 - No utilice este producto cerca de dispositivos médicos ni dentro de áreas donde el uso de ondas de radio esté restringido.
 - No utilice este producto a menos de 15 cm de personas que lleven implantado un marcapasos o un desfibrilador.

Pilas

- Tenga en cuenta las advertencias que se indican a continuación. Si no fuera así, podría producirse una explosión, un incendio, un recalentamiento o fugas.
 - No manipule ni desmonte las pilas.
 - No tire pilas al fuego.
 - No intente recargar pilas que no sean recargables.
 - Mantenga las pilas separadas de objetos metálicos como collares, horquillas, monedas y llaves.
 - Utilice el tipo de pila especificado (página 15).
 - Utilice pilas nuevas, todas del mismo tipo, del mismo modelo y del mismo fabricante.
 - Asegúrese siempre de que todas las pilas estén colocadas conforme a las marcas de polaridad +/-.
 - Cuando se agoten las pilas o no se vaya a utilizar el instrumento durante mucho tiempo, quite las pilas del instrumento.
 - Si utiliza pilas de Ni-MH, siga las instrucciones que se suministran con las pilas. Para cargarlas, utilice únicamente el cargador especificado.
- No deje las pilas cerca de niños pequeños que puedan tragárselas accidentalmente.
- Si las pilas tienen alguna fuga, evite el contacto con el fluido derramado. Si el fluido de la pila entra en contacto con los ojos, la boca o la piel, lávese inmediatamente con agua y consulte a un médico. El fluido de las pilas es corrosivo y puede causar pérdida de visión o quemaduras químicas.

Si observa cualquier anomalía

- Si surge alguno de los problemas siguientes, apague inmediatamente el interruptor y desenchufe el aparato. (Si está utilizando pilas, sáquelas del instrumento.) Seguidamente, pida al servicio técnico de Yamaha que revise el dispositivo.
 - El cable USB o el enchufe están desgastados o dañados.
 - Produce olor o humo no habituales.
 - Se ha caído algún objeto dentro del instrumento.
 - Se produce una pérdida repentina de sonido mientras se está utilizando el instrumento.
 - Si existe cualquier grieta o rotura en el instrumento.

ATENCIÓN

Siga siempre las precauciones básicas que se muestran a continuación para evitar posibles lesiones personales, así como daños en el instrumento o en otros objetos. Estas precauciones incluyen, aunque no de forma exclusiva, las siguientes:

Alimentación

- No conecte el instrumento a una toma eléctrica usando un conector múltiple. Si lo hiciera, podría producirse una calidad menor de sonido o un recalentamiento en la toma.
- Cuando quite el enchufe del instrumento o de la toma, tire siempre del propio enchufe y no del cable USB. Si tira del cable USB, podría dañarlo.
- Extraiga el enchufe de la toma de corriente cuando el instrumento no se vaya a usar durante periodos de tiempo prolongados o cuando haya tormentas con aparato eléctrico.
- Utilice solamente el adaptador de alimentación USB especificado (página 10). Si se usa un adaptador erróneo, pueden producirse daños en el instrumento o recalentamiento.

Colocación


- No coloque el instrumento en una posición inestable en la que se pueda caer accidentalmente.
- Antes de mover el instrumento, retire todos los cables conectados para evitar daños en los propios cables o lesiones a alguien que pudiera tropezar con ellos.
- Cuando utilice un cable eléctrico, asegúrese de que la toma de CA se encuentre en un lugar plenamente visible y de fácil acceso. Si se produce algún problema o un fallo en el funcionamiento, apague inmediatamente el interruptor de alimentación y desconecte el enchufe de la toma de corriente. Incluso cuando el interruptor de alimentación está apagado, sigue llegando al instrumento un nivel mínimo de electricidad. Si no va a utilizar el dispositivo durante un periodo prolongado de tiempo, desconecte la clavija de alimentación de la toma de CA.

Conexiones

- Antes de conectar el instrumento a otros componentes electrónicos, desconecte la alimentación de todos los componentes. Antes de conectar o desconectar la alimentación de todos los componentes, ponga todos los niveles de volumen al mínimo.
- Asegúrese de ajustar el volumen de todos los componentes al nivel mínimo y aumente gradualmente los controles de volumen mientras toca el instrumento para ajustar el nivel de sonido deseado.

Yamaha no puede considerarse responsable de los daños causados por uso indebido, modificaciones en el instrumento o por datos que se hayan perdido o destruido.

Apague siempre el instrumento cuando no lo utilice.

Aunque el interruptor [] (espera/encendido) esté en la posición de espera (el indicador de alimentación está apagado), seguirá llegando energía eléctrica al instrumento al nivel mínimo.

Si no va a utilizar el instrumento durante un periodo prolongado de tiempo, asegúrese de desenchufar el cable de alimentación de la toma. Asegúrese de desechar las pilas usadas de acuerdo con la normativa local.

Manejo

- No introduzca los dedos o las manos por ningún hueco o abertura del instrumento.
- Nunca inserte ni deje caer papeles u objetos metálicos o de otro tipo entre las hendiduras del panel o las llaves. Podría causar lesiones personales, daños en el instrumento o en otros equipos, o fallos en el funcionamiento.
- No se apoye ni coloque objetos pesados sobre el instrumento, y no ejerza una fuerza excesiva sobre los botones, interruptores o conectores.
- No utilice el instrumento si la boquilla, caña o abrazadera están dañadas.
- Mantenga las piezas pequeñas fuera del alcance de los niños. Sus niños podrían tragárselas accidentalmente.
- No utilice el instrumento o dispositivo ni los auriculares con volumen alto o incómodo durante un periodo prolongado, ya que podría provocar una pérdida de audición permanente. Si experimenta alguna pérdida auditiva u oye pitidos, consulte a un médico.
- Cuando utilice una correa, asegúrese de que esté correctamente fijada al instrumento.
- No levante el instrumento agarrándolo por la correa. Pueden producirse lesiones graves o daños en el instrumento.
- No manipule el instrumento de forma brusca, por ejemplo balanceándolo con fuerza, etc. La correa del instrumento puede desprenderse y provocar accidentes inesperados como la caída del instrumento, etc., así como causar lesiones a las personas de alrededor.

AVISO

Para evitar la posibilidad de que se produzcan errores de funcionamiento o daños en el producto, los datos u otros objetos, tenga en cuenta los avisos que se incluyen a continuación.

■ Manejo

- No conecte de forma directa este producto a una Wi-Fi pública o a Internet. Conecte este producto a Internet únicamente por medio de un router con protección por contraseña rigurosa. Consulte al fabricante del router sobre las mejores prácticas de seguridad.
- No utilice el instrumento junto a televisores, radios, equipos estereofónicos, teléfonos móviles u otros dispositivos eléctricos. Si lo hiciera, el instrumento, el televisor o la radio podrían generar ruidos. Cuando utilice el instrumento con una aplicación en un dispositivo inteligente, como pueden ser un teléfono inteligente o una tableta, le aconsejamos que establezca como activado el ajuste de Bluetooth después de haber activado el ajuste de "Modo avión" de dicho dispositivo. De este modo, evitará el ruido provocado por las comunicaciones.
- No exponga el instrumento a polvo o vibraciones excesivas ni a temperaturas extremas (evite ponerlo al sol, cerca de estufas o dentro de automóviles durante el día) para evitar así la posibilidad de que se deforme el panel, se dañen los componentes internos o se produzca un funcionamiento inestable. (Rango de temperatura de servicio verificado: de 5° a 40°C).
- Tampoco coloque objetos de vinilo, plástico o goma sobre el instrumento, pues podrían decolorar el panel o el teclado.
- No deje el instrumento con una llave pulsada durante un período de tiempo prolongado, ya que esto puede dañarla.

■ Mantenimiento

- Cuando limpie el instrumento, utilice un paño suave. No use diluyentes de pintura, disolventes, alcohol, líquidos limpiadores ni paños impregnados con productos químicos.
- Tenga cuidado de no exponer el instrumento al agua. Si entra agua en el instrumento, séquelo con un paño seco.

Información

■ Acerca de este manual

- Las ilustraciones y los visualizadores de LED incluidos en este manual se muestran únicamente a efectos orientativos y pueden presentar alguna diferencia con el instrumento.
- La marca Bluetooth® y sus logotipos son marcas registradas de Bluetooth SIG, Inc. y todo uso que Yamaha Corporation realice de dichas marcas se controla mediante una licencia.



- Los nombres de empresas y productos utilizados en este manual son marcas comerciales o marcas registradas de sus respectivos titulares.

El número de modelo, el número de serie, los requisitos de alimentación, etc. pueden encontrarse en la placa de identificación o cerca de ella. Esta placa se encuentra en la parte posterior de la unidad. Debe tomar nota del número de serie en el espacio proporcionado a continuación y conservar este manual como comprobante permanente de su compra para facilitar la identificación en caso de robo.

N° de modelo

N° de serie

(rear_es_01)

Acerca de Bluetooth

Bluetooth es una tecnología para la comunicación inalámbrica entre dispositivos en un área de 10 metros, (33 pies) que emplea la banda de frecuencia de 2,4 GHz.

■ Gestión de comunicaciones Bluetooth

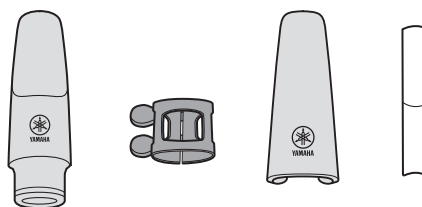
- La banda de 2,4 GHz utilizada por los dispositivos compatibles con Bluetooth es una banda de radio compartida por muchos tipos de equipos. Aunque los dispositivos compatibles con Bluetooth utilizan una tecnología que disminuye la influencia de otros componentes que utilizan la misma banda de radio, dicha influencia puede reducir la velocidad o la distancia de las comunicaciones y, en algunos casos, interrumpirla.
- La velocidad de la transferencia de la señal y la distancia a la que la comunicación es posible varía en función de la distancia entre los dispositivos de comunicación, la presencia de obstáculos, las condiciones de las ondas de radio y el tipo de equipo.
- Yamaha no garantiza que todas las conexiones inalámbricas entre esta unidad y los dispositivos compatibles con la función Bluetooth funcionen.

Un instrumento concreto no tendrá la función de Bluetooth si lleva impresa la indicación "Y" en la esquina superior derecha de la etiqueta de la parte inferior.

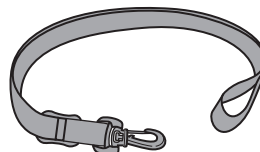
Le damos las gracias por adquirir el saxofón digital de Yamaha. Este saxofón digital se puede utilizar para tocar y practicar en casa. Le recomendamos que lea detenidamente este manual para poder disfrutar de las útiles y avanzadas funciones del instrumento. También recomendamos guardar el manual en un lugar seguro y accesible, para futuras consultas.

Accesorios incluidos

- **Juego de boquilla (boquilla, abrazadera, tapa, caña) x 1**



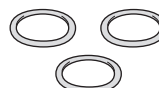
- **Correa x 1**



NOTA

- La correa se encuentra en el bolsillo dentro del estuche especial.

- **Junta tórica de repuesto x 1 juego (se incluyen 3 piezas)**



- **Caña de repuesto x 1**



- **Estuche especial x1**

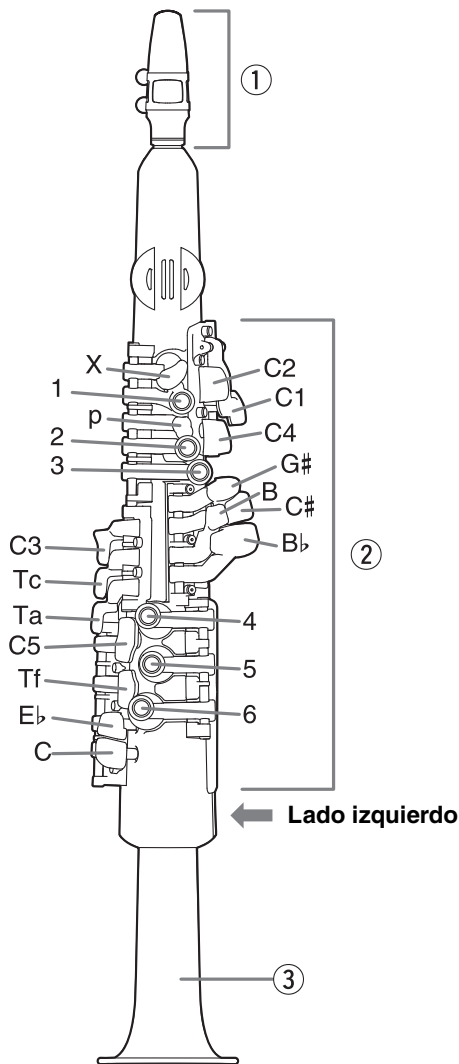
AVISO

- Asegúrese de guardar solo este instrumento y la correa en el estuche especial, ya que guardar otras cosas puede dañar las teclas.

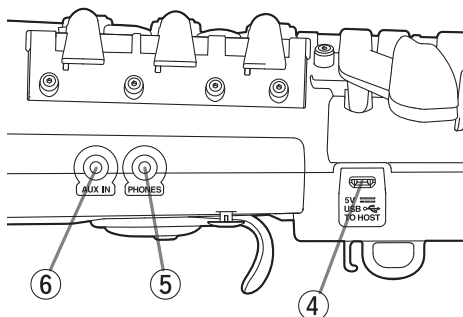
- **Manual de instrucciones x 1**

Controles y funciones

Lado frontal



Lado izquierdo



① Juego de boquilla

Para su uso exclusivo con este instrumento.

② Llaves

(Gráfico de digitado: página 20)

③ Campana

Dentro de la campana hay un sumidero de agua. El agua condensada y la humedad respiratoria en exceso se pueden drenar desde aquí.

④ Terminal 5 V DC-IN/USB TO HOST (entrada de CC de 5 V/USB a host)

Terminal Micro USB Tipo B.

Permite conectar un adaptador de alimentación USB, una batería móvil USB o un PC mediante un cable USB.

AVISO

- Utilice un cable USB A a micro B de menos de 3 metros. No utilice un cable USB 3.0.

⑤ Toma PHONES (auriculares)

Para conectar auriculares estéreo u otros equipos mediante una miniclavija de auriculares estéreo (3,5 mm). Al conectarla, los altavoces integrados del instrumento dejan de producir sonido automáticamente.

⚠ ATENCIÓN

- Para prevenir la pérdida de audición, evite usar auriculares con un volumen alto durante períodos prolongados.
- Antes de conectar el instrumento a otros componentes electrónicos, desconecte la alimentación de todos los componentes. Antes de conectar o desconectar la alimentación de todos los componentes, ponga todos los niveles de volumen al mínimo. Esto puede provocar pérdida permanente de audición.

⑥ Toma AUX IN (entrada auxiliar)

Para introducir el sonido de un reproductor de sonido y escucharlo a través del altavoz incorporado del instrumento (con miniclavija de auriculares estéreo de 3,5 mm). Para ajustar el volumen de entrada de la toma [AUX IN], ajuste el volumen de reproducción de audio del dispositivo de audio.

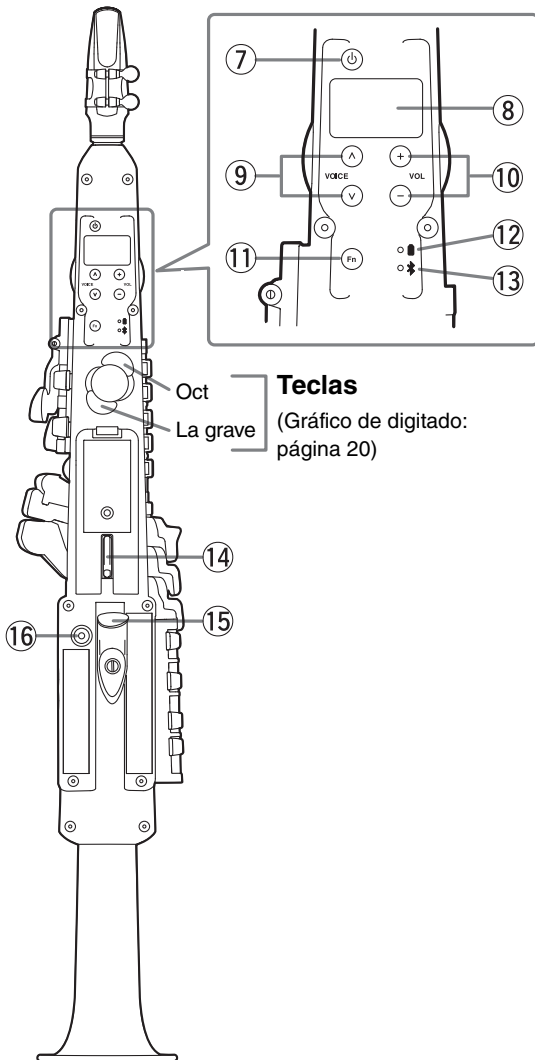
⚠ ATENCIÓN

- Para evitar posibles daños, encienda primero el dispositivo externo y, a continuación, el instrumento. Cuando apague el dispositivo, primero apague el instrumento y después el dispositivo externo. Esto puede provocar pérdida permanente de audición.

NOTA

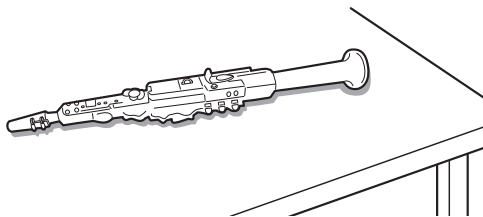
- Utilice una clavija adaptadora apropiada si la toma de salida del dispositivo de audio no coincide con la clavija de auriculares estéreo mini del cable de audio.
- Utilice cables de audio y clavijas adaptadoras que no lleven resistores en serie.

Lado posterior



Apoyo del instrumento

Cuando no toque el instrumento, colóquelo sobre una superficie plana como se muestra en la siguiente ilustración. No coloque el instrumento sobre una silla, un atril u otra superficie inestable, ya que existe el riesgo de que el instrumento se caiga. Tampoco apoye el instrumento nunca contra una pared, etc.



AVISO

- No mantenga el instrumento en vertical por sí solo. Si lo hace y el instrumento se cae, este se puede dañar por el impacto. Si quiere mantener el instrumento en vertical, utilice un soporte disponible en el mercado.

7 Botón [] (Espera/Encendido)

Pulse este botón para encender el instrumento.

8 Pantalla LED

Muestra información tal como el número de voz en caracteres alfanuméricos.

9 Botones VOICE (voz) []/[]

Cambia la voz cada vez que se pulsa un botón.

10 Botones VOL (volumen) [-]/[+]

Aumenta o disminuye el volumen del instrumento cada vez que se pulsa un botón. Pulse y mantenga pulsado un botón para cambiar el volumen rápidamente.

- Margen de ajustes: 0 a 15, od (predeterminado: 13)
- Pulse a la vez los botones VOL [-] y VOL [+] para restablecer el ajuste de volumen predeterminado.

11 Botón [Fn] (función)

Pulse llaves concretas mientras esté pulsando este botón para que aparezcan distintas funciones. Este botón se puede utilizar también para operar ciertas funciones.

12 Indicador de encendido

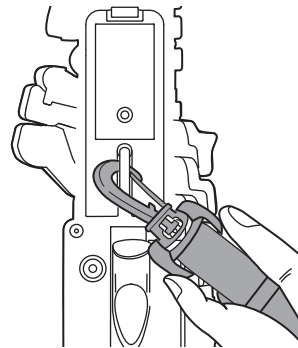
13 Indicador de Bluetooth

14 Anilla para la correa

Ate a correa incluida a esta anilla.

Cómo atar la correa

Ate con firmeza la correa incluida a la anilla. Puede cambiar fácilmente la longitud de la correa para ajustarla a una longitud con que le resulte fácil utilizarla.



15 Apoya pulgar

Utilice este apoyo para sostener el instrumento con el pulgar mientras toca. Rodee con el pulgar derecho el apoya pulgar para sostener el instrumento con firmeza.

16 Controlador analógico

Sirve para aplicar cambios a la voz.

Antes de tocar

■ Requisitos de alimentación


Este instrumento funciona de una de las dos formas indicadas a continuación. Determine cuál de ellas va a utilizar y siga las instrucciones de instalación.

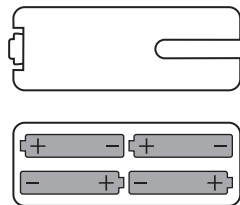
AVISO

- Si conecta el instrumento a un adaptador de alimentación USB disponible en el mercado o a una batería móvil USB mientras el instrumento tiene instaladas las pilas, se prioriza la alimentación del cable USB.


Uso de las pilas

Este instrumento necesita cuatro pilas de tamaño "AA", alcalinas (LR6)/de manganeso (R6) o recargables de níquel e hidruro de metal (pilas recargables Ni-MH).

- 1 Compruebe que el instrumento está apagado.**
El indicador de alimentación () estará apagado cuando el dispositivo esté desconectado.
- 2 Coloque el instrumento en posición invertida sobre un paño suave y retire la cubierta de las pilas.**
- 3 Inserte las cuatro pilas nuevas, respetando las marcas de polaridad indicadas en el interior del compartimento.**



● Carga restante de las pilas

Cuando la carga restante de las pilas disminuye hasta unos 5 o 10 minutos, el indicador LED POWER (alimentación) () parpadea. Es más: cuando ya casi no queda carga, el indicador LED POWER se apaga y el instrumento entra en modo de espera.

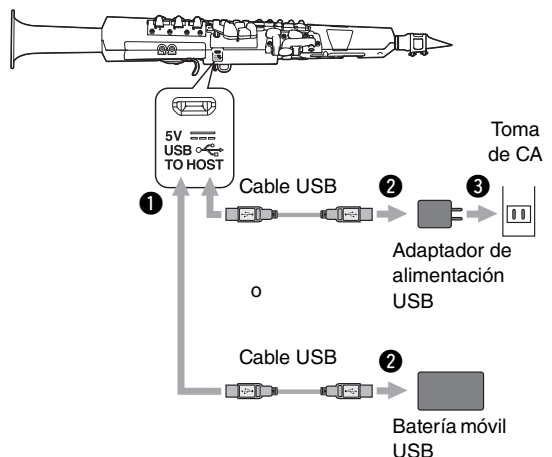
* Esto varía en función del entorno de uso.

NOTA

- Es aconsejable consultar el indicador POWER con frecuencia para que no agote la pila durante la interpretación.

Uso de un adaptador de alimentación USB o de una batería móvil USB (vendidos por separado)

Conecte el cable USB a un adaptador de alimentación USB o batería móvil USB (vendidos por separado) en el orden que se muestra en la ilustración. Para desconectar el cable USB, siga el orden indicado aquí en sentido inverso.



- **Utilice solamente el adaptador de alimentación USB o una batería móvil USB compatibles con la norma USB para alimentación.**

Tensión de salida de 4,8 a 5,2 V

Corriente de salida de 1,0 A o superior

ATENCIÓN

- **Antes de utilizar un adaptador de alimentación USB o una batería móvil USB, asegúrese de leer las precauciones pertinentes.**

■ Encendido de la alimentación/ajuste del modo de espera

1 Pulse el botón [⏻] (en espera/activado) para conectar la alimentación.

El indicador de alimentación (🔌) se ilumina en rojo cuando la alimentación está conectada.

Mientras sopla por la boquilla, ajuste el volumen al nivel que desee.



⚠ ATENCIÓN

- No utilice el instrumento o los auriculares a un nivel de volumen alto o incómodo durante un período prolongado, ya que esto podría ocasionar una pérdida de audición permanente.

AVISO

- Al encender el instrumento, no intente realizar ninguna otra operación, tal como soplar por la boquilla. Si lo hiciera, se podría producir un mal funcionamiento del instrumento.

2 Mantenga pulsado el botón [⏻] (en espera/activado) durante más de un segundo para activar el modo de espera.

⚠ ATENCIÓN

- Incluso en el modo de espera, continúa fluyendo por el instrumento un nivel mínimo de electricidad. Si no tiene previsto utilizar el instrumento durante un largo período de tiempo, desconecte el adaptador USB de la toma de CA o extraiga las pilas del instrumento.
- Si pasan más de 5 segundos sin que se toquen las llaves o los botones desde que se ha apagado la alimentación, el visualizador de LED se apaga. No tiene más que tocar cualquier botón o mover el instrumento para que el visualizador de LED se vuelva a encender.

● Activación/desactivación de Auto Power Off (apagado automático)

Para evitar un consumo de electricidad innecesario, este instrumento presenta una función Auto Power Off que lo apaga automáticamente si no se utiliza durante un determinado período de tiempo (30 minutos). De forma predeterminada, esta función está activada; sin embargo, puede modificar este ajuste mediante el botón [Fn].

AVISO

- Si el instrumento está conectado a otro equipo, como amplificadores o unos altavoces, pero no tiene previsto usarlo durante 30 minutos, le recomendamos que apague todos los dispositivos siguiendo las instrucciones de los manuales de instrucciones correspondientes. De este modo elimina el riesgo de dañar los demás equipos. Si no desea que el instrumento se apague automáticamente cuando esté conectado a otros equipos, desactive la función Auto Power Off.

■ Ajuste del volumen del instrumento

Ajuste el volumen.

El volumen aumenta 1 nivel cada vez que se pulsa VOL [+].

El volumen disminuye 1 nivel cada vez que se pulsa VOL [-].

Puede ajustar el volumen en un margen de 0 a 15 od. El valor predeterminado es 13.



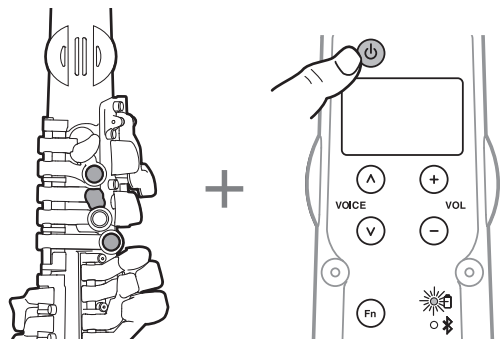
- * El ajuste "od" ("overdrive," máximo) es el volumen máximo, para que el nivel de sonido sea el más potente. Tenga presente que el sonido puede quedar distorsionado en voces concretas y en los registros más graves.

■ Inicialización

Realice esta operación cuando quiera restablecer todos los ajustes a los valores iniciales de fábrica.

1 Si la alimentación está encendida, apáguela.

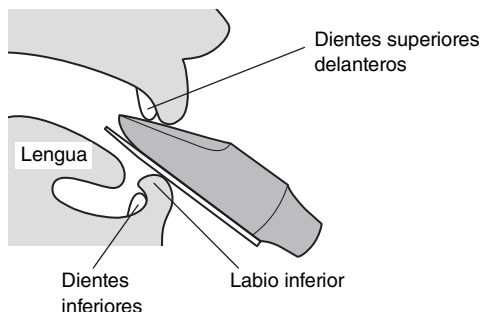
2 Encienda la alimentación mientras presiona las llaves [1], [p] y [3].



Tocar el instrumento

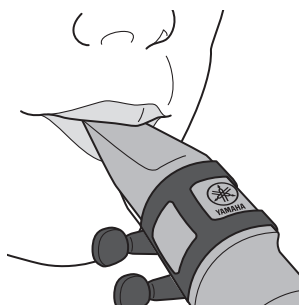
■ Forma de la boca

Colóquese la boquilla en la boca de manera que los dientes superiores queden aproximadamente a 1 cm de la punta de la boquilla. Cúbrase los dientes inferiores con el labio inferior para evitar que toquen la caña.



Con la caña apoyada en el labio inferior, cierre la boca alrededor de la boquilla para evitar que el aire se escape por las comisuras al soplar.

* No muerda fuerte la caña ni la boquilla.



■ Cómo tocar sonido

Póngase la boquilla en la boca y sople. Sopla con fuerza para que el volumen sea mayor, y con delicadeza para que el volumen sea menor. No es necesario hacer vibrar la caña como en un saxofón acústico.

NOTA

- Al contrario que en un saxofón acústico, cambiar el grado en que se inserta la boquilla en el cuello no cambia el tono del sonido.

■ Cómo seleccionar una voz

Puede seleccionar la voz y la tonalidad que le gusten, como saxofón alto, saxofón tenor, etc.

1 Pulse VOICE (voz) [^]/[v].

En el visualizador de LED aparece el número de voz. Puede consultar los nombres de las voces en la Lista de voces de la página 19.



El visualizador de la pantalla LED tiene esta leyenda.

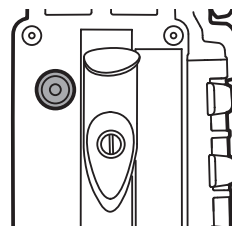
- R.0 1* hasta *R.17*: Voces de saxofón alto (en Mi \flat)
- S.0 1* hasta *S.13*: Voces de saxofón soprano (en Si \flat)
- T.0 1* hasta *T.15*: Voces de saxofón tenor (en Si \flat)
- B.0 1* hasta *B.11*: Voces de saxofón barítono (en Mi \flat)
- C.0 1* hasta *C.17*: Voces no de saxofón (en Do)
- U.0 1* hasta *U.20*: Puede seleccionar las voces del usuario editadas en la aplicación exclusiva (página 14). Puede consultar más detalles en el manual de la aplicación exclusiva.

Cómo utilizar el controlador analógico

El controlador analógico tiene asignadas funciones predeterminadas conforme a la voz seleccionada.

- **Aumentar o disminuir el tono (cambio de tono)**
- **Aplicar vibrato al sonido. (Modulación)**
- **Suavizar el tono entre notas (portamento)**

Puede consultar detalles acerca de las funciones asignadas al controlador analógico de cada voz en la Lista de voces al final de este documento.



NOTA

- El portamento es una técnica interpretativa que cambia con suavidad el tono de la interpretación hacia registros más agudos y más graves. Al utilizar una voz con un portamento asignado a ella, desplace el controlador de pulgar para cambiar el tono con suavidad.

Cómo cambiar los ajustes con el botón [Fn]

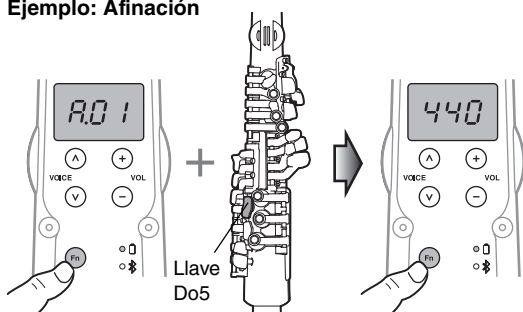
Pulse teclas concretas mientras mantiene pulsado el botón [Fn] para ejecutar los ajustes de las distintas funciones del instrumento.

Funcionamiento básico

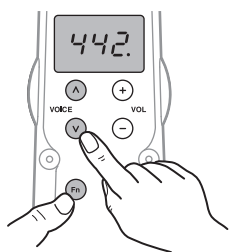
Utilice el procedimiento siguiente para ejecutar los ajustes de cada función.

- 1 Mientras mantiene pulsado el botón [Fn], pulse la llave a la que está asignada la función. Mantenga pulsado el botón [Fn] hasta que termine de ejecutar los ajustes. Si suelta el botón, el valor que haya en ese momento queda seleccionado y se le devolverá a la pantalla Selección de voces.

Ejemplo: Afinación



- 2 Mientras mantiene pulsado el botón [Fn], pulse VOICE (Voz) [^]/[v] y seleccione el valor que desee.



NOTA

- Pulse a la vez los dos botones VOICE (Voz) [^]/[v] para restablecer este valor en el valor inicial de fábrica.

- 3 Cuando haya terminado de seleccionar un valor, suelte el botón [Fn].

Con esto se completará el ajuste y se le devolverá a la pantalla Selección de voces.

Función	Ajustes	Tecla
Resistencia a la presión del soplo Determina cuánto cambia el volumen de sonido en respuesta a la intensidad sostenida del soplo. Cuanto menor es el valor, más sensible es el instrumento a su soplo.	1 a 5 Predeterminado: 3	C3 (Do3)
Respuesta al soplo Determina cuánto cambia el volumen de sonido en respuesta a la intensidad inicial del soplo. Cuanto mayor es el valor más tendrá que soplar en el instrumento para producir un sonido.	1 a 10 Predeterminado: 5	Tc
Respuesta de las llaves Previene la producción de sonidos no deseados causados por que la digitación esté desacomodada al presionar o liberar varias teclas simultáneamente. Cuanto mayor es el valor, más sonidos no deseados se suprimen.	1 a 20 Predeterminado: 10	Ta
Afinación Ajusta el tono general del instrumento. El valor del tono aparece en la pantalla LED. Puede ajustar el tono en el registro de 427 a 453 Hz en pasos de 0,5 Hz. El punto del primer dígito del visualizador de LED indica 0,5 Hz.	427 a 453 (Hz) Predeterminado: 440	C5 (Do5)
Auto Power Off (apagado automático) Establece el valor de la función para que la alimentación se apague automáticamente. El valor aparece en la pantalla LED.	Off (desactivado), 5, 10, 15, 30, 60, 120 (minutos) Predeterminado: 30	Tf
Función Bluetooth activada/desactivada Activa o desactiva la función Bluetooth. Cuando el Bluetooth está activado y los auriculares están conectados al instrumento, podrá escuchar la música interpretada en un dispositivo inteligente o similar por medio de Bluetooth.	On (Encendida), Off (Apagada) Predeterminado: Apagada	Mib
Reverberación Establece el efecto de reverberación. Cuanto mayor sea el número, más pronunciado será el efecto. La reverberación se aplica solamente a la salida de los auriculares. NOTA <ul style="list-style-type: none"> • La reverberación no afecta a la entrada AUX IN (entrada auxiliar) ni a los datos de audio que se reciben mediante Bluetooth. 	Off (Apagada), 1 a 5 Predeterminado: Apagada	Sol#

• Cómo activar la función Bluetooth y emparejar con un dispositivo inteligente.

- 1 Active la función Bluetooth.

Cuando esté activada, el indicador de Bluetooth (📶) parpadeará lentamente. Realice el emparejamiento cuando desee utilizar audio de Bluetooth. Esta operación no es necesaria cuando se conecta a la aplicación exclusiva.

2 Mientras mantiene pulsado el botón [Fn], pulse la tecla Do.

Esto pondrá al instrumento en modo de espera de emparejamiento. Mantenga pulsado el botón [Fn].

- Pantalla LED: [b--] Modo de espera de emparejamiento
- Pantalla LED: [---] Función Bluetooth desactivada

3 Mientras mantiene pulsado el botón [Fn], pulse el botón VOICE (Voz) [^] para comenzar el emparejamiento.

La pantalla LED cambiará a la visualización siguiente y el indicador de Bluetooth (📶) parpadeará rápidamente.



NOTA

- Para cancelar el emparejamiento, pulse el botón VOICE (Voz) [v].

4 Seleccione la conexión en el dispositivo inteligente.

Seleccione [YDS-150 Audio] en caso de gestionar el audio.

5 Cuando haya finalizado el emparejamiento, el indicador de Bluetooth pasará de parpadear rápido a permanecer encendido.

Si el emparejamiento no funciona, el indicador Bluetooth parpadea despacio y el visualizador de LED cambia a [b--].

6 Si pasan cinco minutos desde que se inició el emparejamiento en el paso 3, este no se produce.

7 Suelte el botón [Fn].

Se le devolverá a la pantalla Selección de voces.

NOTA

- Una vez emparejados, el indicador de Bluetooth permanece encendido.
- El audio puede reproducirse a un volumen alto o molesto, dependiendo de su dispositivo inteligente. Ajuste el volumen en su dispositivo inteligente antes de reproducir el audio.

Cómo utilizar la aplicación exclusiva

Puede utilizar la aplicación exclusiva de este instrumento para ejecutar los ajustes de las funciones de este instrumento con mayor comodidad.

1 Instale la aplicación exclusiva de este instrumento en su dispositivo inteligente.

2 Conecte este instrumento y su dispositivo inteligente por medio de Bluetooth.

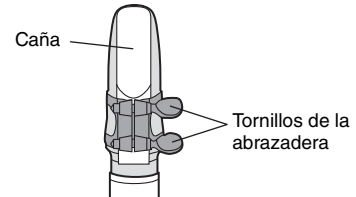
Puede ejecutar los ajustes siguientes del instrumento en la aplicación. Puede consultar más detalles en el manual de la aplicación.

- Editar voces de usuario / editar información sobre digitación / habilitar y deshabilitar los atajos de selección de voces, etc.

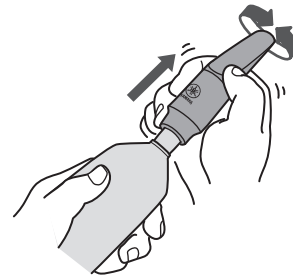
Mantenimiento del instrumento después de tocar

Antes de guardar este instrumento en su estuche, retire la boquilla y limpie toda la humedad próxima a la campana y la boquilla.

1 Afloje los tornillos de la abrazadera y retire la caña y la abrazadera de la boquilla.



2 Sujete con firmeza la boquilla y gírela de un lado a otro para separarla del cuello.

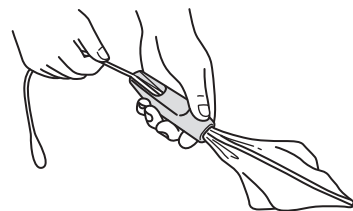


AVISO

- Cuando retire la boquilla, no doble la base del cuello. Si se aplica demasiada fuerza sobre el cuello se puede dañar.

3 Utilice un limpiador con punta de algodón (se vende por separado) para limpiar el interior de la boquilla.

- * Tenga cuidado de no dañar la punta de la boquilla.
- * Mantenga el limpiador con punta de algodón siempre limpio y seco.



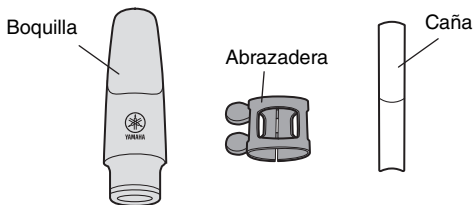
4 Frote la campana y las llaves con un paño suave y seco.

■ Colocación de la caña y la abrazadera

Deslice la boquilla por el cuello del cuerpo, girándola de un lado a otro. Después de que la boquilla esté en su posición, coloque la caña y la abrazadera en la boquilla.

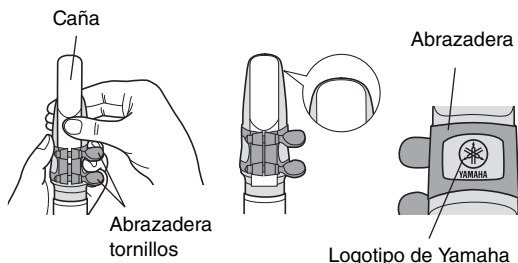
AVISO

- La punta de la caña es delicada, de manera que tenga cuidado de no dañarla con la abrazadera y demás piezas.



- 1** Inserte la abrazadera en la boquilla desde su extremo cónico.
- 2** Coloque la caña de tal forma que el extremo de la boquilla quede ligeramente visible por encima de la punta de la caña. Apriete los dos tornillos en la abrazadera para que la caña quede fija en su sitio.

* Coloque la abrazadera de tal forma que el logotipo de los tres diapasones quede centrado en el espacio abierto de la abrazadera.



AVISO

- Utilice el juego de boquilla exclusivo (boquilla, caña, abrazadera) incluido con este instrumento. De no hacerlo, es posible que el sonido no se genere correctamente o que el dispositivo presente otros fallos.
- Apriete los tornillos de la abrazadera lo suficiente como para que la caña no se mueva. Tenga cuidado de no apretar demasiado los tornillos.
- No lave ni este instrumento ni el interior con agua. Si lo hace, puede deteriorar el instrumento.
- No aplique grasa al cuello del instrumento. De hacerlo, puede deteriorar el cuello.
- Cuando la conexión entre el cuello y la boquilla se esté aflojando, cambie la junta tórica por la de repuesto incluida.
- Si durante su uso se rompe la punta de la caña o se desfigura la caña, cámbiela por la de repuesto incluida.

Resolución de problemas

• El sonido no para.

- Intente encender la alimentación otra vez.
- El líquido que quede en el orificio interno de la junta de la boquilla puede hacer que el sonido no se detenga. Limpie el líquido del orificio con una torunda de algodón fina.

Especificaciones

Nombre del producto	Saxofón digital
Voces	Muestreo AWM
Bluetooth	Versión de Bluetooth: 4,2 Perfil compatible: A2DP (Do3) Cumple la especificación Bluetooth Low Energy MIDI Salida inalámbrica: Bluetooth de clase 2 Distancia máxima de comunicación: Unos 10 m Radiofrecuencia (frecuencia operativa): 2402 a 2480 MHz Potencia máxima de salida (EIRP): 4 dBm Tipo de modulación: FHSS
Alimentación	Adaptador de CA USB: 5 V / 1 A Concentrador USB con fuente de alimentación propia: 5 V / 1 A Cuatro pilas "AA" alcalinas (LR6), de manganeso (R6) o de NiMH recargables (HR6)
Consumo de electricidad	4,5 W (cuando se utiliza adaptador de CA USB)
Auto Power Off (apagado automático)	Sí
Dimensiones (ancho × fondo × alto)	699 mm (ancho) × 110 mm (fondo) × 103 mm (alto)
Peso	1,0 kg (sin las pilas)

* El contenido de este manual es aplicable a las últimas especificaciones en la fecha de publicación. Para obtener el último manual, acceda al sitio web de Yamaha y descargue el archivo del manual. Puesto que las especificaciones, los equipos o los accesorios que se vendan aparte podrían no ser iguales en todos los sitios, consulte al distribuidor de Yamaha.

MEMO

Para consultas, visite: www.anatel.gov.br



Este equipamento não tem direito à proteção contra interferência prejudicial e não pode causar interferência em sistemas devidamente autorizados.

PRECAUÇÕES

LEIA COM ATENÇÃO ANTES DE UTILIZAR O INSTRUMENTO

Mantenha este manual em lugar seguro e à mão para referências futuras.



ADVERTÊNCIAS

Sempre siga as precauções básicas indicadas abaixo para evitar a possibilidade de ferimentos graves ou até mesmo morte por choque elétrico, curto circuito, danos, incêndio ou outros riscos. Essas precauções incluem, entre outras, as seguintes:

Alimentação

- Não deixe o cabo USB próximo a fontes de calor, como aquecedores ou radiadores. Também não o dobre excessivamente ou poderá danificá-lo, nem coloque objetos pesados sobre ele.
- Utilize apenas a tensão especificada como correta para o instrumento. A voltagem correta está impressa na placa de identificação do instrumento.
- Verifique o plugue elétrico periodicamente e remova a sujeira e o pó acumulados nele.

Não abra

- Este instrumento não contém peças cuja manutenção possa ser feita pelo usuário. Não abra o instrumento nem tente desmontar ou modificar os componentes internos em hipótese alguma. Caso o instrumento não esteja funcionando corretamente, pare de utilizá-lo imediatamente e leve-o a um Serviço Técnico Yamaha para inspeção.

Advertência: água

- Não exponha o instrumento à chuva, não o use perto de água nem em locais úmidos e não coloque sobre ele recipientes (como jarros, garrafas ou copos) contendo líquidos que possam ser derramados nas aberturas. Se algum líquido, como água, penetrar no instrumento, desligue-o imediatamente e desconecte o cabo de alimentação da tomada CA. Em seguida, leve o instrumento a um Serviço Técnico Yamaha para inspeção.
- Nunca conecte nem desconecte o plugue elétrico com as mãos molhadas.

Advertência: incêndio

- Não coloque objetos incandescentes, como velas, sobre a unidade. Um objeto incandescente pode tombar e provocar incêndio.

Influências em dispositivos eletromédicos

- Ondas de rádio ou magnetismo podem afetar dispositivos eletromédicos.
 - Não use este produto próximo a dispositivos médicos ou dentro de áreas nas quais o uso de ondas de rádio é restrito.
 - Não use este produto a 15cm (6 pol.) de pessoas com implante de marcapasso cardíaco ou de desfibrilador.

Pilha

- Siga as precauções abaixo. O não cumprimento delas pode causar superaquecimento, incêndio, explosão ou vazamento do fluido da pilha.
 - Não adultere nem desmonte as pilhas.
 - Não descarte as pilhas no fogo.
 - Não tente recarregar pilhas que não foram desenvolvidas para serem recarregadas.
 - Mantenha as pilhas separadas de objetos metálicos, como cordões, grampos, moedas e chaves.
 - Use somente o tipo de pilha especificado (página 15).
 - Use pilhas novas de tipo e modelo iguais e do mesmo fabricante.
 - Sempre verifique se todas as pilhas estão colocadas de acordo com as marcas de polaridade +/-.
 - Quando a carga das pilhas acabar ou se o instrumento não for utilizado por um longo período, remova as pilhas do instrumento.
 - Ao usar pilhas Ni-MH, siga as instruções fornecidas com as pilhas. Utilize apenas o dispositivo carregador especificado quando for recarregar as pilhas.
- Mantenha as pilhas fora do alcance das crianças que podem engoli-las acidentalmente.
- Em caso de vazamento, evite o contato com o fluido. Em caso de contato do fluido da pilha com os olhos, a boca ou a pele, lave-os imediatamente com água e procure um médico. O fluido da pilha é corrosivo e pode causar perda de visão ou queimaduras químicas.

Se você observar qualquer anormalidade

- Quando ocorrer um dos seguintes problemas, desligue o aparelho imediatamente e desconecte o plugue elétrico da tomada. (Se você estiver usando pilhas, remova todas elas do instrumento.) Em seguida, leve o dispositivo a um Serviço Técnico Yamaha para inspeção.
 - O cabo USB ou o plugue ficam desgastados ou são danificados.
 - O instrumento emitir fumaça ou odores anormais.
 - Algum objeto cair dentro do instrumento.
 - Houver uma perda súbita de som durante o uso do instrumento.
 - Se houver rachaduras ou danos no instrumento.

CAUIDADO

Siga sempre as precauções básicas mencionadas abaixo para evitar que você ou outras pessoas se machuquem, bem como para evitar que ocorram avarias no instrumento ou em outros objetos. Essas precauções incluem, mas não estão limitadas a:

Alimentação

- Não conecte o instrumento a uma tomada elétrica utilizando um benjamim. Isso pode prejudicar a qualidade do som ou causar o superaquecimento da tomada.
- Ao desconectar o plugue elétrico do instrumento ou da tomada, segure sempre o próprio plugue, nunca o cabo USB. Se você puxar o cabo USB, ele poderá ser danificado.
- Remova o plugue elétrico da tomada quando o instrumento não for utilizado por um longo período ou durante tempestades elétricas.
- Use somente o adaptador de alimentação USB especificado (página 10). Usar o adaptador incorreto poderá resultar em danos ao instrumento ou superaquecimento.

Local


- Não deixe o instrumento em posições instáveis de onde ele pode sofrer quedas acidentais.
- Antes de mover o instrumento, remova todos os cabos conectados para evitar danos aos cabos ou ferimentos em pessoas que possam tropeçar neles.
- Ao usar um plugue elétrico, verifique se a tomada de corrente alternada (CA) usada está facilmente acessível à vista. Se houver algum problema ou mau funcionamento, desligue a chave Liga/Desliga e desconecte o plugue da tomada. Mesmo quando a chave Liga/Desliga está desligada, a eletricidade continua fluindo para ele em um nível mínimo. Se não for utilizar o produto por um longo período, desconecte o plugue da tomada CA.

Conexões

- Antes de conectar o instrumento a outros componentes eletrônicos, desligue todos os componentes. Antes de ativar ou desativar todos os componentes, ajuste o volume para o nível mínimo.
- Ajuste o volume de todos os componentes para o nível mínimo e aumente gradualmente os controles de volume enquanto toca o instrumento para definir o nível de audição desejado.

A Yamaha não pode ser responsabilizada por danos causados pelo uso indevido do instrumento ou por modificações nele efetuadas, bem como pela perda ou destruição de dados.

Sempre desligue o instrumento quando ele não estiver sendo usado.

Mesmo quando a chave [] (Standby/On - Em espera/Ligado) esteja em modo de espera (lâmpada de energia desligada), a eletricidade continuará fluindo para o instrumento em um nível mínimo.

Se não for utilizar o instrumento por um longo período, desconecte o cabo de força da tomada de corrente alternada.

Descarte as pilhas usadas de acordo com os regulamentos locais.

Manuseio

- Não coloque o dedo nem a mão nas aberturas do instrumento.
- Nunca insira nem deixe cair papel, objetos metálicos ou outros objetos nas aberturas do painel ou das teclas. Isso pode causar ferimentos em você ou outras pessoas, danos ao instrumento ou danos a outro equipamento, ou falha operacional.
- Não apoie o corpo nem coloque objetos pesados sobre o instrumento. Além disso, não pressione os botões, as chaves nem os conectores com muita força.
- Não use o instrumento se o bocal, a palheta ou a abraçadeira estiver danificada.
- Mantenha peças pequenas fora do alcance de crianças. Elas podem engoli-las acidentalmente.
- Não utilize o instrumento/dispositivo ou os fones de ouvido por um longo período com volume alto ou desconfortável, pois isso pode causar a perda permanente da audição. Se você notar perda de audição ou zumbido no ouvido, procure um médico.
- Ao usar uma alça, certifique-se de que ela esteja bem presa ao instrumento.
- Não levante o instrumento pela alça. Isso pode causar ferimentos graves ou danos ao instrumento.
- Não trate o instrumento de maneira bruta, como balançá-lo, etc. A alça no instrumento pode se soltar, causando acidentes inesperados, como a queda do instrumento, etc., ou ferindo as pessoas próximas.

AVISO

Para evitar a possibilidade de mau funcionamento/danos ao produto, danos aos dados ou a outra propriedade, obedeça aos avisos abaixo.

■ Manuseio

- Não conecte este produto a redes Wi-Fi públicas e/ou diretamente à Internet. Só conecte este produto à Internet através de um roteador protegido com senhas difíceis de adivinhar. Consulte o fabricante do seu roteador para saber quais são as melhores práticas de segurança.
- Não use o instrumento próximo a aparelhos elétricos, como televisores, rádios, equipamentos estéreo e telefones celulares, entre outros. Caso contrário, o instrumento, o televisor ou o rádio poderão gerar ruído. Ao usar o instrumento junto com um aplicativo em seu dispositivo inteligente, como um smartphone ou tablet, recomendamos ativar o Bluetooth após ativar o “Modo Avião” no dispositivo para evitar ruídos causados pela comunicação.
- Não exponha o instrumento a pó excessivo, a vibrações nem a calor ou frio extremo (por exemplo, não o deixe exposto à luz solar direta, próximo a um aquecedor ou dentro do carro durante o dia) para evitar deformações no painel, danos aos componentes internos ou operação instável. (Intervalo de temperatura de funcionamento verificado: 5 °C a 40 °C.)
- Não coloque objetos de vinil, plástico ou borracha sobre o instrumento, pois isso pode causar descolorações do painel ou teclado.
- Não deixe o instrumento com uma tecla pressionada por muito tempo, pois isso pode danificar a tecla.

■ Manutenção

- Ao limpar o instrumento, use um pano macio. Não use tiner, solventes, álcool, soluções de limpeza nem panos de limpeza impregnados com produtos químicos.
- Tome cuidado para não expor o instrumento à água. Se a superfície do instrumento entrar em contato com água, seque-o com um pano.

Informações

■ Sobre este manual

- As ilustrações e os visores LED mostrados neste manual têm apenas fins instrutivos e podem apresentar diferenças em relação às exibidas no instrumento.
- A marca Bluetooth® e os logotipos são marcas comerciais registradas pertencentes à Bluetooth SIG, Inc., e o uso dessas marcas pela Yamaha Corporation é licenciado.



- Os nomes das empresas e dos produtos neste manual são marcas comerciais ou marcas comerciais registradas de suas respectivas empresas.

O número de modelo, número de série, requisitos de energia, etc. podem ser encontrados na placa de nome, que está na parte traseira da unidade. Anote-o no espaço reservado abaixo e guarde este manual como registro de compra permanente para auxiliar na identificação do produto em caso de roubo.

N° do modelo

N° de série

(rear_pt_01a)

Sobre o Bluetooth

Bluetooth é uma tecnologia de comunicação sem fio entre dispositivos dentro de uma área de 10 metros utilizando a banda de frequência de 2,4 GHz.

■ Como lidar com comunicações Bluetooth

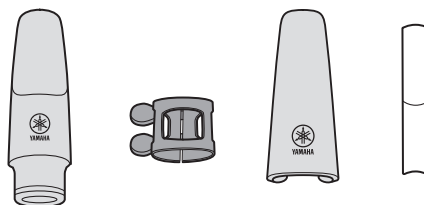
- A banda de 2,4 GHz usada por dispositivos compatíveis com Bluetooth é uma banda de rádio compartilhada por vários tipos de equipamentos. Enquanto os dispositivos compatíveis com Bluetooth utilizam uma tecnologia que minimiza a influência de outros componentes que usam a mesma banda, essa influência pode reduzir a velocidade ou a distância de comunicações e, em alguns casos, interromper as comunicações.
- A velocidade de transferência do sinal e a distância em que a comunicação é possível varia de acordo com a distância entre os dispositivos de comunicação, a presença de obstáculos, as condições das ondas de rádio e o tipo de equipamento.
- A Yamaha não garante todas as conexões sem fio entre essa unidade e os dispositivos compatíveis com a função Bluetooth.

Seu instrumento particular não será compatível com Bluetooth se a indicação "Y" estiver impressa no canto superior direito do rótulo na parte inferior.

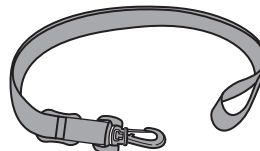
Agradecemos por comprar o Saxofone Digital Yamaha. Você pode usar este saxofone digital para tocar e praticar em sua casa. É recomendável ler este manual atentamente para que você possa aproveitar por completo as funções avançadas e práticas do instrumento. Também é recomendável guardar este manual em um local próximo e seguro para referência futura.

Acessórios incluídos

- **Kit do bocal (bocal, abraçadeira, tampa, palheta) x 1**



- **Alça x 1**



OBSERVAÇÃO

- A correia está armazenada no bolso dentro da caixa especial.

- **Anel O-ring de reposição x 1 kit (3 peças incluídas)**



- **Palheta de reposição x 1**



- **Caixa especial x 1**

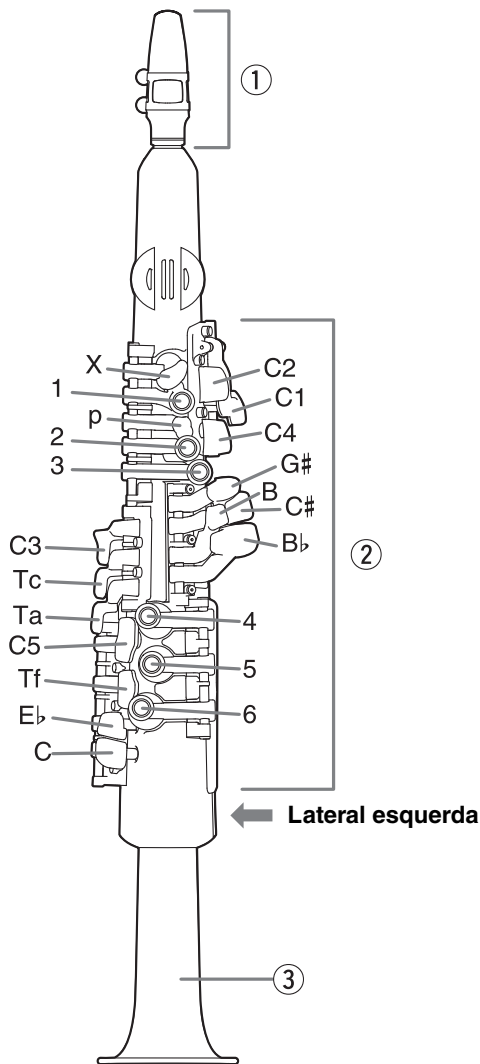
AVISO

- Só guarde este instrumento e a correia dentro da caixa especial, pois guardar outros objetos pode danificar as teclas.

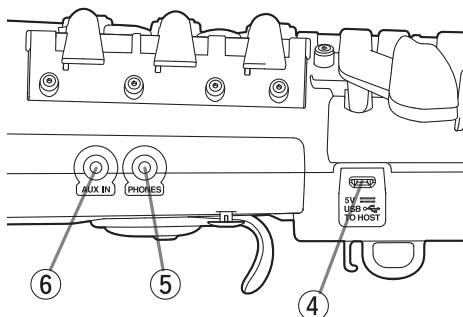
- **Manual do Proprietário x 1**

Controles e funções

Parte frontal



Lateral esquerda



① Kit de bocal

Deve ser usado apenas com este instrumento.

② Teclas

(Tabela de digitação: página 20)

③ Campainha

Há um dreno de água dentro da campainha. Ele permite drenar a condensação de água e o excesso de umidade dos sopros.

④ Terminal 5 V DC-IN/USB TO HOST

Terminal USB tipo B micro.

Para a conexão com um adaptador de alimentação USB, uma bateria móvel USB ou um PC usando um cabo USB.

AVISO

- Use um cabo USB A - micro B de menos de três metros. Não use um cabo USB 3.0.

⑤ Conector PHONES

Para conectar um par de fones de ouvido estéreo ou outro equipamento com um miniplugue estereofônico (3,5 mm). Os alto-falantes embutidos do instrumento param de produzir som automaticamente após a conexão.

! CUIDADO

- Para evitar a perda da audição, evite usar fones de ouvido com o volume muito alto por longos períodos.
- Antes de conectar o instrumento a outros componentes eletrônicos, desligue todos os componentes. Antes de ativar ou desativar todos os componentes, ajuste o volume para o nível mínimo. Isso pode causar perda permanente da audição.

⑥ Conector [AUX IN]

Para inserir o som de um reproduzidor de áudio e escutá-lo pelo alto-falante embutido do instrumento (com miniplugue estereofônico de 3,5 mm). Para ajustar o volume de entrada do conector [AUX IN], ajuste o volume de reprodução de áudio no dispositivo de áudio.

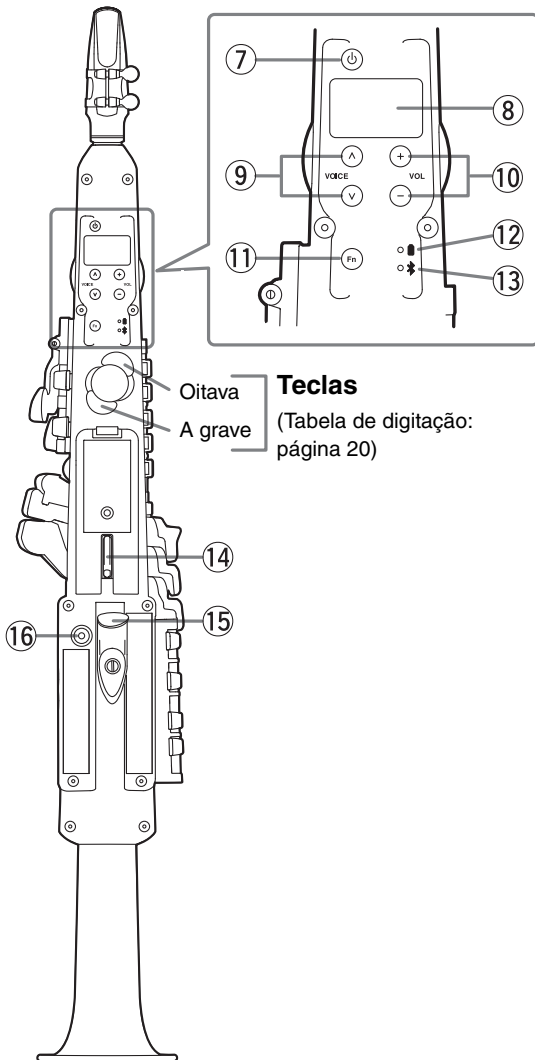
! CUIDADO

- Para evitar possíveis danos, primeiro desligue o dispositivo externo e, em seguida, o instrumento. Quando for desligar os equipamentos, primeiro desligue o instrumento e, em seguida, o dispositivo externo. Isso pode causar perda permanente da audição.

OBSERVAÇÃO

- Use um plugue adaptador apropriado se o conector de saída do dispositivo de áudio não corresponder ao miniplugue estereofônico do cabo de áudio.
- Use cabos de áudio e plugues adaptadores que não têm resistores em série.

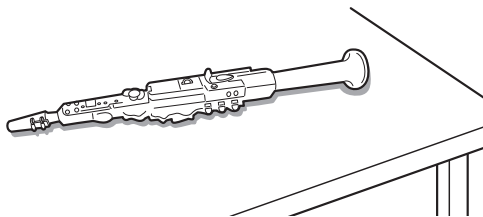
Parte traseira



Teclas
(Tabela de digitação:
página 20)

Posicionar o instrumento

Quando o instrumento não estiver sendo tocado, coloque-o sobre uma superfície plana, como mostrado na ilustração abaixo. Não coloque o instrumento em uma cadeira, um atril ou outra superfície instável, pois existe o risco de que o instrumento caia. Além disso, nunca incline o instrumento contra uma parede etc.



AVISO

- Não deixe o instrumento em posição vertical sem um apoio. Se cair, o instrumento poderá ser danificado devido ao impacto. Para apoiar o instrumento em posição vertical, use um suporte disponível comercialmente.

7 Botão [⏻] (Standby/On)

Pressione esse botão para ligar o instrumento.

8 Tela LED

Exibe informações como o número da voz em caracteres alfanuméricos.

9 Botões VOICE [^]/[v]

Altera a voz cada vez que um botão é pressionado.

10 Botões VOL [-]/[+]

Aumenta ou diminui o volume do instrumento cada vez que um botão é pressionado. Mantenha pressionado um botão para ajustar o volume rapidamente.

- Intervalo de configuração: 0 a 15, od (Padrão: 13)
- Pressione o botão VOL [-] e o botão VOL [+] simultaneamente para restaurar a configuração padrão de volume padrão.

11 Botão [Fn] (Função)

Enquanto mantém pressionado este botão, pressione teclas específicas para ativar várias funções. Ele também pode ser usado para operar algumas funções.

12 Lâmpada de energia

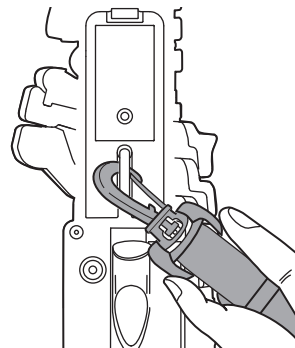
13 Lâmpada do Bluetooth

14 Anel da correia

Prenda a correia incluída nesse anel.

Como prender a correia

Prenda com firmeza a correia incluída no anel. Você pode ajustar com facilidade o comprimento da correia para o tamanho que achar confortável.



15 Apoio do polegar

Use este apoio para apoiar o instrumento com o polegar enquanto toca. Coloque o polegar direito em torno do apoio do polegar para segurar o instrumento com firmeza.

16 Controlador analógico

Usado para aplicar as alterações na voz.

Antes de tocar

■ Requisitos de alimentação

Este instrumento pode receber alimentação de uma das duas maneiras indicadas a seguir. Determine qual você pretende usar e siga as instruções para instalação.

AVISO

- Se você conectar o instrumento a um adaptador de alimentação USB ou a uma bateria móvel USB disponível comercialmente com as pilhas inseridas no instrumento, a energia do cabo USB será usada.

Usar pilhas

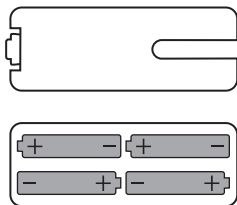
Este instrumento requer quatro pilhas de tamanho "AA", pilhas alcalinas (LR6)/manganês (R6) ou pilhas de níquel-hidreto metálico recarregáveis (pilhas Ni-MH recarregáveis).

1 Certifique-se de que o instrumento esteja desligado.

A lâmpada de energia (☐) apagará quando o instrumento estiver desligado.

2 Coloque o instrumento de cabeça para baixo sobre um pano macio e retire a tampa das pilhas.

3 Insira as quatro pilhas novas, tomando cuidado para seguir as marcações de polaridade no interior do compartimento.



● Energia restante das pilhas

Quando a carga restante das pilhas cair para cerca de 5 ou 10 minutos*, a lâmpada LED POWER (☐) piscará. Além disso, quando a carga estiver prestes acabar, a lâmpada LED de energia se apagará e o instrumento entrará no modo de espera.

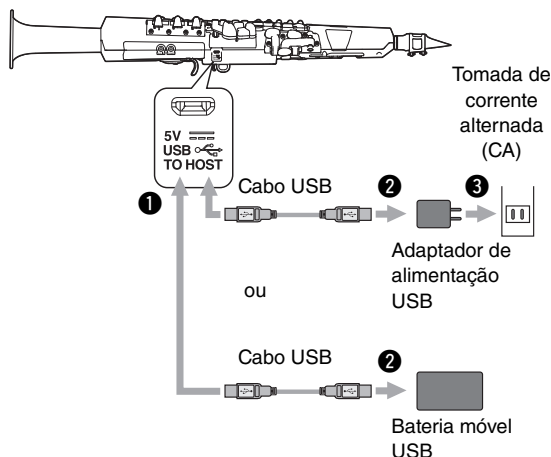
* Varia dependendo do ambiente de uso.

OBSERVAÇÃO

- É recomendável verificar a lâmpada de energia com frequência para evitar que a bateria se esgote enquanto você toca o instrumento.

Usar um adaptador de alimentação USB ou uma bateria móvel USB (vendidos separadamente)

Conecte o cabo USB a um adaptador de alimentação USB ou bateria móvel USB (vendidos separadamente) na ordem exibida na ilustração. Siga a ordem inversa da exibida aqui ao desconectar o cabo USB.



● Use apenas um adaptador de alimentação USB ou uma bateria móvel USB compatíveis com o padrão USB como fonte de alimentação.


Voltagem de saída de 4,8 V a 5,2 V
Corrente de saída de 1,0 A ou maior

⚠ CUIDADO

- Antes de usar um adaptador de alimentação USB ou uma bateria móvel USB, não se esqueça de ler as precauções aplicáveis.

■ Ligar o instrumento/definir como Standby

1 Pressione o botão [] (Standby/ligado) para ligar o instrumento.

A lâmpada de energia () fica acesa em vermelho quando o instrumento está ligado.

Ajuste o volume conforme deseja enquanto sopra o bocal.



CUIDADO

- Não utilize o instrumento ou os fones de ouvido por um longo período em volume alto ou desconfortável, pois isso pode causar a perda da audição.

AVISO

- Ao ligar o instrumento, não tente realizar outras operações, como soprar o bocal. Isso pode causar o mau funcionamento do instrumento.

2 Mantenha pressionado o botão [] (Standby/ligado) por mais de um segundo para ativar o modo de espera.

CUIDADO

- Mesmo quando o modo de espera está ativado, a eletricidade continua fluindo para o instrumento em um nível mínimo. Quando não for utilizar o instrumento por um longo período, desconecte o adaptador de alimentação USB da tomada de corrente alternada (CA) ou remova as pilhas do instrumento.
- Se passarem mais de 5 segundos sem que uma tecla ou botão seja pressionado desde que o instrumento foi ligado, o visor LED se desligará. Basta pressionar qualquer botão ou mover o instrumento para ligar o visor LED novamente.

● Ativar/desativar o desligamento automático

Para evitar consumo de energia desnecessário, este instrumento conta com uma função de desligamento automático que o desligará automaticamente quando ele não estiver sendo utilizado por um período especificado (30 minutos). Por padrão, essa opção está ativada. No entanto, a configuração pode ser alterada com o botão [Fn].

AVISO

- Se o instrumento estiver conectado a outros equipamentos, como amplificadores e alto-falantes, mas você não planejar usá-lo nos próximos 30 minutos, será recomendável desligar todos os dispositivos conforme descrito nos Manuais do Proprietário correspondentes. Isso eliminará o risco de danos a outros equipamentos. Se você não quiser que o instrumento desligue automaticamente quando estiver conectado a outro equipamento, desative a função de desligamento automático.

■ Ajustar o volume do instrumento

Ajustar o volume

O volume aumenta em incrementos de 1 cada vez que VOL [+] é pressionado. O volume diminui em incrementos de 1 cada vez que VOL [-] é pressionado. Você pode ajustar o volume no intervalo de 0 a 15, od. O valor padrão é 13.



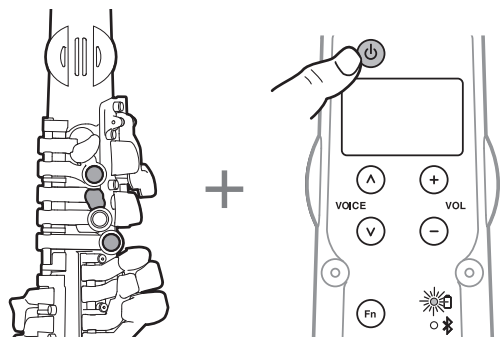
- * A configuração "od" (overdrive) é o volume máximo, produzindo o som mais potente possível. Lembre-se de que pode haver distorção no som para vozes específicas e nos intervalos mais graves.

■ Inicialização

Realize esta operação quando quiser redefinir todas as configurações para os padrões de fábrica.

1 Se o instrumento estiver ligado, desligue-o.

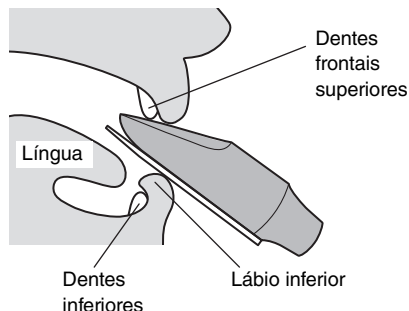
2 Ligue o instrumento enquanto mantém pressionadas as teclas [1], [p] e [3].



Tocar o instrumento

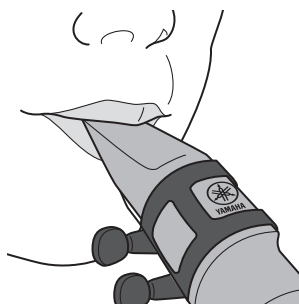
■ Formato da boca

Insira o bocal na boca com um espaço de 1 cm entre os dentes frontais superiores a ponta do bocal. Cubra os dentes inferiores com o lábio inferior para impedir que eles entrem em contato direto com a palheta.



Com a palheta apoiada em seu lábio inferior, feche a boca ao redor do bocal para impedir que o ar escape pelos cantos da boca ao soprar.

* Não morda a palheta ou o bocal com força.



■ Como produzir som

Coloque o bocal na boca e sopre. Sopre com força para produzir um volume mais alto e suavemente para produzir um volume mais baixo. Não há necessidade de vibrar a palheta como em um saxofone acústico.

OBSERVAÇÃO

- Ao contrário de um saxofone acústico, o grau de inserção do bocal no braço não muda a afinação do som.

■ Selecionar uma voz

É possível selecionar uma voz e a tonalidade desejadas, como um saxofone alto, saxofone tenor etc.

1 Pressione VOICE [^]/[v].

O número da voz será exibido no visor LED. Para ver os nomes das vozes, consulte a Lista de vozes na página 19.



O visor na tela LED tem os significados a seguir.

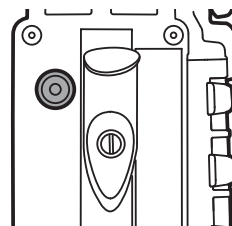
- R.01* a *R.17* : Vozes de saxofone alto (em E \flat)
- S.01* a *S.13* : Vozes de saxofone soprano (em B \flat)
- T.01* a *T.15* : Vozes de saxofone tenor (em B \flat)
- B.01* a *B.11* : Vozes de saxofone barítono (em E \flat)
- C.01* a *C.17* : Vozes de outros instrumentos (em C)
- U.01* a *U.20* : Você pode selecionar vozes do usuário editadas no aplicativo dedicado (página 14). Para obter mais detalhes, consulte o manual do aplicativo dedicado.

Usar o controlador analógico

O controlador analógico tem funções atribuídas por padrão, dependendo da voz selecionada.

- **Aumentar ou diminuir a afinação (curva de afinação)**
- **Aplicar vibrato ao som. (Modulação)**
- **Suavizar a transição da afinação entre notas (Portamento)**

Para obter detalhes sobre as funções atribuídas ao controlador analógico para cada voz, consulte a Lista de vozes no final deste documento.



OBSERVAÇÃO

- Portamento é uma técnica que suaviza as transições da afinação enquanto você toca. Ao usar uma voz com Portamento atribuído, mova o controlador do polegar para alterar a afinação de forma suave.

Alterar as configurações com o botão [Fn]

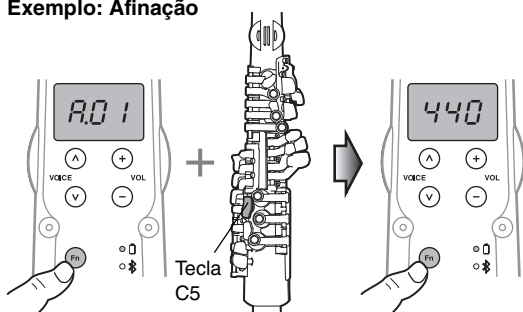
Pressione teclas específicas enquanto mantém o botão [Fn] pressionado para ajustar configurações de várias funções do instrumento.

Operações básicas

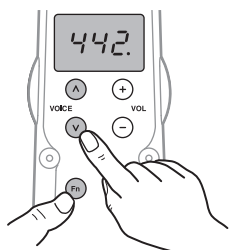
Use o procedimento a seguir para ajustar as configurações de cada função.

- 1 Mantendo pressionado o botão [Fn], pressione a tecla à qual a função está atribuída. Mantenha o botão [Fn] pressionado até terminar de ajustar as configurações. Se você soltar o botão, o valor definido nesse momento será aplicado e a tela de seleção de voz aparecerá novamente.**

Exemplo: Afinação



- 2 Mantendo pressionado o botão [Fn], pressione VOICE [^]/[v] e selecione o valor desejado.**



OBSERVAÇÃO

- Pressione os dois botões VOICE [^]/[v] ao mesmo tempo para restaurar o valor para o padrão de fábrica.

- 3 Quando terminar de selecionar um valor, solte o botão [Fn].**

Isso aplicará a configuração e mostrará novamente a tela de seleção de voz.

Função	Configurações	Tecla
Resistência à pressão do sopro Determina quanto o volume do som muda em resposta à intensidade contínua do seu sopro. Quanto menor o valor, mais sensível o instrumento será ao seu sopro.	1 a 5 Padrão: 3	C3
Resposta ao sopro Determina quanto o volume do som muda em resposta à intensidade inicial do seu sopro. Quanto maior o valor, mais forte você precisa soprar inicialmente o instrumento para produzir som.	1 a 10 Padrão: 5	Tc
Resposta às teclas Evita que sons indesejáveis sejam produzidos devido às durações irregulares das digitações ao pressionar ou soltar várias teclas ao mesmo tempo. Quanto maior o valor, mais sons indesejados são suprimidos.	1 a 20 Padrão: 10	Ta
Afinação Ajusta a afinação geral do instrumento. O valor da afinação é exibido na tela LED. Você pode ajustar a afinação no intervalo de 427 a 453 Hz em incrementos de 0,5 Hz. O ponto no primeiro dígito do visor LED indica 0,5 Hz.	427 a 453 (Hz) Padrão: 440	C5
Desligamento automático Ajusta a função para desligar automaticamente o instrumento. O valor é exibido na tela LED.	Desativado, 5, 10, 15, 30, 60, 120 (minutos) Padrão: 30	Tf
Função Bluetooth ativada/desativada Ativa/desativa a função Bluetooth. Quando o Bluetooth estiver ativado e fones de ouvido estiverem conectados ao instrumento, você só poderá ouvir músicas reproduzidas em um dispositivo inteligente ou outros dispositivos pelo Bluetooth semelhante.	Ativado, desativado Padrão: Desativado	Eb
Reverberação Define o efeito de reverberação. Quanto maior o número, maior o efeito. A reverberação é aplicada somente ao som de saída reproduzido nos fones de ouvido.	Desativado, 1 a 5 Padrão: Desativado	G#

OBSERVAÇÃO

- A reverberação não afeta a entrada AUX IN ou os dados de áudio recebidos por Bluetooth.

- **Ativar a função Bluetooth e emparelhar seu dispositivo inteligente**

- 1 Ative a função Bluetooth.**

Quando ele estiver ativado, a lâmpada do Bluetooth (📶) piscará lentamente. Faça o emparelhamento quando quiser usar a função de áudio Bluetooth. Essa operação não é necessária para se conectar ao aplicativo dedicado.

2 Mantendo pressionado o botão [Fn], pressione a tecla C.

Isso colocará o instrumento no modo de espera de emparelhamento. Continue mantendo o botão [Fn] pressionado.

- Tela LED: [b--] Espera de emparelhamento
- Tela LED: [---] Função Bluetooth desativada

3 Mantendo pressionado o botão [Fn], pressione o botão VOICE [^] para iniciar o emparelhamento.

A tela LED mudará para o visor a seguir e a lâmpada do Bluetooth (📶) piscará rapidamente.



OBSERVAÇÃO

- Para cancelar o emparelhamento, pressione o botão VOICE [v].

4 Selecione a conexão no dispositivo inteligente.

Selecione [YDS-150 Audio] para áudio.

5 Quando o emparelhamento for concluído, a lâmpada do Bluetooth deixará de piscar rapidamente e permanecerá acesa.

Se o emparelhamento falhar, a lâmpada do Bluetooth piscará lentamente e o visor LED mudará para [b--].

6 Se passarem cinco minutos desde que o emparelhamento foi iniciado na Etapa 3, significa que o emparelhamento falhou.

7 Solte o botão [Fn].

A tela de seleção de voz será exibida novamente.

OBSERVAÇÃO

- Enquanto o dispositivo estiver emparelhado, a lâmpada do Bluetooth permanecerá acesa.
- Dependendo do seu dispositivo inteligente, o áudio pode ser reproduzido em um volume alto ou desconfortável. Ajuste o volume do dispositivo inteligente antes de reproduzir o áudio.

Usar o aplicativo dedicado

Você pode usar o aplicativo dedicado deste instrumento para configurar com mais facilidade as funções deste instrumento.

1 Instale o aplicativo dedicado deste instrumento no seu dispositivo inteligente.

2 Conecte este instrumento ao seu dispositivo inteligente por Bluetooth.

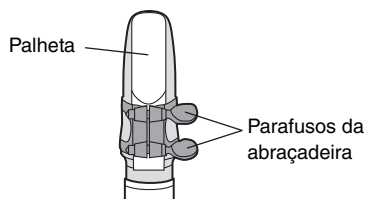
Você pode ajustar as seguintes configurações do instrumento no aplicativo. Para obter detalhes, consulte o manual do aplicativo.

- Editar as vozes do usuário, editar as informações de digitações, ativar/desativar os atalhos de seleção de voz etc.

Manutenção do instrumento depois de tocar

Antes de guardar o instrumento na caixa, retire o bocal do instrumento e seque a umidade acumulada na campainha e no bocal.

1 Afrouxe os parafusos da abraçadeira e retire a palheta e a abraçadeira do bocal.



2 Segure o bocal com firmeza e gire-o de um lado para o outro para desencaixá-lo do braço.

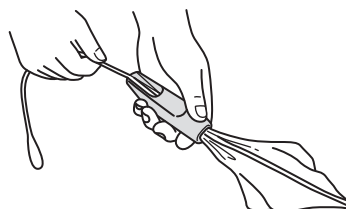


AVISO

- Ao retirar o bocal, evite torcer com força a base do braço. O braço poderá ser danificado se manipulado com força excessiva.

3 Use um papel de limpeza (vendido separadamente) para limpar a parte interna do bocal.

- * Tome cuidado para não danificar a ponta do bocal.
- * Sempre mantenha o papel de limpeza limpo e seco.



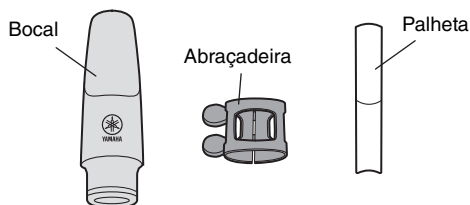
4 Limpe a campainha e as teclas com um pano seco e macio.

■ Colocação da palheta e da abraçadeira

Encaixe o bocal no braço do corpo, girando-o de um lado para o outro. Após encaixar o bocal, insira a palheta e a abraçadeira no bocal.

AVISO

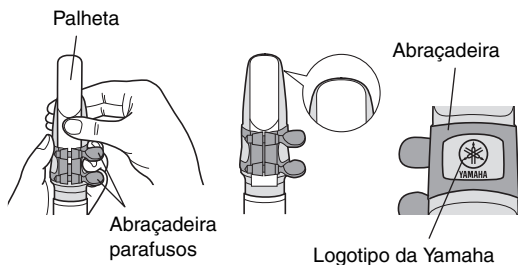
- A ponta da palheta é delicada, portanto, tome cuidado para não a danificar com a abraçadeira etc.



1 Encaixe a abraçadeira no bocal a partir de sua extremidade pontiaguda.

2 Posicione a palheta de modo que a borda do bocal fique ligeiramente visível sobre a ponta da palheta. Aperte os dois parafusos na abraçadeira para fixar a palheta.

- * Posicione a abraçadeira de modo que o logotipo de diapasão fique centralizado no espaço aberto da abraçadeira.



AVISO

- Use o kit de bocal dedicado (bocal, palheta e abraçadeira) que vem incluído com o instrumento. Caso contrário, poderá haver problemas no som produzido ou mau funcionamento.
- Aperte os parafusos da abraçadeira o suficiente para que a palheta não se mova. Tome cuidado para não os apertar excessivamente.
- Não lave a parte externa ou interna deste instrumento com água. Fazer isso pode danificar o instrumento.
- Não aplique graxa ao braço do instrumento. Fazer isso pode danificar o braço.
- Quando o encaixe entre o braço e o bocal ficar frouxo, substitua o anel O-ring pelo anel de reposição incluído.
- Se, devido ao uso contínuo, a ponta da palheta quebrar ou se a palheta se deformar, substitua-a pela palheta de reposição incluída.

Solução de problemas

• O som não para.

- Experimente ligar o instrumento novamente.
- Um resquício de fluido no orifício dentro da junção do bocal pode fazer com que o som não pare de ser produzido. Remova o fluido do orifício usando um cotonete fino.

Especificações

Nome do produto	Saxofone digital
Vozes	Amostragem AWM
Bluetooth	Versão do Bluetooth: 4,2 Perfil compatível: A2DP Atende à especificação de MIDI de baixa energia do Bluetooth Saída sem fio: Bluetooth Classe 2 Distância máxima de comunicação: Aproximadamente 10 m Radiofrequência (frequência operacional): 2.402 a 2.480 MHz Potência de saída máxima (EIRP): 4 dBm Tipo de modulação: FHSS
Fonte de alimentação	Adaptador CA USB: 5 V / 1 A Hub USB com fonte de energia própria: 5 V / 1 A Quatro pilhas tamanho "AA" alcalinas (LR6), de manganês (R6) ou NiMH recarregáveis (HR6)
Consumo de energia	4,5 W (ao usar o adaptador CA USB)
Desligamento automático	Sim
Tamanho (L × P × A)	699 mm (L) × 110 mm (P) × 103 mm (A)
Peso	1,0 kg (sem as pilhas)

- * O conteúdo deste manual se aplica às especificações mais recentes no momento da publicação. Para obter o manual mais recente, acesse o site da Yamaha e faça download do arquivo do manual. Como as especificações, os equipamentos ou os acessórios vendidos separadamente podem não ser iguais em todas as regiões, consulte o revendedor Yamaha.

ПРАВИЛА ТЕХНИКИ БЕЗОПАСНОСТИ

ВНИМАТЕЛЬНО ПРОЧИТЕ, ПРЕЖДЕ ЧЕМ ПРИСТУПАТЬ К ЭКСПЛУАТАЦИИ

Храните это руководство в надежном и легкодоступном месте, так как оно может понадобиться вам в будущем.

ПРЕДУПРЕЖДЕНИЕ

Во избежание получения серьезных травм вплоть до наступления смерти от удара электрическим током, а также во избежание короткого замыкания, повреждения оборудования, пожара и других инцидентов, всегда соблюдайте основные правила безопасности, перечисленные далее. Они включают принятие следующих мер (не ограничиваясь ими):

Питание

- Кабель USB не должен находиться рядом с источниками тепла, такими как нагреватели и батареи отопления. Кроме того, не допускайте перегибов и других повреждений кабеля, не ставьте на него тяжелые предметы.
- Используйте только то напряжение, на которое рассчитан инструмент. Это напряжение указано на наклейке на инструменте.
- Периодически проверяйте сетевую вилку адаптера и очищайте ее от накопившейся пыли и грязи.

Не открывать

- В инструменте нет компонентов, которые должен обслуживать пользователь. Не следует открывать инструмент и пытаться разбирать его, а также каким-либо образом модифицировать его внутренние компоненты. При возникновении неисправности немедленно прекратите эксплуатацию инструмента и обратитесь за помощью к специалистам центра технического обслуживания корпорации Yamaha.

Бережь от воды

- Не допускайте попадания инструмента под дождь, не пользуйтесь им рядом с водой, в условиях сырости или повышенной влажности. Не ставьте на него емкости с жидкостью (вазы, бутылки или стаканы), которая может пролиться и попасть в отверстия. В случае попадания жидкости, например воды, в инструмент немедленно отключите питание и отсоедините кабель питания от розетки электросети. Затем обратитесь за помощью к специалистам центра технического обслуживания корпорации Yamaha.
- Ни в коем случае не вставляйте и не вынимайте сетевую вилку инструмента мокрыми руками.

Бережь от огня

- Не ставьте на инструмент предметы, являющиеся источником открытого огня, например свечи. Горящий предмет может упасть и стать источником возникновения пожара.

Влияние на электронные медицинские устройства

- Радиоволны или магнетизм могут влиять на электронные медицинские устройства.
 - Не используйте данное устройство рядом с медицинскими приборами или в местах, где имеются ограничения на использование радиоволн.
 - Не используйте данное устройство в пределах 15 см от лиц с вживленным кардиостимулятором или дефибриллятором.

Батарея

- Выполняйте указанные ниже меры предосторожности. Несоблюдение этих мер может привести к взрыву, возгоранию, перегреву или вытеканию электролита из батарей.
 - Не пытайтесь нарушить целостность батарей или разобрать их.
 - Не держите батареи близко к огню.
 - Не пытайтесь перезарядить батареи, не предназначенные для перезарядки.
 - Храните батареи отдельно от металлических предметов, таких как ожерелья, заколки, монеты и ключи.
 - Используйте только батареи указанного типа (страница 15).
 - При использовании новых батарей устанавливайте батареи одинакового типа и одинаковой модели, изготовленные одним производителем.
 - Всегда устанавливайте батареи согласно маркировке, соблюдая полярность.
 - При разрядке батарей или длительном неиспользовании инструмента выньте из него батареи.
 - При применении никель-металлогидридных аккумуляторных батарей следуйте инструкциям, прилагаемым к батареям. Для зарядки используйте только указанное зарядное устройство.
- Храните батареи в недоступном для детей месте.
- Если батареи все же протекли, избегайте контакта с вытекшим электролитом. В случае попадания электролита в глаза, рот или на кожу немедленно смойте электролит водой и обратитесь к врачу. Электролит, используемый в батареях, — это агрессивное вещество, способное вызвать потерю зрения или химические ожоги.

Внештатные ситуации

- При возникновении какой-либо из указанных ниже проблем немедленно отключите питание инструмента и отсоедините кабель питания от электросети. (В случае использования батарей извлеките батареи из инструмента.) Затем обратитесь за помощью к специалистам центра технического обслуживания корпорации Yamaha.
 - Кабель USB или вилка изношены или повреждены.
 - Необычный запах или дым.
 - Попадание в корпус инструмента посторонних предметов.
 - Неожиданное прекращение звучания во время использования инструмента.
 - Если на инструменте имеются трещины или разломы.

Во избежание нанесения серьезных травм себе и окружающим, а также повреждения инструмента и другого имущества, всегда соблюдайте основные меры безопасности. Они включают принятие следующих мер (не ограничиваясь ими):

Питание

- Не подключайте инструмент к сетевой розетке через тройник вместе с другими устройствами. Это может привести к ухудшению качества звука или перегреву розетки.
- При отключении вилки от инструмента или из розетки обязательно беритесь за вилку, а не за кабель USB. Иначе можно повредить кабель.
- Отключайте инструмент от электросети, если он не будет использоваться длительное время. Отключать инструмент от электросети следует также во время грозы.
- Используйте только адаптер питания USB указанного типа (страница 10). Использование неподходящего адаптера может привести к его перегреву или к повреждению инструмента.

Место установки


- Во избежание случайного падения инструмента не оставляйте его в неустойчивом положении.
- Перед перемещением инструмента отсоедините все кабели во избежание их повреждения или травмы в результате спотыкания.
- При использовании сетевой вилки убедитесь, что используемая розетка расположена в легкодоступном месте в пределах прямой видимости. При возникновении какого-либо сбоя или неисправности немедленно отключите питание инструмента и отсоедините кабель питания от электросети. Даже если переключатель питания выключен, инструмент продолжает в минимальном количестве потреблять электроэнергию. Если инструмент не используется длительное время, отсоедините кабель питания от электросети.

Подключение

- Перед подсоединением инструмента к другим электронным компонентам отключите их питание. Перед включением или отключением питания электронных компонентов установите минимальный уровень громкости.
- Убедитесь также в том, что на всех компонентах установлен минимальный уровень громкости, и во время игры на инструменте постепенно увеличьте громкость до нужного уровня.

Корпорация Yamaha не несет ответственности за повреждения, вызванные неправильной эксплуатацией или модификацией инструмента, а также за потерю или повреждение данных.

Всегда выключайте питание инструмента, если инструмент не используется.

Даже если переключатель [] (Режим ожидания / Вкл.) находится в положении режима ожидания (не горит индикатор питания), инструмент продолжает потреблять электроэнергию на минимальном уровне.

Если инструмент не будет использоваться в течение длительного времени, обязательно отсоедините кабель питания от электросети.

Утилизацию использованных батарей необходимо выполнять в соответствии с действующим местным законодательством.

Обращение с инструментом

- Не вставляйте пальцы или руку в отверстия инструмента.
- Никогда не засовывайте и не роняйте бумагу, металлические и прочие предметы в отверстия на панели или клавиатуре. Несоблюдение этого требования может привести к получению серьезных травм, нанесению их окружающим, повреждению инструмента и другого имущества, а также к отказу во время эксплуатации.
- Не облакачивайтесь на инструмент, не ставьте на него тяжелые предметы и не прикладывайте усилие к кнопкам, переключателям и разъемам.
- Не используйте инструмент, если мундштук, трость или лигатура повреждены.
- Храните мелкие детали вдали от детей. Дети могут случайно проглотить их.
- Не следует долго пользоваться инструментом/устройством или наушниками с установленным высоким или некомфортным уровнем громкости, так как это может привести к потере слуха. При ухудшении слуха или звоне в ушах обратитесь к врачу.
- При использовании ремня необходимо проверить надежность его крепления к инструменту.
- Не поднимайте инструмент за ремень. Это может привести к получению серьезных травм или к повреждению инструмента.
- Не обращайтесь с инструментом грубо: не размахивайте им и т. д. Ремень инструмента может отсоединиться и стать причиной несчастных случаев, таких как падение инструмента или травмирование окружающих людей.

УВЕДОМЛЕНИЕ

Во избежание возникновения неисправностей или повреждения изделия, повреждения данных или другого имущества соблюдайте требования приведенных ниже уведомлений.

■ Обращение с инструментом

- Не подключайте данное изделие к общедоступным сетям Wi-Fi и/или Интернету напрямую. Для подключения к Интернету необходимо использовать маршрутизатор, защищенный надежным паролем. Рекомендации по безопасности можно получить у производителя маршрутизатора.
- Не используйте инструмент в непосредственной близости от телевизора, радиоприемника, стереооборудования, мобильного телефона и других электроприборов. В противном случае возможно возникновение шума в инструменте, телевизоре или радиоприемнике. Если инструмент используется вместе с приложением на смарт-устройстве (например, смартфоне или планшете), перед включением Bluetooth рекомендуется перевести устройство в авиарежим во избежание помех, создаваемых мобильной связью.
- Во избежание деформации панели, повреждения внутренних компонентов и нестабильной работы берегите инструмент от чрезмерного попадания пыли и сильной вибрации и не подвергайте его воздействию очень высоких или низких температур (например, не размещайте его под прямыми солнечными лучами и рядом с обогревательными приборами, а также не держите в машине в дневное время). Утвержденный диапазон рабочих температур: 5–40 °C.
- Не кладите на инструмент предметы из винила, пластмассы или резины. Это может привести к обесцвечиванию панели или клавиатуры.
- Не оставляйте клавиши инструмента нажатыми в течение длительного времени во избежание их повреждения.

■ Техническое обслуживание

- Для чистки инструмента пользуйтесь мягкой тканью. Не используйте пятновыводители, растворители, спирт, жидкие чистящие средства и чистящие салфетки с пропиткой.
- Не допускайте попадания влаги на инструмент. Если на инструмент попадет вода, сотрите ее сухой тканью.

Информация

■ О данном руководстве

- Иллюстрации и изображения светодиодного графического экрана приводятся в данном руководстве исключительно в целях разъяснения инструкций и могут не полностью соответствовать реальному инструменту.
- Словесный знак Bluetooth® и соответствующие логотипы являются зарегистрированными товарными знаками Bluetooth SIG, Inc. Любое их использование корпорацией Yamaha осуществляется по лицензии.



- Названия компаний и изделий, использованные в данном руководстве, являются товарными знаками или зарегистрированными товарными знаками соответствующих компаний.

Номер модели, серийный номер, требования к источнику питания и пр. указаны на табличке с названием изделия в нижней части устройства или рядом с ней. Запишите серийный номер в расположенном ниже поле и сохраните данное руководство как подтверждение покупки; это поможет идентифицировать принадлежность устройства в случае кражи.

Номер модели.

Серийный номер.

(rear_ru_02)

0 Bluetooth

Bluetooth — это технология беспроводной передачи данных между устройствами на расстоянии около 10 м с использованием частотной полосы 2,4 ГГц.

■ Использование Bluetooth

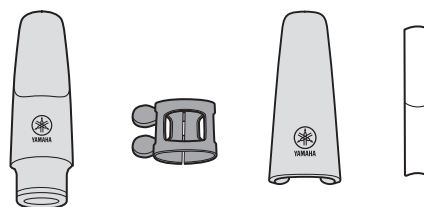
- Полоса 2,4 ГГц, применяемая устройствами с функцией Bluetooth, — это полоса радиосвязи, которую использует оборудование многих типов. Хотя в устройствах, имеющих функцию Bluetooth, применяется технология, сводящая к минимуму влияние других компонентов, использующих ту же полосу радиочастот, такое влияние может уменьшить скорость или расстояние взаимодействия и в некоторых случаях прервать взаимодействие.
- Скорость передачи сигнала и расстояние, на котором возможно взаимодействие, зависят от расстояния между взаимодействующими устройствами, наличия препятствий, условий распространения радиоволн и типа оборудования.
- Компания Yamaha не гарантирует работу всех беспроводных соединений между этим устройством и устройствами, имеющими функцию Bluetooth.

Ваш инструмент не поддерживает функцию Bluetooth, если в правом верхнем углу наклейки, расположенной на нижней части инструмента, есть отметка «Y».

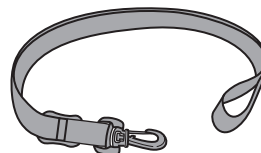
Благодарим вас за покупку цифрового саксофона Yamaha! На цифровом саксофоне можно играть и упражняться дома. Внимательно прочтите данное руководство, чтобы в полной мере пользоваться многочисленными удобными функциями инструмента. Мы также рекомендуем держать это руководство под рукой для дальнейшего использования.

Дополнительные принадлежности

- **Комплект для сборки мундштука (мундштук, лигатура, колпачок, трость) (1 шт.)**



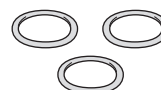
- **Ремень (1 шт.)**



ПРИМЕЧАНИЕ

- Ремень хранится в кармане специального футляра.

- **Запасное уплотнительное кольцо (1 комплект из 3 шт.)**



- **Запасная трость (1 шт.)**



- **Специальный футляр (1 шт.)**

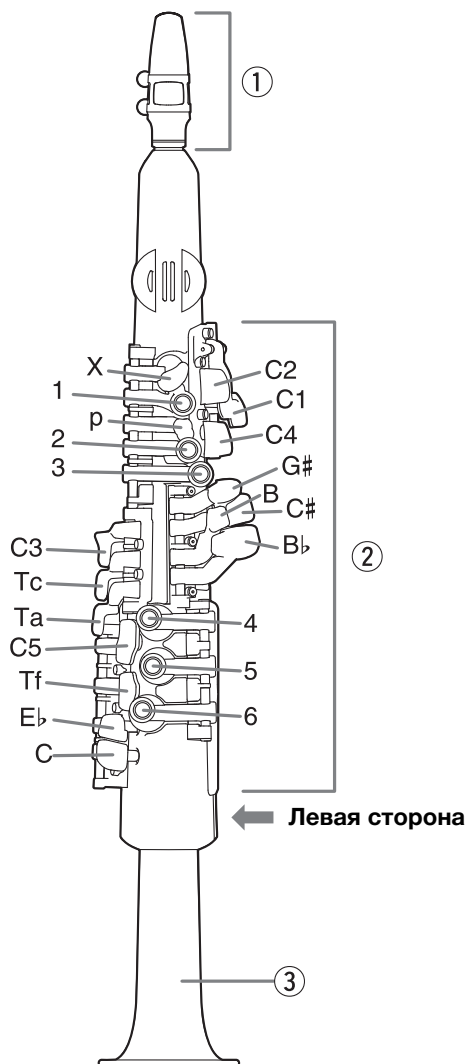
УВЕДОМЛЕНИЕ

- Храните в специальном футляре только этот инструмент и ремень, так как хранение других предметов может привести к повреждению клавиш.

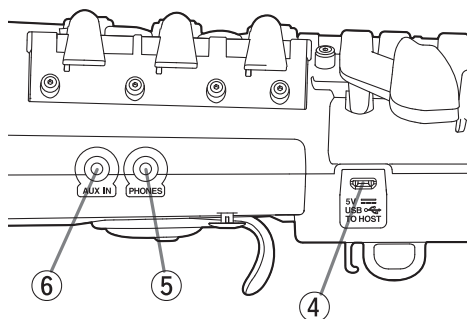
- **Руководство пользователя (1 шт.)**

Элементы управления и функции

Передняя сторона



Левая сторона



① Комплект для сборки мундштука

Исключительно для использования с данным инструментом.

② Клавиши

(Аппликатура: страница 20)

③ Раструб

Внутри раструба есть водоотвод. С его помощью можно убирать конденсат и избыточную влагу от дыхания.

④ Разъем 5 V DC-IN/USB TO HOST

Разъем Micro USB Type-B.

Для подключения адаптера питания USB, мобильного аккумулятора USB или компьютера с помощью кабеля USB.

УВЕДОМЛЕНИЕ

- Используйте кабель USB A — micro B длиной менее 3 метров. Не используйте кабель USB 3.0.

⑤ Разъем PHONES

Для подключения стереонаушников или другого оборудования с помощью стереофонического мини-штекера (3,5 мм). При подключении встроенные динамики инструмента автоматически перестают воспроизводить звук.



ВНИМАНИЕ

- Для предотвращения потери слуха не используйте наушники при высокой громкости в течение долгого времени.
- Перед подсоединением инструмента к другим электронным компонентам отключите их питание. Перед включением или отключением питания электронных компонентов установите минимальный уровень громкости. Это может привести к потере слуха.

⑥ Разъем AUX IN

Для подачи звука с аудиоплеера и его прослушивания через встроенный динамик инструмента (с помощью стереофонического мини-штекера 3,5 мм). Для настройки громкости входного сигнала, поступающего с разъема [AUX IN], измените громкость воспроизведения на подключенном аудиоустройстве.



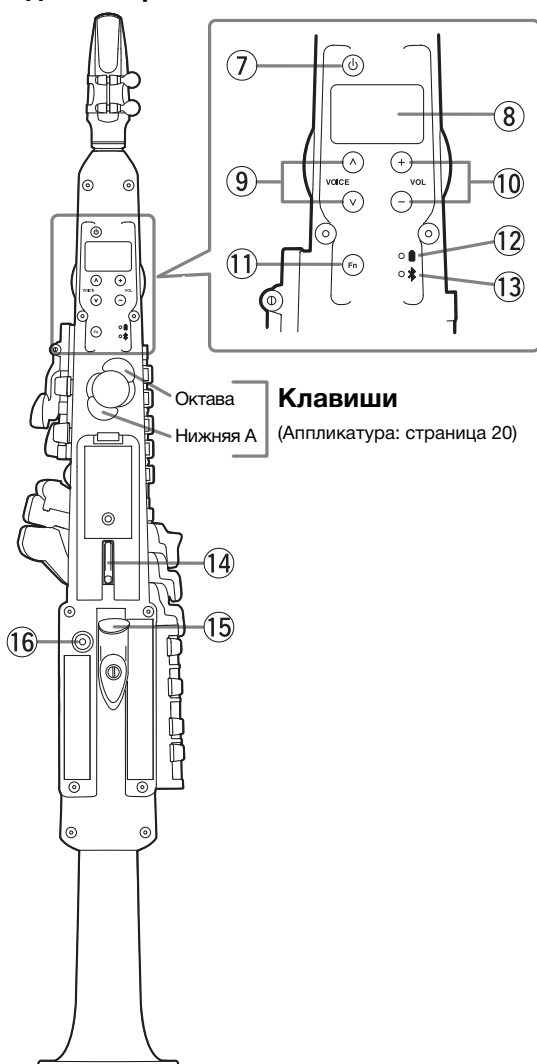
ВНИМАНИЕ

- Во избежание возможного повреждения следует сначала включать питание внешнего устройства, а затем питание инструмента. При отключении питания сначала отключайте питание инструмента, а затем питание внешнего устройства. Это может привести к потере слуха.

ПРИМЕЧАНИЕ

- Используйте подходящий соединительный штекер, если выходной разъем аудиоустройства не соответствует стереофоническому мини-штекеру аудиокабеля.
- Используйте аудиокабели и соединительные штекеры, не имеющие последовательных резисторов.

Задняя сторона

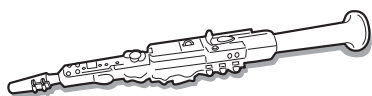


Клавиши

(Аппликатура: страница 20)

Размещение инструмента на горизонтальной поверхности

Когда инструмент не используется, кладите его на плоскую поверхность, как это показано на рисунке ниже. Не размещайте его на стуле, пюпитре или других неустойчивых поверхностях, так как инструмент может упасть. Кроме того, никогда не прислоняйте инструмент к стене и т. д.



УВЕДОМЛЕНИЕ

- Не ставьте инструмент без опоры. Это может привести к падению и повреждению инструмента. Если вам нужно поставить инструмент в вертикальное положение, используйте имеющуюся в продаже стойку.

7 Кнопка [⏻] (Режим ожидания/Вкл.)

Нажмите эту кнопку, чтобы включить инструмент.

8 Светодиодный экран

Показывает такие сведения, как номер тембра, с помощью буквенно-цифровых символов.

9 Кнопки VOICE [^]/[v]

При каждом нажатии кнопки меняется тембр.

10 Кнопки VOL [-]/[+]

При каждом нажатии кнопки увеличивается или уменьшается громкость инструмента. Нажмите и удерживайте кнопку, чтобы быстро изменить громкость.

- Диапазон регулировки: 0–15, od (значение по умолчанию: 13)
- Чтобы восстановить уровень громкости по умолчанию, одновременно нажмите кнопки VOL [-] и VOL [+].

11 Кнопка [Fn] (Функция)

Нажимайте определенные клавиши, удерживая эту кнопку, чтобы вызывать различные функции. Она также используется для управления некоторыми функциями.

12 Индикатор питания

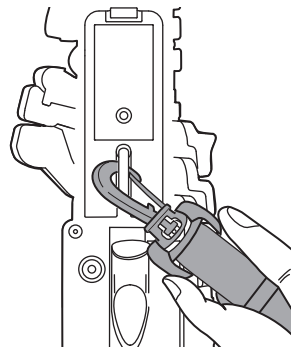
13 Индикатор Bluetooth

14 Кольцо для шейного ремня

К этому кольцу крепится прилагающийся ремень.

Присоединение ремня

Надежно прикрепите прилагающийся ремень к кольцу. Вы можете легко изменить длину ремня на удобную для вас.



15 Опора для большого пальца

Используйте эту опору, чтобы придерживать инструмент большим пальцем во время игры. Чтобы надежно удерживать инструмент, обхватите опору правым большим пальцем.

16 Аналоговый контроллер

Используется для изменения тембра.

Перед началом игры

■ Требования к источнику питания

Питание инструмента может осуществляться одним из двух перечисленных ниже методов. Определите, какой из них вы намереваетесь использовать, и следуйте инструкциям по настройке.

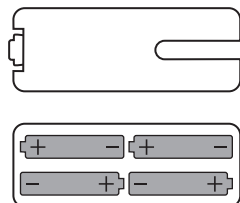
УВЕДОМЛЕНИЕ

- Если подключить инструмент к имеющемуся в продаже адаптеру питания USB или мобильному аккумулятору USB, когда в инструмент вставлены батареи, предпочтение отдается питанию от кабеля USB.

Использование батарей

Для работы инструмента требуются четыре щелочные (LR6) или марганцевые (R6) батареи размера AA или перезаряжаемые никель-металлогидридные батареи.

- 1 Убедитесь, что питание инструмента выключено.**
При отключении питания индикатор питания () гаснет.
- 2 Положите инструмент вверх ногами на мягкую ткань и снимите крышку отсека для батарей.**
- 3 Вставьте четыре новые батареи. Обратите внимание на маркировку полярности внутри отсека.**



● Оставшийся заряд батареи

Когда оставшегося заряда батареи хватает примерно на 5–10 минут*, индикатор POWER () начинает мигать. Кроме того, когда заряда батареи почти не остается, индикатор POWER гаснет, а инструмент переходит в режим ожидания.

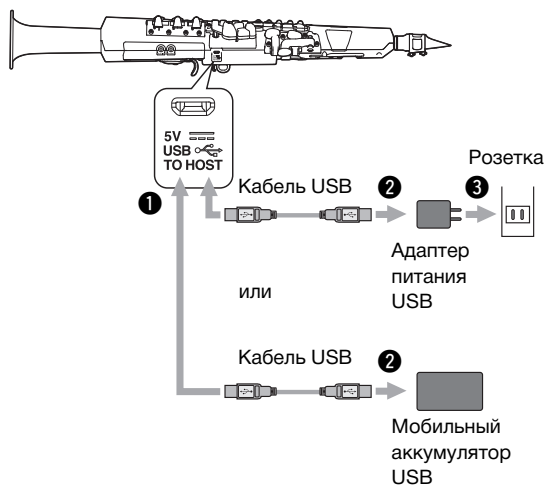
* Это зависит от условий эксплуатации.

ПРИМЕЧАНИЕ

- Рекомендуется регулярно проверять состояние индикатора питания, чтобы батарея не разрядилась во время исполнения.

Использование адаптера питания USB или мобильного аккумулятора USB (продаются отдельно)

Подсоедините кабель USB к адаптеру питания USB или мобильному аккумулятору USB (продаются отдельно) в порядке, показанном на рисунке. Для отсоединения кабеля USB выполните показанную выше процедуру в обратном порядке.



- **Используемый адаптер питания USB или мобильный аккумулятор USB должны быть совместимы со стандартом USB для источника питания.**

Выходное напряжение: 4,8–5,2 В

Выходной ток: 1,0 А и более

⚠ ВНИМАНИЕ

- **Перед использованием адаптера питания USB или мобильного аккумулятора USB обязательно прочитайте соответствующие правила техники безопасности.**

■ Включение питания / перевод инструмента в режим ожидания

1 Чтобы включить питание, нажмите кнопку [⏻] (Режим ожидания / Вкл.).

При включении питания индикатор питания (⏻) загорается красным цветом.

Дуя в мундштук, отрегулируйте громкость по желанию.



⚠ ВНИМАНИЕ

- Не следует пользоваться инструментом или наушниками при высоком или некомфортном уровне громкости в течение длительного периода времени, так как это может привести к потере слуха.

УВЕДОМЛЕНИЕ

- При включении питания не пытайтесь выполнять какие-либо другие действия, например не дуйте в мундштук. Это может привести к сбоям в работе инструмента.

2 Для активации режима ожидания нажмите и удерживайте кнопку [⏻] (Режим ожидания / Вкл.) более одной секунды.

⚠ ВНИМАНИЕ

- Даже в режиме ожидания инструмент продолжает потреблять минимальное количество электроэнергии. Если инструмент долго не используется, вытащите адаптер питания USB из розетки или достаньте батареи.
- Если в течение 5 секунд после включения питания не будет нажата ни одна клавиша или кнопка, светодиодный графический экран отключится. Чтобы включить экран, просто нажмите любую кнопку или сдвиньте инструмент.

● Включение и выключение функции автоматического отключения питания

В целях энергосбережения этот инструмент имеет функцию Auto Power Off (Автоматическое отключение питания), которая автоматически выключает питание, если инструмент не используется в течение определенного периода времени (30 минут). По умолчанию она включена, но эту настройку можно изменить с помощью кнопки [Fn].

УВЕДОМЛЕНИЕ

- Если ваш инструмент подключен к другому оборудованию, например усилителю и динамикам, но вы не планируете его использовать в течение 30 минут, рекомендуется выключить все устройства, как описано в соответствующих руководствах пользователя. При этом снижается риск повреждения другого оборудования. Чтобы питание инструмента не отключалось автоматически при подключении другого оборудования, отключите функцию автоматического отключения питания.

■ Регулировка громкости инструмента

Отрегулируйте громкость.

При каждом нажатии кнопки VOL [+] громкость увеличивается на 1. При каждом нажатии кнопки VOL [-] громкость уменьшается на 1. Громкость можно регулировать в диапазоне от 0 до 15. По умолчанию задано значение 13.

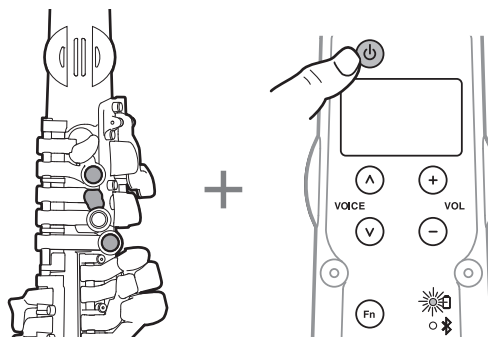


- * Значение 0d (перегрузка) соответствует максимальной громкости, обеспечивающей наиболее мощный звук. Помните, что при этом может искажаться звук определенных тембров и низких регистров.

■ Инициализация

С помощью этой операции можно восстановить заводские настройки всех параметров.

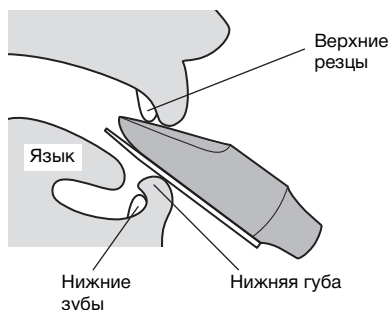
- 1 Если питание включено, отключите его.
- 2 Включите питание, удерживая нажатыми кнопки [1], [р] и [3].



Игра на инструменте

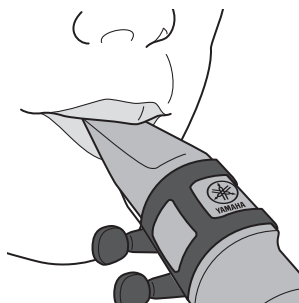
■ Положение губ

Возьмите мундштук в рот так, чтобы верхние зубы (резцы) упирались в него, отступая примерно на 1 см от края. Не соприкасайтесь с тростью нижними зубами — прикройте их губой.



Расположив трость на нижней губе, плотно сомкните губы вокруг мундштука, чтобы предотвратить выход воздуха в уголках рта.

* Не прикусывайте мундштук или трость слишком сильно.



■ Как издавать звук

Возьмите мундштук в рот и подуйте. Чем сильнее вы дуете, тем выше будет громкость, и наоборот. Нет необходимости заставлять трость вибрировать, как в акустическом саксофоне.

ПРИМЕЧАНИЕ

- В отличие от акустического саксофона, высота звука не зависит от того, насколько глубоко мундштук вставлен в шейку.

■ Выбор тембра

Вы можете выбрать нужные тембр и тональность, например альт-саксофон, тенор-саксофон и т. д.

1 Нажмите кнопку VOICE [Λ]/[V].

На светодиодном графическом экране отображается номер тембра. Названия тембров представлены в списке на страница 19.



На светодиодном экране используются перечисленные ниже обозначения.

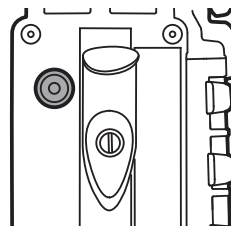
- A.01 - A.17* : Тембры альт-саксофона (в E♭)
- S.01 - S.13* : Тембры сопрано-саксофона (в B♭)
- T.01 - T.15* : Тембры тенор-саксофона (в B♭)
- B.01 - B.11* : Тембры баритон-саксофона (в E♭)
- C.01 - C.17* : Тембры других инструментов (в C)
- U.01 - U.20* : Вы можете выбирать пользовательские тембры, отредактированные в специальном приложении (страница 14). Подробные сведения представлены в руководстве по использованию этого приложения.

Использование аналогового контроллера

Функции аналогового контроллера назначаются по умолчанию в соответствии с выбранным тембром.

- **Повышение и понижение высоты звука (Pitch Bend)**
- **Применение вибрато к звуку (модуляция)**
- **Сглаживание перехода между нотами (портаменто)**

Сведения о функциях, назначаемых аналоговому контроллеру для каждого тембра, представлены в списке тембров в конце данного документа.



ПРИМЕЧАНИЕ

- Портаменто — это техника игры, позволяющая плавно повышать и понижать высоту звука. Если выбран тембр с функцией портаменто, вы можете плавно менять высоту звука, перемещая контроллер для большого пальца.

Изменение параметров с помощью кнопки [Fn]

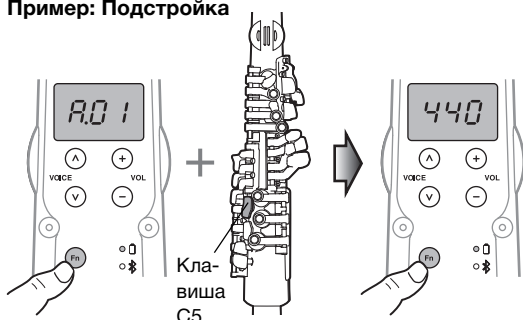
Нажимайте определенные клавиши, удерживая нажатой кнопку [Fn], чтобы настраивать параметры различных функций инструмента.

Основные операции

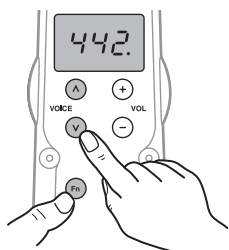
Следуйте описанной ниже процедуре, чтобы настроить параметры каждой функции.

- 1 Удерживая кнопку [Fn], нажмите клавишу, которой назначена соответствующая функция. Удерживайте кнопку [Fn], пока не закончите настраивать параметры. Если отпустить кнопку, будет установлено значение, выбранное на этот момент, и снова откроется экран выбора тембра.

Пример: Подстройка



- 2 Удерживая кнопку [Fn], нажмите кнопку VOICE [^]/[v] и выберите нужное значение.



ПРИМЕЧАНИЕ

- Одновременно нажмите обе кнопки VOICE [^]/[v], чтобы восстановить значение по умолчанию.

- 3 Завершив выбор значения, отпустите кнопку [Fn].

Настройка будет завершена, и снова откроется экран выбора тембра.

Функция	Настройки	Клавиша
Сопrotивление напору воздуха Определяет степень изменения громкости звука под действием установившейся силы дыхания. Чем ниже значение, тем чувствительнее инструмент к силе дыхания.	1–5 По умолчанию: 3	C3
Чувствительность к напору воздуха Определяет степень изменения громкости звука под действием первоначальной силы дыхания. Чем выше это значение, тем сложнее вначале извлечь первый звук из инструмента.	1–10 По умолчанию: 5	Tc
Чувствительность клавиш Предотвращает извлечение нежелательных звуков в результате неравномерного нажатия или отпускания нескольких клавиш. Чем выше значение, тем больше подавляются нежелательные звуки.	1–20 По умолчанию: 10	Ta
Подстройка Регулирует общую высоту звука инструмента. Ее значение отображается на светодиодном экране. Высоту звука можно регулировать в диапазоне от 427 до 453 Гц с шагом 0,5 Гц. Точка вместо первой цифры на светодиодном графическом экране обозначает частоту 0,5 Гц.	427–453 (Гц) По умолчанию: 440	C5
Auto Power Off (Автоматическое отключение питания) Настройка функции автоматического отключения питания. Значение отображается на светодиодном экране.	Выкл., 5, 10, 15, 30, 60, 120 (минут) По умолчанию: 30	Tf
Включение и выключение функции Bluetooth Включение и выключение функции Bluetooth. Когда Bluetooth включен и к инструменту подключены наушники, вы можете слушать музыку со смартфона или другого источника звука по Bluetooth.	Вкл., выкл. По умолчанию: Выкл.	E♭
Реверберация Настройка эффекта реверберации. Чем выше число, тем сильнее эффект. Реверберация применяется только к выводу на наушники. ПРИМЕЧАНИЕ <ul style="list-style-type: none">• Реверберация не влияет на входной сигнал AUX IN и аудиоданные, получаемые по Bluetooth.	Выкл., 1–5 По умолчанию: Выкл.	G#

● Включение функции Bluetooth и сопряжение со смарт-устройством

- 1 Включение функции Bluetooth.

Когда эта функция включена, медленно мигает индикатор Bluetooth (⌘). Выполните сопряжение, если требуется использовать функцию «Аудио через Bluetooth». Эту операцию необязательно выполнять при подключении к специальному приложению.

2 Удерживая кнопку [Fn], нажмите клавишу C.

Это переведет инструмент в режим ожидания сопряжения. Продолжайте удерживать кнопку [Fn].

- Светодиодный экран: [b--] ожидание сопряжения.
- Светодиодный экран: [---] функция Bluetooth отключена.

3 Удерживая кнопку [Fn], нажмите кнопку VOICE [Λ], чтобы начать сопряжение.

На светодиодном экране появится приведенное ниже обозначение, а индикатор Bluetooth (✱) начнет быстро мигать.



ПРИМЕЧАНИЕ

- Чтобы отменить сопряжение, нажмите кнопку VOICE [∨].

4 Выберите подключение на смарт-устройстве.

Выберите [YDS-150 Audio], если нужно работать с аудиоданными.

5 По завершении сопряжения индикатор Bluetooth перестанет быстро мигать и будет непрерывно гореть.

В случае неудачного сопряжения индикатор Bluetooth начнет медленно мигать, а на светодиодном графическом экране появится обозначение [b--].

6 Если с момента начала сопряжения (шаг 3) прошло более пяти минут, оно прерывается.

7 Отпустите кнопку [Fn].

Снова откроется экран выбора тембра.

ПРИМЕЧАНИЕ

- В сопряженном состоянии индикатор Bluetooth горит непрерывно.
- В зависимости от смарт-устройства, громкость аудио может быть высокой или некомфортной. Отрегулируйте громкость смарт-устройства перед воспроизведением аудио.

Использование специального приложения

Специальное приложение помогает настраивать функции этого инструмента.

1 Установите специальное приложение для этого инструмента на смарт-устройстве.

2 Соедините инструмент со смарт-устройством при помощи Bluetooth.

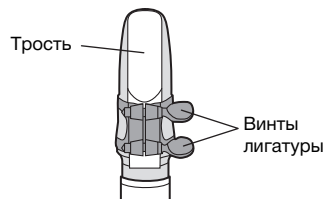
В приложении можно настраивать перечисленные ниже параметры инструмента. Подробные сведения представлены в руководстве по использованию приложения.

- Редактирование пользовательских тембров, редактирование сведений об аппликатуре, включение и выключение команд для быстрого выбора тембров и т. д.

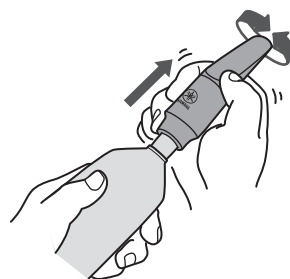
Уход за инструментом после окончания игры

Прежде чем убирать инструмент в футляр, снимите мундштук и сотрите влагу вокруг раструба и мундштука.

1 Ослабьте винты лигатуры, а затем снимите трость и лигатуру с мундштука.



2 Крепко возьмите мундштук и поворачивайте его из стороны в сторону, чтобы снять с шейки.

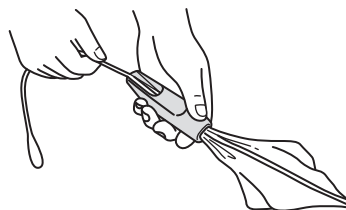


УВЕДОМЛЕНИЕ

- Снимая мундштук, не прилагайте сгибающее усилие к основанию шейки. Чрезмерное усилие может привести к ее повреждению.

3 С помощью тряпочки для чистки (продается отдельно) очистите внутреннюю поверхность мундштука.

- * Будьте осторожны, чтобы не повредить конец мундштука.
- * Всегда содержите тряпочку для чистки в чистом и сухом состоянии.



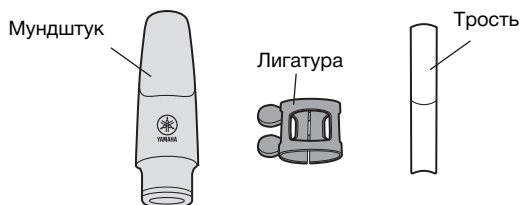
4 Протрите раструб и клавиши сухой мягкой тканью.

■ Установка трости и лигатуры

Наденьте мундштук на шейку корпуса, поворачивая его из стороны в сторону. Закрепив его, установите на мундштук трость и лигатуру.

УВЕДОМЛЕНИЕ

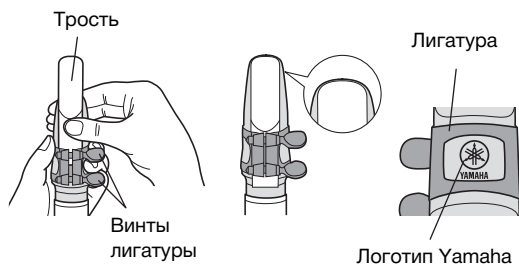
- Кончик трости довольно хрупок, поэтому будьте осторожны и не повредите его при установке лигатуры и т. п.



1 Наденьте лигатуру на мундштук через его узкий конец.

2 Разместите трость так, чтобы над ее концом слегка виднелся край мундштука. Затяните оба винта лигатуры, чтобы зафиксировать трость.

- * Разместите лигатуру так, чтобы логотип с камертонами оказался в центре ее отверстия.



УВЕДОМЛЕНИЕ

- Используйте специальный комплект для сборки мундштука (мундштук, трость и лигатуру), поставляемый с этим инструментом. Несоблюдение этого условия может привести к неправильному извлечению звука или возникновению других неисправностей.
- Затяните винты лигатуры ровно настолько, чтобы предотвратить смещение трости. Не следует затягивать их слишком сильно.
- Не мойте инструмент и его внутренние поверхности водой. Это может привести к повреждению инструмента.
- Не смазывайте шейку инструмента. Это может привести к повреждению шейки.
- Если соединение между шейкой и мундштуком ослабнет, замените уплотнительное кольцо на запасное.
- Если в ходе использования конец трости отламывается или она потеряет свою изначальную форму, замените ее запасной.

Устранение неполадок

• Звук не прекращается.

- Попробуйте заново включить питание.
- Воспроизведение звука может не останавливаться из-за остатков жидкости в отверстии муфты мундштука. Уберите жидкость из отверстия с помощью тонкой хлопчатобумажной тряпочки.

Технические характеристики

Название изделия	Цифровой саксофон
Тембры	Сэмплирование AWM
Bluetooth	Версия Bluetooth: 4.2 Поддерживаемый профиль: A2DP Соответствует спецификации технологии Bluetooth Low Energy MIDI Беспроводной вывод: Bluetooth Class 2 Максимальное расстояние связи: примерно 10 м Радиочастота (рабочая частота): 2402–2480 МГц Максимальная выходная мощность (EIRP): 4 дБм Тип модуляции: FHSS
Источник питания	Блок питания USB: 5 В / 1 А Концентратор USB с автономным питанием 5 В / 1 А Четыре щелочные (LR6), марганцевые (R6) или никель-металлогидридные (HR6) батареи размера AA
Потребляемая мощность	4,5 Вт (при использовании блока питания USB)
Auto Power Off (Автоматическое отключение питания)	Есть
Размеры (Ш × Г × В)	699 мм (Ш) × 110 мм (Г) × 103 мм (В)
Масса	1,0 кг (не включая батареи)

- * В данном руководстве приведены последние на момент публикации технические характеристики. Для получения последней версии руководства посетите веб-сайт корпорации Yamaha и загрузите файл с руководством. Так как технические характеристики, оборудование и отдельно продаваемые принадлежности могут различаться в разных странах, при необходимости обратитесь за информацией к представителю корпорации Yamaha в своем регионе.

안전 주의사항

사용 전에 반드시 “안전 주의사항”을 읽어 주십시오.

본 사용설명서를 찾기 쉬운 안전한 곳에 보관하여 향후에 참조하도록 하십시오.

경고

아래에 열거되어 있는 기본 주의사항을 반드시 준수하여 감전, 누전, 손상, 화재 및 기타 위험으로 인해 부상 및 사망이 발생할 가능성을 줄이시기 바랍니다. 다음과 같은 주의사항들이 있으나 이 사항들에 국한되는 것은 아닙니다.

전원

- USB 케이블을 히터나 라디에이터 등의 열기구와 가까운 곳에 두지 마십시오. 또한 코드가 손상될 수 있으므로 코드를 과도하게 구부리거나 코드 위에 무거운 물건을 놓지 마십시오.
- 본 제품에 알맞은 것으로 지정된 전압만 사용하십시오. 전압 조건은 제품 명판에 인쇄되어 있습니다.
- 전원 플러그를 정기적으로 점검하고, 오물이나 먼지가 쌓인 경우에는 이를 제거하십시오.

분해 금지

- 본 제품의 내부를 열거나 내부 부품을 분해, 개조하지 마십시오. 감전이나 화재, 부상 또는 고장의 원인이 될 수 있습니다. 고장이 의심되는 경우에는 즉시 사용을 중단하고 Yamaha 공식 AS센터에서 점검을 받도록 하십시오.

침수 경고

- 비에 젖지 않도록 하고, 물 또는 습기가 많은 장소에서 사용하거나 쏟아질 우려가 있는 액체가 담긴 용기(예: 화병, 병 또는 유리컵)를 본 제품에 올려놓지 않도록 하십시오. 물과 같은 액체가 제품 안으로 새어 들어가는 경우, 즉시 전원을 끄고 AC 콘센트에서 전원 코드를 뽑 다음 Yamaha 공식 AS센터에 제품 점검을 의뢰하십시오.
- 절대로 젖은 손으로 플러그를 꽂거나 빼지 마십시오.

화재 경고

- 양초 등 연소성 물품을 본체 위에 놓지 마십시오. 연소성 물품이 떨어져 화재를 일으킬 수 있습니다.

전자 의료기기에 미치는 영향

- 무선파 또는 자기는 전자 의료기기에 영향을 미칠 수 있습니다.
 - 의료기기 주변이나 무선파 사용이 제한되는 영역 안에서는 본 제품을 사용하지 마십시오.
 - 심박조절기 또는 제세동기를 이식한 사람이 있을 경우 15cm 이내에서는 본 제품을 사용하지 마십시오.

배터리 최적화

- 아래의 안전 주의사항을 준수하십시오. 그렇지 않으면 폭발, 화재가 발생하거나 배터리 액이 누출될 수 있습니다.
 - 배터리를 임의로 조작하거나 분해하지 마십시오.
 - 배터리를 불에 넣지 마십시오.
 - 일회용 배터리는 재충전하지 마십시오.
 - 배터리를 목걸이, 머리핀, 동전, 열쇠 등과 같은 금속 물체와 가까이 두지 마십시오.
 - 지정된 배터리 유형(15페이지)만 사용하십시오.
 - 새 배터리를 사용할 경우 같은 제조업체에서 만든 동일한 유형의 동일한 모델을 사용하십시오.
 - +/- 극성 표시에 맞춰 배터리를 정확하게 삽입하십시오.
 - 배터리가 방전되거나 장시간 제품을 사용하지 않는 경우 본 제품에서 배터리를 빼내십시오.
 - 니켈-수소 배터리를 사용할 경우 배터리 사용 지침을 준수하고 충전 시에는 지정된 충전기 장치만 사용하십시오.
- 사고로 삼킬 수도 있으므로 배터리는 유아의 손이 닿지 않는 곳에 보관하십시오.
- 배터리 액이 누출된 경우 누출된 액체가 손에 닿지 않도록 하십시오. 배터리 액이 누출되어 눈이나 입, 피부에 닿은 경우에는 즉시 물로 씻은 후 의사와 상담하십시오. 배터리 액은 부식성이기 때문에 시력 상실 및 화학적 화상을 야기할 수 있습니다.

이상 징후 발견 시

- 다음과 같은 문제가 발생할 경우 즉시 전원 스위치를 끄고 콘센트에서 전원 플러그를 뽑으십시오. (배터리를 사용할 경우에는 제품에서 모든 배터리를 제거하십시오.) 그대로 사용을 계속했을 경우 감전, 화재 또는 고장의 위험이 있습니다. 바로 Yamaha 공식 AS센터에 점검을 의뢰하여 주시기 바랍니다.
 - USB 케이블 또는 플러그가 마모되거나 손상된 경우
 - 이상한 냄새나 연기가 나는 경우
 - 제품 내부에 이물질이 들어간 경우
 - 제품 사용 중 갑자기 소리가 나지 않는 경우
 - 제품에 금이 가거나 손상이 발생한 경우

주의

아래에 열거되어 있는 기본 주의사항을 반드시 준수하여 본인이나 타인의 신체적 부상 또는 본 악기나 기타 재산의 손상을 방지하시기 바랍니다. 다음과 같은 주의사항들이 있으나 이 사항들에 국한되는 것은 아닙니다.

전원

- 멀티탭을 사용하여 연결하지 마십시오. 음질이 저하되거나 콘센트가 과열되어 화재의 원인이 될 수 있습니다.
- 제품이나 콘센트에서 전원 플러그를 뽑을 때에는 반드시 USB 케이블이 아닌 플러그 손잡이 부분을 잡으십시오. USB 케이블을 당기면 손상될 수 있습니다.
- 본 제품을 장시간 동안 사용하지 않을 경우 또는 뇌우 발생 시에는 전기 플러그를 콘센트에서 뽑아놓으십시오.
- 지정된 USB 전원 어댑터(10페이지)만 사용하십시오. 다른 어댑터를 사용할 경우 고장, 발열, 화재 등의 원인이 될 수 있습니다.

설치


- 불안정한 장소에는 본 제품을 설치하지 마십시오. 본체가 떨어져서 고장이 나거나 사용자 혹은 다른 사람이 다칠 수 있습니다.
- 본체를 옮길 경우에는 케이블이 손상되거나 다른 사람이 발에 걸려 넘어져 다치지 않도록 연결된 모든 케이블을 분리한 후 이동하십시오.
- 전기 플러그를 사용하는 경우 사용 중인 AC 콘센트가 눈에 잘 띄어 쉽게 접근할 수 있는지 확인하십시오. 고장 또는 오작동이 발생할 경우 즉시 전원 스위치를 끄고 콘센트에서 플러그를 뽑으십시오. 전원을 끄더라도 제품 내부에는 최소한의 전류가 흐르고 있습니다. 제품을 장시간 사용하지 않을 때에는 반드시 벽 AC 콘센트에서 플러그를 뽑아놓으십시오.

연결

- 본 제품을 다른 전자 기기에 연결할 때에는 먼저 모든 기기의 전원을 끈 다음 연결하십시오. 전원을 켜거나 끄기 전에는 음량을 최소로 낮추십시오.
- 연주를 시작하기 전에 제품의 음량이 최소로 설정되어 있는지 확인하고 연주 중 단계적으로 음량을 올려 원하는 음량 수준으로 맞추십시오.

Yamaha는 부적절하게 제품을 사용하거나 개조하여 발생한 고장 또는 데이터 손실이나 파손에 대해 책임지지 않습니다.

제품을 사용하지 않을 때에는 항상 전원을 끄십시오.

[] (Standby/On) 스위치가 대기 상태(전원 램프 꺼짐)에 놓여 있더라도 제품에는 최소한의 전류가 흐릅니다.

제품을 장시간 사용하지 않을 때에는 반드시 콘센트에서 전원 코드를 뽑아놓으십시오.

배터리는 반드시 해당 지역의 법규에 따라 폐기하십시오.

취급

- 제품의 틈에 손가락이나 손을 넣지 마십시오.
- 패널이나 키의 틈새에 종이나 금속 물질 등의 물건을 끼워넣거나, 떨어뜨리지 않도록 주의하십시오. 본인이나 타인의 신체적 부상, 본 제품이나 기타 재산의 손상 또는 운영 오작동의 원인이 될 수 있습니다.
- 제품에 올라가거나 무거운 물체를 올려놓지 마십시오. 버튼, 스위치, 입출력 단자 등에 무리하게 힘을 가하지 마십시오. 본체가 파손되거나 사용자가 다칠 위험이 있습니다.
- 마우스피스, 리드 또는 리가춰가 손상된 경우 악기를 사용하지 마십시오.
- 작은 부품들은 어린이의 손이 닿지 않는 곳에 보관하십시오. 어린이가 사고로 삼킬 수도 있습니다.
- 음량을 크게 하거나 귀에 무리가 되는 수준의 음량으로 장시간 작동시키지 마십시오. 청각 장애가 나타나거나 귀 울림 현상이 발생하는 경우에는 이비인후과 전문의의 진찰을 받으십시오.
- 스트랩을 사용할 경우 스트랩이 악기에 단단하게 고정되어 있는지 확인하십시오.
- 스트랩으로 악기를 들어올리지 마십시오. 악기에 심각한 손상이나 파손을 가져올 수 있습니다.
- 스트랩으로 악기를 휘두르는 등 거칠게 다루지 마십시오. 스트랩이 떨어져 악기를 떨어뜨리거나 가까이 있는 사람을 다치게 하는 등의 예상치 못한 사고가 발생할 수 있습니다.

주의사항

제품의 오작동/손상, 데이터 손상 또는 기타 재산의 손상을 방지하기 위해 다음 주의사항을 준수하십시오.

■ 취급

- 이 제품을 공개 Wi-Fi 및/또는 인터넷에 직접 연결하지 마십시오. 이 제품은 복잡한 비밀번호로 보호된 라우터를 통해서만 인터넷에 연결하십시오. 보안 모범 사례 정보는 라우터 제조사에 문의하십시오.
- TV, 라디오, 스테레오 음향 장비, 휴대 전화 또는 기타 전기 장치 부근에서는 본 제품을 사용하지 마십시오. 본 악기, TV 또는 라디오에서 잡음이 생길 수 있습니다. 제품을 스마트폰이나 태블릿 같은 스마트 기기의 애플리케이션과 함께 사용할 때는 기기를 “비행기 모드”로 설정한 다음 Bluetooth를 설정해야 통신으로 인한 노이즈가 발생하지 않습니다.
- 먼지, 진동이 많은 곳, 극한 혹은 고온의 장소(예: 직사광선, 히터 주변, 대낮 중 차량의 실내)에 본 제품을 노출시키지 마십시오. 이로 인해 패널의 외관 변형, 내장 부품의 손상, 불안정한 작동이 유발될 수 있습니다. (검증된 작동 온도 범위는 5°~40°C (41°~104°F) 입니다.)
- 패널이나 키가 변색될 수 있으므로 비닐, 플라스틱 또는 고무로 된 물체를 악기 위에 올려놓지 마십시오.
- 키가 눌린 채로 장기간 방치하면 키가 손상될 수 있습니다.

■ 유지보수

- 제품을 닦을 때는 부드러운 천을 사용하십시오. 도료희석제, 용제, 알코올, 세정액 또는 화학약품 처리된 걸레는 사용하지 마십시오.
- 제품이 물에 노출되지 않도록 주의하십시오. 제품에 물이 닿았을 경우 마른 천으로 닦아내십시오.

정보

■ 본 사용설명서

- 본 사용설명서에 표시된 그림 및 LED 디스플레이는 설명용으로만 제공되기 때문에 실제 악기에서 나타나는 것과 다소 다르게 표시될 수 있습니다.
- Bluetooth® 워드 마크와 로고는 Bluetooth SIG, Inc.의 등록 상표이며 Yamaha Corporation은 승인된 라이선스에 따라 이들 마크를 사용합니다.



- 본 사용설명서에 기재된 회사명과 제품명은 각 회사의 상표 또는 등록 상표입니다.

해당무선설비는운용중전파혼신가능성이있음.

(korea_interference)

본 제품의 모델 번호, 일련 번호, 전원 규격 등은 기기 후면에 있는 명판이나 명판 주위에서 확인할 수 있습니다. 도난 시 확인할 수 있도록 일련 번호를 아래 공란에 기입하고 본 사용설명서를 구매 기록으로 영구 보관해야 합니다.

모델 번호

일련 번호

(rear_ko_01)

Bluetooth에 관한 설명

Bluetooth는 2.4GHz 주파수 대역을 사용하는 약 10미터 (33피트) 영역 내의 장치 간 무선 통신을 위한 기술입니다.

■ Bluetooth 통신 처리

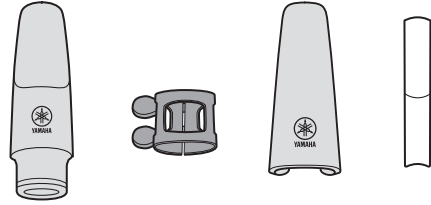
- Bluetooth 호환 장치에서 사용하는 2.4GHz 대역은 다양한 유형의 장비에서 공유되는 무선 대역입니다. Bluetooth 호환 장치가 동일한 무선 대역을 사용하는 기타 구성부품의 영향을 최소화하는 기술을 사용하고는 있지만, 이러한 영향은 통신의 속도 또는 거리를 감소시킬 수 있고 일부 경우에는 통신을 방해할 수 있습니다.
- 신호 전송 속도 및 통신 가능 거리는 통신 장치 사이의 거리, 장애물의 존재 여부, 무선 전파 조건 및 장비 유형에 따라 다릅니다.
- Yamaha는 본 악기와 Bluetooth 기능 호환 장치 사이의 모든 무선 연결을 보증하지는 않습니다.

하단의 라벨 상단 우측에 “Y” 표시가 인쇄된 경우 사용자의 특정 악기에 Bluetooth 기능이 탑재되지 않은 것입니다.

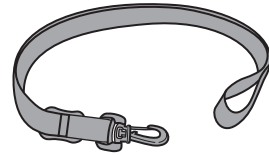
Yamaha 색소폰을 구입해 주셔서 감사합니다! 이 디지털 색소폰은 집에서 연주 및 연습에 사용할 수 있습니다. 본 사용설명서를 자세하게 읽으셔서 본 악기의 편리한 첨단 기능을 충분히 활용하시기 바랍니다. 본 설명서를 찾기 쉬운 장소에 보관하여 추후에 다시 참고하시기 바랍니다.

포함된 부속 품목

- 마우스피스 세트(마우스피스, 리가춰, 캡, 리드) × 1



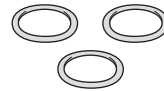
- 스트랩 × 1



주

- 스트랩은 특수 케이스 안의 주머니에 있습니다.

- 교체용 O링 × 1세트(3개 포함)



- 교체 리드 × 1



- 전용 케이스 × 1

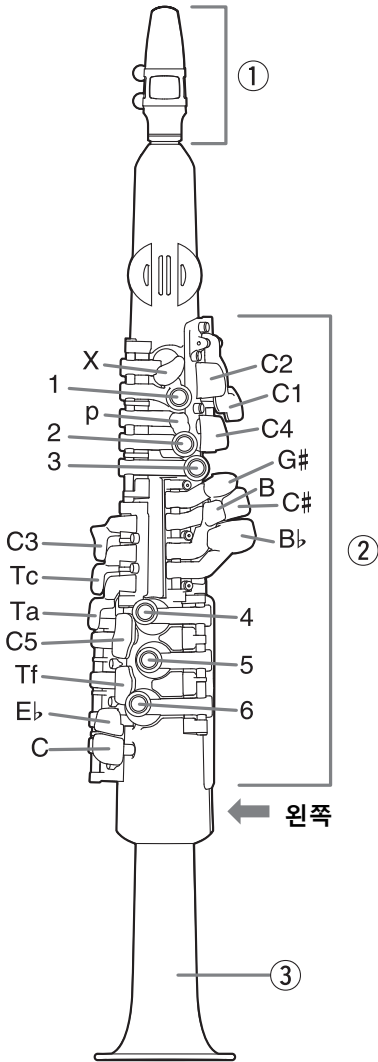
주의사항

- 다른 물건을 보관하면 키에 손상이 갈 수 있으므로 특수 케이스에는 악기와 스트랩만 보관하십시오.

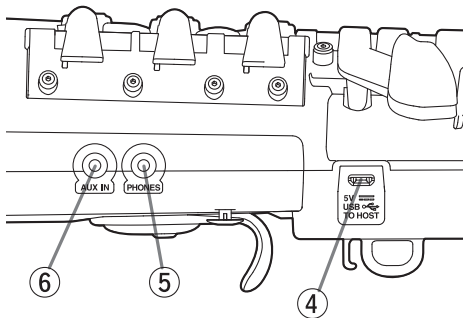
- 사용설명서 × 1

제어 및 기능

앞면



왼쪽



① 마우스피스 세트

이 약기에만 사용하십시오.

② 키

(운지법: 20페이지)

③ 레버

레버 안에는 배수관이 있습니다. 여기에서 응결된 물과 호흡으로 인한 물기를 뺄 수 있습니다.

④ 5 V DC-IN/USB TO HOST 단자

Micro USB Type-B 단자입니다.

USB 전원 어댑터, USB 모바일 배터리 또는 PC를 USB 케이블과 연결합니다.

주의사항

- 3미터 미만의 USB A-micro B 케이블을 사용하십시오. USB 3.0 케이블을 사용하지 마십시오.

⑤ PHONES 잭

미니 스테레오 폰 플러그(3.5mm)가 있는 스테레오 헤드폰 또는 다른 장비를 연결합니다. 연결하면 제품에 내장된 스피커에서 소리 재생이 자동으로 중단됩니다.

⚠ 주의

- 청력 손실을 방지하려면 헤드폰을 높은 음량으로 장시간 사용하는 것을 피하십시오.
- 본 제품을 다른 전자 기기에 연결할 때에는 먼저 모든 기기의 전원을 끈 다음 연결하십시오. 전원을 켜거나 끄기 전에는 음량을 최소로 낮추십시오. 영구적인 청각 장애가 생길 수 있습니다.

⑥ AUX IN 잭

오디오 플레이어의 음원을 입력하고 제품의 내장 스피커를 통해 음원을 듣습니다(3.5mm, 미니스테레오 폰 플러그 포함). [AUX IN] 잭의 입력 음량을 조정하려면 오디오 장치에서 오디오 재생 음량을 조정합니다.

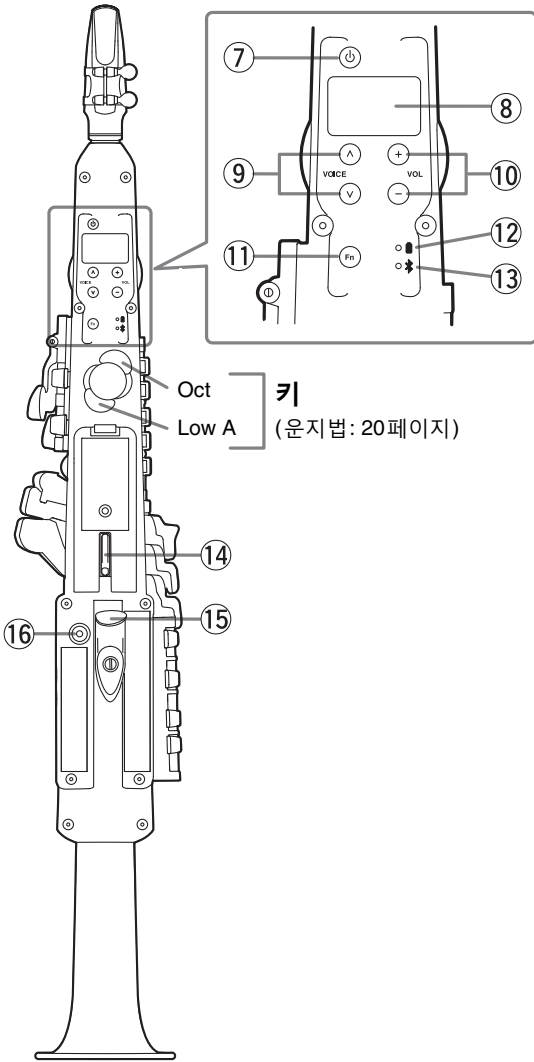
⚠ 주의

- 손상 발생 가능성을 방지하기 위해 먼저 외부 장치 전원을 끈 다음 제품 전원을 켜십시오. 전원을 끌 때는 먼저 제품의 전원을 끈 다음 외부 장치의 전원을 끄십시오. 영구적인 청각 장애가 생길 수 있습니다.

주

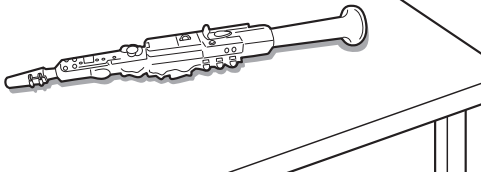
- 오디오 장치의 출력 잭이 오디오 케이블의 스테레오 미니 폰 플러그와 맞지 않는 경우 적절한 어댑터 플러그를 사용하십시오.
- 직렬 저항이 없는 오디오 케이블 및 어댑터 플러그를 사용하십시오.

뒷면



악기 놓기

악기를 연주하지 않을 때는 아래 그림과 같이 평평한 곳에 놓으십시오. 악기가 떨어질 위험이 있으므로 의자나 보면대, 기타 불안정한 곳에 놓지 마십시오. 또한, 악기를 벽 등에 기대지 마십시오.



주의사항

- 악기만 세워두지 마십시오. 넘어질 경우 충격으로 인해 악기가 손상될 수 있습니다. 악기를 세워두고 싶다면 시중에 판매하는 스탠드를 사용하십시오.

⑦ [⏻] (대기/켜짐) 버튼

이 버튼을 누르면 악기 전원이 켜집니다.

⑧ LED 화면

음 번호 등의 정보가 알파벳 문자로 표시됩니다.

⑨ VOICE [^]/[V] 버튼

버튼을 누를 때마다 음이 변경됩니다.

⑩ VOL [-]/[+] 버튼

버튼을 누를 때마다 악기 음량이 올라가거나 내려갑니다. 음량을 빠르게 변경하려면 버튼을 길게 누릅니다.

- 설정 범위: 0~15, od (기본: 13)
- VOL [-] 버튼과 VOL [+] 버튼을 동시에 누르면 기본 음량 설정으로 돌아옵니다.

⑪ [Fn] (Function) 버튼

이 버튼을 누른 채로 특정 키를 누르면 여러 가지 기능이 호출됩니다. 일부 기능 작동에도 사용됩니다.

⑫ 전원 램프

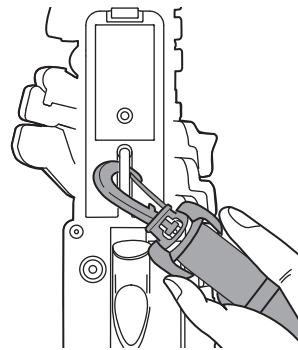
⑬ Bluetooth 램프

⑭ 스트랩 링

기본 제공되는 스트랩을 이 고리에 연결합니다.

스트랩 연결 방법

기본 제공되는 스트랩을 고리에 단단히 연결합니다. 스트랩 길이를 사용에 편한 길이로 간편하게 조절할 수 있습니다.



⑮ 썸 후크

이 후크를 사용하여 연주할 때 엄지로 제품을 지지합니다. 썸 후크를 오른쪽 엄지로 감싸서 제품을 고정합니다.

⑯ 아날로그 컨트롤러

음 변경을 적용하는 데 사용합니다.

연주 전

■ 전원 요구사항

본 제품은 아래 나열된 두 가지 방법 중 하나로 전원을 공급할 수 있습니다. 사용하려는 방법을 결정한 후 설정 지침을 따르십시오.

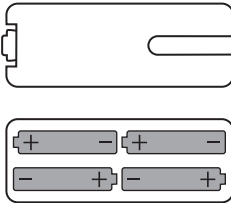
주의사항

- 배터리가 내장된 채로 제품을 시중의 USB 전원 어댑터 또는 USB 모바일 배터리와 연결하면 USB 케이블 전원이 우선됩니다.

배터리 사용

본 약기에는 4개의 "AA" 사이즈 알카라인(LR6)/망간(R6) 배터리 또는 니켈 메탈 수소 충전식 배터리(충전식 Ni-MH 배터리)가 필요합니다.

- 1 약기의 전원이 꺼져 있는지 확인합니다.
전원이 꺼져 있으면 전원 램프(☐)가 꺼집니다.
- 2 부드러운 천 위에 약기를 거꾸로 놓고 배터리 덮개를 제거합니다.
- 3 배터리 함 내부의 극성 표시에 맞춰 4개의 새 배터리를 올바른 방향으로 삽입합니다.



● 잔여 배터리

잔여 배터리가 5~10분까지 하락할 경우*, POWER LED 램프(☐)가 깜박입니다. 또한, 잔여 배터리가 거의 없으면 POWER LED 램프가 꺼지고 약기가 대기 모드로 들어갑니다.

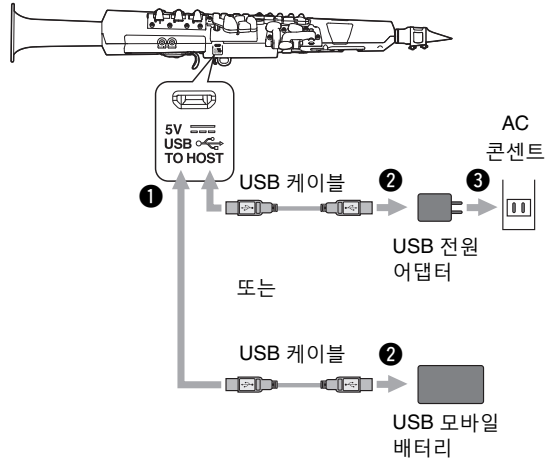
* 사용 환경에 따라 달라집니다.

주

- 연주 중에 배터리가 꺼지지 않도록 전원 램프를 수시로 확인하는 것이 좋습니다.

USB 전원 어댑터 또는 USB 모바일 배터리(별도 판매) 사용

그림에 표시된 순서대로 USB 전원 어댑터 또는 USB 모바일 배터리(별도 판매)에 USB 케이블을 연결합니다. USB 케이블을 분리할 때에는 여기에 표시된 절차를 역순으로 진행하십시오.



● USB 전원 표준과 호환되는 USB 전원 어댑터 또는 USB 모바일 배터리만 사용하십시오.

출력 전압: 4.8~5.2V
출력 전류: 1.0A 이상

⚠ 주의

- USB 전원 어댑터 또는 USB 모바일 배터리를 사용하기 전에 관련 주의사항을 반드시 읽으십시오.

■ 전원 켜기/대기 모드로 설정

- 1 [⏻](대기/켜짐) 스위치를 눌러 전원을 켭니다. 전원이 켜져 있으면 전원 램프(🔦)가 빨간색으로 켜집니다.
- 마우스피스를 붙면서 원하는 만큼 음량을 조절합니다.



! 주의

- 높은 음량 또는 귀에 거슬리는 수준의 음량으로 기기나 헤드폰을 장시간 작동시키지 않도록 하십시오. 이로 인해 영구 청각 장애가 나타날 수 있습니다.

주의사항

- 전원을 켜는 동안에는 마우스피스를 부는 등의 다른 작업은 하지 마십시오. 악기가 오작동할 수 있습니다.

- 2 [⏻](대기/켜짐) 버튼을 1초 이상 길게 눌러 대기 모드를 활성화합니다.

! 주의

- 대기 상태에 놓여 있더라도 악기에는 여전히 최소한의 전류가 흐르고 있습니다. 따라서 장시간 악기를 사용하지 않는 때에는 AC 콘센트에서 USB 전원 어댑터를 분리하거나 악기에서 배터리를 빼내야 합니다.
- 전원을 켜 후 5초 이상 키나 버튼을 누르지 않으면 LED 디스플레이가 꺼집니다. LED 디스플레이를 다시 켜려면 아무 버튼이나 누르거나 제품을 움직이십시오.

● 오토 파워 오프 작동/정지

본 악기에는 오토 파워 오프 기능이 내장되어 있어 지정된 시간(30분) 동안 악기가 작동하지 않을 경우 자동으로 전원이 꺼집니다. 따라서 불필요하게 전원이 소비되는 것을 방지합니다. 기본적으로 켜짐으로 설정되어 있지만[Fn] 버튼을 사용하여 설정을 변경할 수 있습니다.

주의사항

- 악기가 앰프 및 스피커 등 다른 장비에 연결되어 있지만 30분동안 사용하지 않을 계획이라면 사용설명서에 명시되어 있는 모든 장치를 끌 것을 권장합니다. 그렇게 하면 다른 장비의 손상 위험이 없어집니다. 다른 장비에 연결되어 있을 때 악기가 자동으로 꺼지는 것을 방지하려면 오토 파워 오프 기능을 정지하십시오.

■ 악기 음량 조절

음량을 조절합니다.

음량은 VOL [+]/-를 한 번 누를 때마다 1씩 증가합니다. 음량은 VOL [-]를 한 번 누를 때마다 1씩 감소합니다. 음량은 0~15 및 od로 조절할 수 있습니다. 기본값은 13입니다.



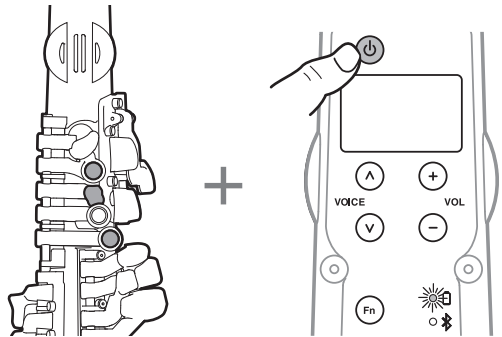
- * "od"(overdrive) 설정은 최대 음량으로, 가장 큰 소리를 냅니다. 특정 음과 낮은 범위에서는 소리가 왜곡될 수 있습니다.

■ 초기화

이 작업은 모든 설정을 공장 기본값으로 되돌릴 때 실행합니다.

- 1 전원이 켜져 있으면 전원을 끄십시오.

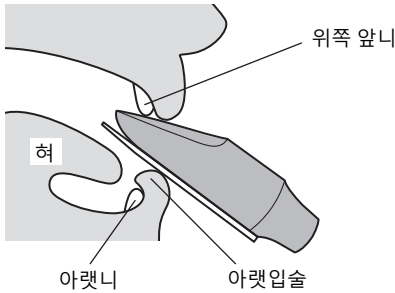
- 2 [1], [p], [3] 키를 누른 채로 전원을 켜십시오.



악기 연주

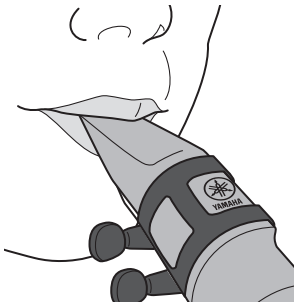
■ 입 모양

입에 마우스피스를 물고 위쪽 앞니가 마우스피스 끝부분에서 약 1cm 위치에 놓이게 합니다. 아랫니를 아랫입술로 덮어서 치아가 리드에 직접 닿지 않게 합니다.



아랫입술에 리드를 올린 채로 입으로 마우스피스를 감싸면서 악기를 불 때 입 가장자리로 공기가 새어나가지 않게 합니다.

* 리드나 마우스피스를 세게 물지 않습니다.



■ 연주 방법

마우스피스를 입에 넣고 숨을 불어넣습니다. 음량을 크게 내려면 세게 불고, 음량을 적게 내려면 부드럽게 불니다. 어쿠스틱 색소폰처럼 리드를 진동시킬 필요가 없습니다.

주

- 어쿠스틱 색소폰과 달리 마우스피스를 넥에 삽입하는 정도를 바꾸더라도 음 높낮이가 변경되지 않습니다.

■ 음색 선택

알토 색소폰, 테너 색소폰과 같이 원하는 음색과 음조를 선택할 수 있습니다.

1 VOICE [Λ]/[V]를 누르십시오.

음색 번호가 LED 디스플레이에 표시됩니다. 음색 이름은 19페이지에서 음색 목록을 참조하십시오.



LED 화면의 디스플레이에는 다음과 같은 의미가 있습니다.

R.01 ~ R.17 : 알토 색소폰 음색 (Eb)

S.01 ~ S.13 : 소프라노 색소폰 음색 (Bb)

T.01 ~ T.15 : 테너 색소폰 음색 (Bb)

b.01 ~ b.11 : 바리톤 색소폰 음색 (Eb)

C.01 ~ C.17 : 색소폰 외 음색 (C)

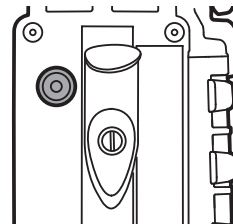
U.01 ~ U.20 : 전용 앱(14페이지)에서 편집된 사용자 음색을 선택할 수 있습니다. 자세한 정보는 전용 앱 설명서를 참조하십시오.

아날로그 컨트롤러 사용

아날로그 컨트롤러는 선택된 음색에 따라 기본적으로 할당된 기능이 있습니다.

- 음 높이 올리기/내리기(피치 밴드)
- 소리에 비브라토를 적용합니다.(모듈레이션)
- 음 사이에서 음 높낮이 조절(포르타멘토)

각 음색에 대해 아날로그 컨트롤러에 할당된 기능에 대한 자세한 내용은 이 문서 끝의 음색 목록을 참조하십시오.



주

- 포르타멘토는 연주 높낮이를 부드럽게 올리고 내리는 연주 기법입니다. 포르타멘토가 들어간 음색을 사용할 때는 썸 컨트롤러를 움직여 음 높낮이를 부드럽게 변경합니다.

[Fn] 버튼으로 설정 변경

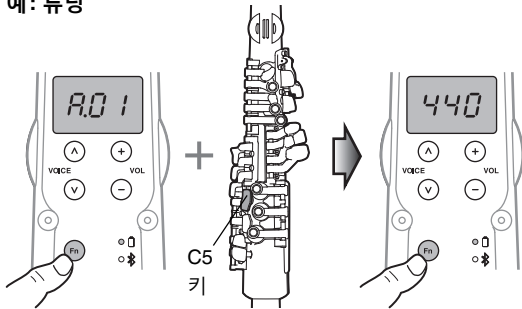
[Fn] 버튼을 누른 채로 특정 키를 누르면 악기의 여러 가지 기능이 설정됩니다.

기본 작동

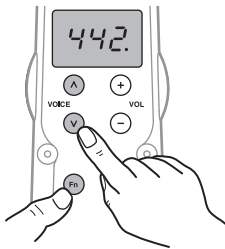
다음 절차를 사용하여 각 기능을 설정하십시오.

- 1 [Fn] 버튼을 누른 채로 키를 눌러 할당할 기능을 설정합니다. 설정을 완료할 때까지 [Fn] 버튼을 누르고 계십시오. 버튼에서 손을 떼면 그 시점의 값이 설정되고 작동은 음색 선택 화면으로 돌아옵니다.

예: 튠닝



- 2 [Fn] 버튼을 누른 채로 VOICE [A]/[V]를 눌러 원하는 값을 선택합니다.



주

- VOICE [A]/[V] 버튼을 동시에 누르면 공장 초기값으로 복원됩니다.

- 3 값을 선택한 후에는 [Fn] 버튼에서 손을 뗍니다. 설정이 완료되고 작동은 음색 선택 화면으로 돌아옵니다.

기능	설정	키
호흡 압력 저항 유지되는 숨 강도에 대한 음량 변경 정도를 결정합니다. 값이 낮을수록 숨 강도에 대한 악기의 반응성이 높아집니다.	1-5 기본값: 3	C3
호흡 반응 최초의 숨 강도에 대한 음량 변경 정도를 결정합니다. 값이 높을수록 처음에 숨을 악기에 세계 붙여야 소리가 납니다.	1-10 기본값: 5	Tc
키 반응 여러 키를 동시에 누르거나 키에서 손을 뗄 때 운지 타이밍이 일정하지 않아서 발생하는 불필요한 소리를 방지합니다. 값이 높을수록 불필요한 소리가 줄어듭니다.	1-20 기본값: 10	Ta
튜닝 악기의 전체 음 높낮이를 조정합니다. 음 높낮이 값은 LED 화면에 표시됩니다. 0.5Hz 단위로 427~453Hz 사이에서 음 높낮이를 조절할 수 있습니다. LED 디스플레이의 첫 번째 자리에 있는 점은 0.5Hz를 나타냅니다.	427~453(Hz) 기본값: 440	C5
오토 파워 오프 자동으로 전원을 끄는 기능을 설정합니다. 값은 LED 화면에 표시됩니다.	꺼짐, 5, 10, 15, 30, 60, 120(분) 기본값: 30	Tf
Bluetooth 기능 켜짐/꺼짐 Bluetooth 기능을 켜거나 끕니다. Bluetooth가 켜져 있고 헤드폰이 악기에 연결되어 있으면 Bluetooth를 통해 연주되는 음악을 스마트 기기나 유사한 기기로 들을 수 있습니다.	켜짐, 꺼짐 기본값: 꺼짐	Eb
리버브 리버브 효과를 설정합니다. 숫자가 높을수록 효과가 커집니다. 리버브는 헤드폰 출력에만 적용됩니다.	꺼짐, 1~5 기본값: 꺼짐	G#

● Bluetooth 기능을 켜고 스마트 기기와 페어링

1 Bluetooth 기능을 켭니다.

이 기능이 켜져 있으면 Bluetooth 램프(※)가 천천히 깜박입니다. Bluetooth 오디오를 사용하고 싶을 때 페어링하십시오. 전용 앱에 연결할 때는 반드시 Bluetooth에 연결할 필요가 없습니다.

2 [Fn] 버튼을 누른 채로 C 키를 누릅니다.

그러면 악기가 페어링 대기 상태가 됩니다. [Fn] 버튼을 누른 채로 있습니다.

- LED 화면: [b--] 페어링 대기
- LED 화면: [---] Bluetooth 기능 꺼짐

3 [Fn] 버튼을 누른 채로 VOICE [^] 버튼을 눌러 페어링을 시작합니다.

LED 화면이 다음 디스플레이로 변경되고 Bluetooth 램프(※)가 빠르게 깜박입니다.



주

- 페어링을 취소하려면 VOICE [v] 버튼을 누릅니다.

4 스마트 기기에서 연결을 선택합니다.

오디오를 처리 중이라면 [YDS-150 Audio]를 선택합니다.

5 페어링이 완료되면 Bluetooth 램프가 빠르게 깜박이다가 켜진 상태로 유지됩니다.

페어링이 실패하면 Bluetooth 램프가 천천히 깜박이고 LED 디스플레이가 [B-]로 변경됩니다.

6 3단계에서 페어링이 시작되고 5분이 지나면 페어링되지 않습니다.

7 [Fn] 버튼에서 손을 뗍니다.

작동이 음색 선택 화면으로 돌아갑니다.

주

- Bluetooth를 페어링하는 동안 Bluetooth 램프는 켜진 상태로 유지됩니다.
- 스마트 기기에 따라 오디오가 높은 음량 또는 귀에 거슬리는 수준의 음량으로 재생될 수 있습니다. 오디오를 재생하기 전에 스마트 기기의 음량을 조절하십시오.

전용 앱 사용

이 악기의 전용 앱을 사용하여 악기 기능을 더욱 편리하게 설정할 수 있습니다.

1 스마트 기기에 악기의 전용 앱을 설치합니다.

2 Bluetooth로 악기와 스마트 기기를 연결합니다.

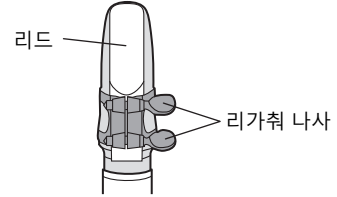
앱에서 다음과 같이 악기를 설정할 수 있습니다. 자세한 내용은 앱 설명서를 참조하십시오.

- 사용자 음색 편집/운지 정보 편집/음색 선택 바로가기 활성화, 비활성화 등.

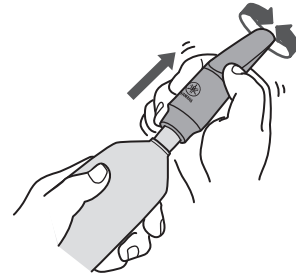
연주 후 악기 관리

악기를 케이스에 보관하기 전에 마우스피스를 제거하고 레버와 마우스피스 근처의 습기를 닦아내십시오.

1 리가취 나사를 풀고 리드와 리가취를 마우스피스에서 제거합니다.



2 마우스피스를 단단히 잡고 양쪽으로 돌려 넥에서 분리합니다.

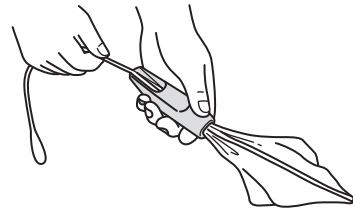


주의사항

- 마우스피스를 제거할 때는 넥 아래 부분에 굽히는 힘을 가하지 마십시오. 넥에 과도한 힘을 가하면 손상될 수 있습니다.

3 소제봉(별도 판매)으로 마우스피스 안쪽을 청소하십시오.

- * 마우스피스 끝이 상하지 않게 주의하십시오.
- * 소제봉은 항상 깨끗하고 건조한 상태로 보관하십시오.



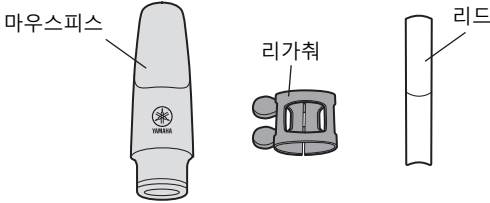
4 부드러운 마른 천으로 레버와 키를 닦으십시오.

■ 리드 및 리가취 설정

마우스피스를 본체 넥에 끼우고 양쪽으로 돌립니다. 마우스피스를 연결한 후 리드와 리가취를 마우스피스에 설치합니다.

주의사항

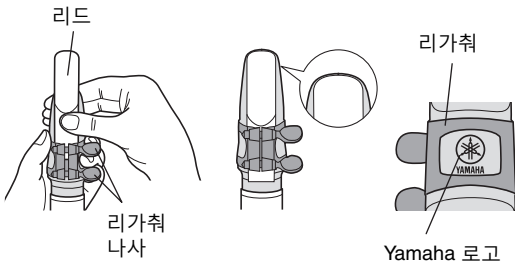
- 리드 끝부분이 약하므로 리가취 등 다른 부분에 의해 손상되지 않도록 주의하십시오.



1 리가취는 가늘어지는 쪽 끝부분부터 마우스피스로 밀어 넣습니다.

2 마우스피스 가장자리가 리드 끝부분 위로 살짝 보이도록 리드를 놓습니다. 리가취의 나사 2개를 조여서 리드를 제자리에 고정합니다.

- * 소리굽쇠 로고가 리가취의 열린 부분 중앙에 위치하도록 리가취 위치를 조정합니다.



주의사항

- 이 악기에 제공되는 전용 마우스피스 세트(마우스피스, 리드, 리가취)를 사용하십시오. 그렇지 않은 경우 소리가 정상적으로 나지 않거나 다른 오작동이 발생할 수 있습니다.
- 리드가 움직이지 않을 정도로만 리가취 나사를 조입니다. 지나치게 나사를 조이지 않도록 주의하십시오.
- 물로 악기나 악기 내부를 씻지 마십시오. 악기가 손상될 수 있습니다.
- 악기 넥에 윤활유를 바르지 마십시오. 넥이 손상될 수 있습니다.
- 넥과 마우스피스의 연결이 헐거워지면 O링을 기본으로 제공되는 교체 O링으로 바꾸십시오.
- 사용 중에 리드 끝이 부서지거나 변형되면 기본으로 제공되는 교체 리드로 바꾸십시오.

문제 해결

• 소리가 증지하지 않습니다.

- 다시 전원을 켜보십시오.
- 마우스피스 연결부 안쪽 구멍에 남은 액체로 인해 소리가 증지하지 않을 수 있습니다. 가는 면봉으로 구멍에서 액체를 닦아내십시오.

사양

제품명	디지털 색소폰
음색	AWM 샘플링
Bluetooth	Bluetooth 버전: 4.2 지원 프로파일: A2DP Bluetooth Low Energy MIDI 사양과 호환 무선 출력: Bluetooth Class 2 최대 통신 가능 거리: 약 10m 무선 주파수 (작동 주파수) (EIRP): 2,402~2,480MHz 최대 출력: 4dBm 모듈레이션 유형: FHSS
전원	USB AC 어댑터: 5V/1A 자체 전원식 USB 허브: 5V/1A 4개의 "AA" 사이즈 알카라인(LR6), 망간(R6) 또는 니켈망간 충전식(HR6) 배터리
전원 사용량	4.5W(USB AC 어댑터 사용 시)
오토 파워 오프	있음
치수(W x D x H)	699mm(W) x 110mm(D) x 103mm(H)
중량	1.0Kg(배터리 미포함)

- * 이 설명서 내용은 공개 날짜 기준 최신 사양에 적용됩니다. 최신 설명서는 Yamaha 웹사이트에서 파일을 다운로드하십시오.
사양, 장비 또는 별도 판매 부속 제품은 지역마다 다를 수 있으므로, Yamaha 대리점에 문의하십시오.

产品中有害物质的名称及含量

部件名称	有害物质					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr (VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
外壳、框架	×	○	○	○	○	○
印刷线路板	×	○	○	○	○	○
电缆类	×	○	○	○	○	○
扩音装置	×	○	○	○	○	○

本表格依据 SJ/T 11364 的规定编制。

○：表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 GB/T 26572 规定的限量要求以下。

×：表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 GB/T 26572 规定的限量要求。



此标识适用于在中华人民共和国销售的电器电子产品。

标识中间的数字为环保使用期限的年数。

注意事项

请在操作使用前，首先仔细阅读下述内容

请将本说明书存放在安全且便于取阅的地方，以便将来随时参阅。



警告

为了避免因触电、短路、损伤、火灾或其它危险可能导致的严重受伤甚至死亡，请务必遵守下列基本注意事项。这些注意事项包括但不限于下列情况：

电源

- 请勿将 USB 线缆放置在取暖器或暖气片附近。此外，请勿过分弯折、损伤电线，或在其上加压重物。
- 只能使用本乐器所规定的额定电压。所要求的电压被印在本乐器的铭牌上。
- 定期检查电插头，擦除插头上积起来的脏物或灰尘。

请勿打开

- 本乐器不含任何用户可自行修理的零件。请勿打开本乐器或试图拆卸其内部零件或进行任何方式的改造。若出现异常，请立即停止使用，并请有资质的 Yamaha 维修人员进行检修。

关于潮湿的警告

- 请勿让本乐器淋雨或在水附近及潮湿环境中使用，或将盛有液体的容器（如花瓶、瓶子或玻璃杯）放在其上，否则可能会导致液体溅入任何开口。如果任何液体如水渗入本乐器，请立即切断电源并从 AC 电源插座拔出插头。然后请有资质的 Yamaha 维修人员对乐器进行检修。
- 切勿用湿手插拔电源线插头。

火警

- 请勿在乐器上放置燃烧着的物体，比如蜡烛。燃烧的物体可能会倾倒并引发火灾。

对电子医疗设备的影响

- 无线电波或磁场可能会影响电子医疗设备。
 - 请勿在靠近医疗设备或使用无线电波受限制的区域范围内使用本产品。
 - 请勿在装有心脏起搏器或除颤器人员的 15 厘米范围内使用本产品。

电池

- 请遵照以下注意事项。否则，可能会导致爆炸、火灾、过热或电池液泄漏。
 - 请勿玩弄或拆卸电池。
 - 请勿将电池丢弃到火中。
 - 请勿试图对非充电电池进行充电。
 - 请使电池远离项链、发夹、硬币和钥匙等金属物件。
 - 只能使用规定的电池类型（第 15 页）。
 - 请使用相同类型、相同型号以及由相同厂商生产的新电池。
 - 装入电池时，请务必使其正负极与 +/- 极标记保持一致。
 - 当电量用尽，或者长时间不使用本乐器，请从乐器中取出电池。
 - 使用镍氢电池时，请遵照电池附带的使用说明。在充电时，请务必使用规定的充电设备。
- 请将电池放置在小孩够不到的地方以免其误吞。
- 万一电池发生泄漏，请勿接触泄漏的电解液。万一电解液进入眼睛、嘴或接触到皮肤，请立即用水冲洗并就医。电解液具有腐蚀性，可能导致视力丧失或化学灼伤。

当意识到任何异常情况时

- 当出现以下任何一种问题时，请立即关闭电源开关并从电源插座中拔出电源线插头。（如果正在使用电池，请从乐器中取出所有电池。）然后请有资质的 Yamaha 维修人员进行检修。
 - USB 线缆或插头出现磨损或损坏。
 - 散发出异常气味或冒烟。
 - 一些物体掉入乐器中。
 - 使用乐器过程中声音突然中断。
 - 如果乐器上存在任何裂缝或破损。



注意

为了避免您或周围他人可能发生的人身伤害、乐器损坏或财产损失，请务必遵守下列基本注意事项。这些注意事项包括但不限于下列情况：

电源

- 请勿使用多路连接器把乐器连接到电源插座。否则会降低声音质量，或者可能使插座过热。
- 当从本乐器或电源插座中拔出电源线插头时，请务必抓住插头而非 USB 线缆。直接拽拉 USB 线缆可能会导致线缆损坏。
- 当长期不使用本乐器或发生雷电时，请从电源插座中拔出电源线插头。
- 请使用规定的 USB 电源适配器（第 10 页）。使用不适当的适配器可能会损坏乐器或使乐器过热。

安放位置

- 请勿将本乐器放在不稳定的地方，否则乐器可能会突然翻倒。
- 搬动乐器之前，请务必拔出所有的连接线缆，以防止损坏线缆或绊倒他人造成人身伤害。
- 使用带电插头时，请务必保证使用的 AC 电源插座在平面视域中伸手可及。如果发生问题或者故障，请立即断开电源开关并从电源插座中拔下插头。即使关闭电源开关，仍有极少量的电流流向本产品。预计长时间不使用本产品时，请务必将插头从 AC 电源插座断开。

连接

- 将本乐器连接到其它电子设备之前，请关闭所有设备的电源开关。在打开或关闭所有设备的电源开关之前，请将所有音量都调到最小值。
- 务必将所有元件的音量调到最小值，并且在演奏乐器时逐渐提高音量，以达到理想的听觉感受。

对由于不正当使用或擅自改造本乐器所造成的损失、数据丢失或破坏，Yamaha 不负任何责任。

当不使用本乐器时，请务必关闭电源。

即使 [⏻]（待机/打开）开关处于待机状态（电源灯熄灭），也会有极少量的电流流向乐器。

当长时间不使用本乐器时，请务必将电源线插头从壁式 AC 电源插座中拔出。

请务必根据当地的规定处理废弃的电池。

操作处理

- 请勿在乐器的间隙中插入手指或手。
- 请勿在面板或键盘上的间隙内插入或掉落纸张、金属或其它物体。否则可能对您或他人造成人身伤害、对乐器或其它物品造成损坏，或发生操作故障。
- 请勿将身体压在本乐器上或在其上放置重物，操作按钮、开关或插孔时要避免过分用力。
- 如果笛头、簧片或哨卡损坏，请勿使用本乐器。
- 请将小零件保存在婴儿接触不到的地方。否则可能误吞。
- 请勿长时间持续以很高或令人不适的音量使用本乐器/设备或耳机，否则可能会造成永久性听力损害。若发生任何听力损伤或耳鸣，请尽快就医。
- 使用背带时，请确保背带牢固地安装于乐器上。
- 请勿用背带将乐器提起。这可能会对乐器造成严重的伤害或损坏。
- 请勿以粗暴的方式对待乐器，比如摇摆乐器等。否则乐器上的背带可能会脱落并造成意外事故，如乐器掉落或伤害附近的人。

须知

为避免本产品、数据或其他部件可能受到的损坏，请注意下列事项。

■ 操作处理

- 请勿将本产品直接连接到公共场所的 Wi-Fi 和/或网络。只能通过具有强大密码保护的路由器使本产品连接网络。请咨询相关路由器生产厂家，以了解有关安全最佳做法的信息。
- 请勿在电视机、收音机、立体声设备、移动电话或其它电子设备附近使用本乐器。否则，本乐器、电视机或收音机可能会产生噪音。当您配合手机或平板电脑等智能设备使用本乐器时，建议您先打开“飞行模式”再开启蓝牙，这样可以减少蓝牙连接过程中出现的噪音。
- 请勿将本乐器置于灰尘过多、摇晃较强或极寒极热的场所（如长时间置于直晒的日光下、取暖器附近或轿车内），以防止产品面板变形而导致内部元件损坏或运行不稳定。（已验证的工作温度范围：5°-40°C，或 41°-104°F。）
- 请勿在本乐器上放乙烯、塑料或橡胶物体，否则可能使面板或键盘脱色。
- 请勿让乐器上的某个按键长时间处于按下状态，这样可能会损坏该按键。

■ 维护保养

- 请使用软布清洁本乐器。请勿使用涂料稀释剂、溶剂、酒精、清洁液或浸有化学物质的抹布。
- 请当心不要把本乐器置于有水的环境中。如果有水洒到乐器上，请使用软布擦拭干净。

信息

■ 关于本说明书

- Bluetooth® 文字商标和标志均为注册商标，由蓝牙技术联盟（Bluetooth SIG, Inc.）所有，Yamaha 公司已获得该商标的使用权。



- 本使用说明书中所使用的公司名和产品名都是各自公司的商标或注册商标。

本产品的型号、序列号、电源要求等规格可能标在铭牌上或铭牌附近，铭牌位于本机后部。请将该序列号填写到下方的横线上，并妥善保存本说明书，以便在产品被盗时作为永久购买凭证使用。

型号名称

序列号

(rear_zh_01)

关于蓝牙

蓝牙技术是在约 10 米（33 英尺）范围内采用 2.4 GHz 频段在不同设备之间进行无线传输的技术。

■ 蓝牙传输操作处理

- 蓝牙兼容设备所使用的 2.4 GHz 频段是多种设备类型共用的无线电波段。虽然蓝牙兼容设备采用的技术能够减小同一无线电波段下其它元件所带来的影响，但这可能会拖慢传输速度或缩短传输距离，在某些情况下甚至会导致传输中断。
- 信号传输的速度和通讯距离根据通讯设备之间的距离、障碍物的存在、无线电波条件和设备的类型不同而异。
- Yamaha 不保证本设备与兼容蓝牙功能的设备之间的所有无线连接。

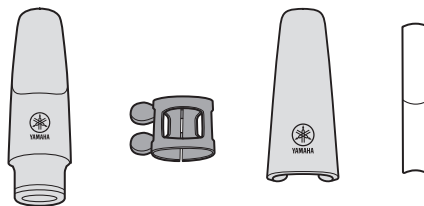
如果在底部标签的右上角印有“Y”标识，则表示乐器没有蓝牙功能。

为便于您理解使用说明书的内容，本公司已经依据国家的相关标准尽可能的将其中的英文表述部分翻译成中文。但是，由于音乐上旋律、节奏、曲目等的专业性、通用性及特殊性，仍有部分内容仅以原文形式予以记载。如您有任何问题，烦请随时与本公司客服联系（热线：400-051-7700）。

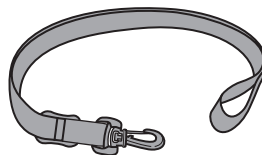
感谢您购买 Yamaha 电子萨克斯！此电子萨克斯可用于在家中演奏和练习。为了充分利用本乐器高级而又方便的功能，我们建议您仔细阅读本说明书。也建议您将本说明书放置于安全便捷的地方，以便将来随时参阅。

包含附件

- 笛头套装（笛头、哨卡、笛头帽、簧片）× 1



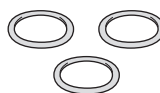
- 背带 × 1



注

- 背带存放于专用乐器盒内的储物袋中。

- 可替换 O 型垫圈 × 1 组（含 3 个）



- 可替换簧片 × 1



- 专用乐器盒 × 1

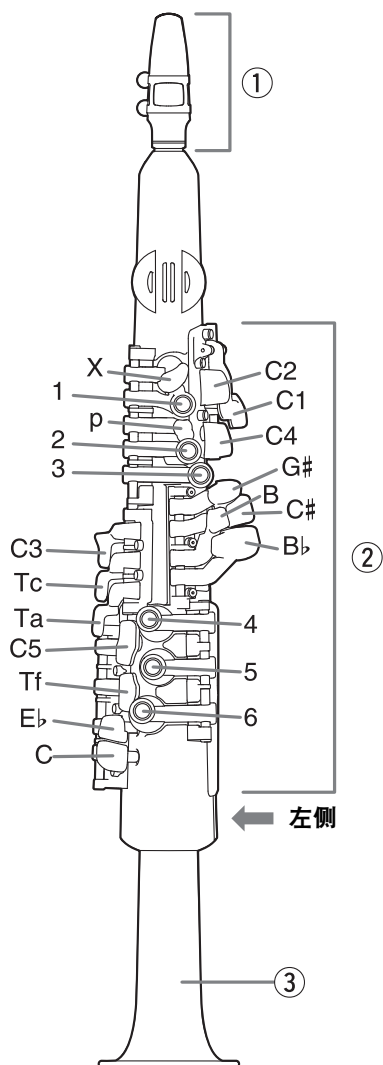
须知

- 确保仅将本乐器及其背带存放于该专用乐器盒内，因为若存放其他物品，则可能损坏乐器按键。

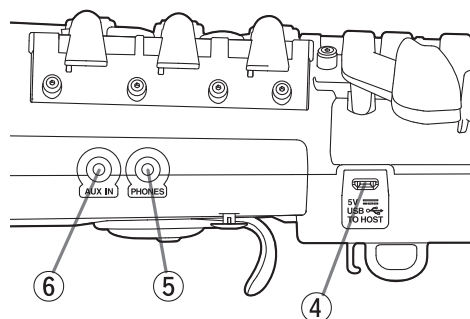
- 使用说明书 × 1

控制和功能

正面



左侧



① 笛头套装

本乐器专用。

② 按键

(指法表：第 20 页)

③ 喇叭

喇叭内设有排水口。热气冷凝形成的水珠和呼气产生的多余潮气可以从此处排出。

④ 5 V DC-IN/USB TO HOST 端口

Micro USB Type-B 端口。

用于连接 USB 电源适配器、USB 移动电池或带 USB 线缆的个人电脑。

须知

- 请使用长度小于 3 米，两端分别为 USB A 和 micro USB 接口的线缆。请勿使用型号为 USB 3.0 的线缆。

⑤ PHONES 插孔

用于连接立体声耳机或其它设备的迷你立体声耳机插头 (3.5 mm)。插入耳机时，本乐器的内置扬声器自动消音。

⚠ 注意

- 为了避免听力损伤，请勿长时间以高音量使用耳机。
- 将本乐器连接到其它电子设备之前，请关闭所有设备的电源开关。在打开或关闭所有设备的电源开关之前，请将所有音量都调到最小值。否则可能会造成永久性听力损害。

⑥ AUX IN 插孔

用于输入音频播放器的声音，从 (带 3.5 mm 迷你立体声耳机插头) 乐器的内置扬声器可以听到这个声音。如需调节 [AUX IN] 插孔的输入音量，请在音频设备上调节音频播放的音量。

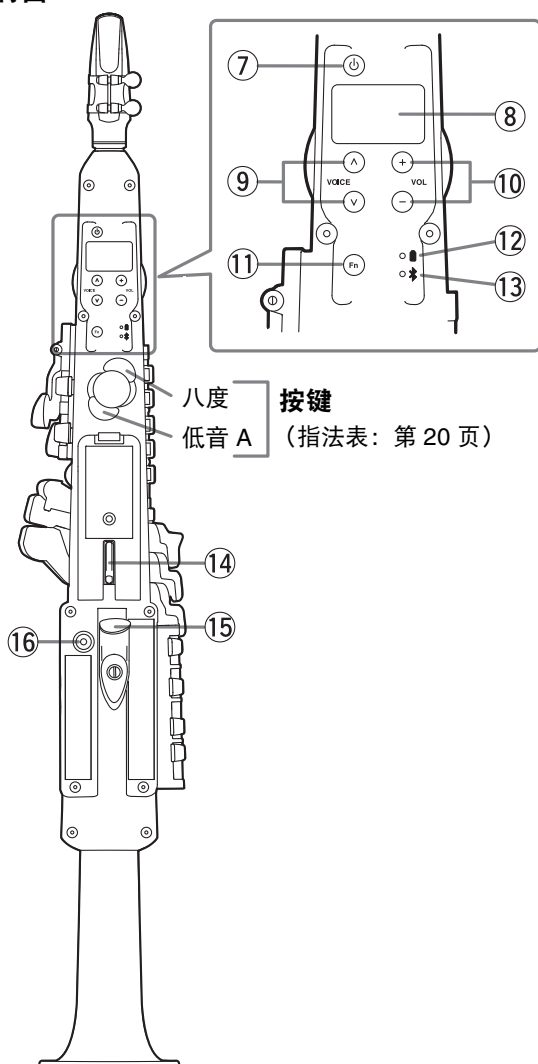
⚠ 注意

- 为避免可能的损坏，请先打开外接设备的电源，然后打开本乐器的电源。关闭时，请先关闭本乐器的电源，再关闭外接设备的电源。否则可能会造成永久性听力损害。

注

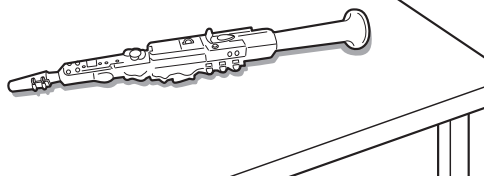
- 如果音频设备的输出插孔不匹配音频线缆的立体声迷你耳机插头，可以使用适当的转接头。
- 使用无串联电阻的音频线缆或适配器插头。

背面



放置乐器

不演奏乐器时，请按下图所示将其放置在平坦的表面上。请勿将乐器置于座椅、乐谱架或其他类似的不平稳表面上，否则存在乐器跌落的风险。同时请勿将乐器斜靠于墙面等地方。



须知

- 请勿在未提供其他支撑物的情况下竖立乐器。乐器倾倒后产生的撞击可能损坏乐器。如果您希望竖立乐器，请使用商用乐器支架。

⑦ [⏻] (待机/打开) 按钮

请按此按钮开机。

⑧ LED 屏幕

用于信息显示，比如以数字和文字组合的方式显示音量。

⑨ VOICE [^]/[v] 按钮

点按该按钮以切换声色。

⑩ VOL [-]/[+] 按钮

点按该按钮以增大或减小音量。长按该按钮可快速调节音量。

- 设置范围：0 至 15，过载（默认值：13）
- 同时按 VOL [-] 按钮和 VOL [+] 按钮以恢复默认音量设置。

⑪ [Fn] (功能) 按钮

在按住此按钮的同时按下特定按键可唤起不同功能。该按钮还可用于实现部分功能。

⑫ 电源指示灯

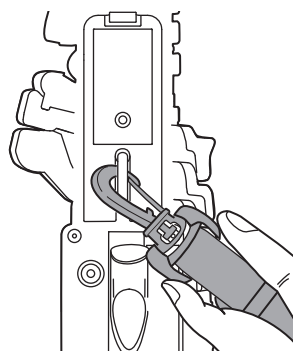
⑬ 蓝牙指示灯

⑭ 背带挂环

将背带固定到此挂环上。

如何固定背带

将所附背带牢牢固定在该挂环上。您可以根据使用需要轻松调节背带长度。



⑮ 拇指钩

在演奏过程中通过该装置用拇指支撑乐器。将右手拇指置于拇指钩处，紧紧握住乐器。

⑯ 模拟控制器

用于切换声色。

演奏前

■ 电源要求


本乐器可通过以下两种方式进行供电。决定使用哪个供电方式，并按照指示进行设置。

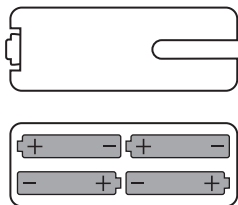
须知

- 如果您尚未从乐器中取出电池便将乐器连接到商用 USB 电源适配器或 USB 移动电池，将优先使用 USB 线缆所接设备为本乐器充电。
- 本产品不带 USB 电源适配器销售，消费者应配套使用获得 CCC 认证并满足标准要求的 USB 电源适配器。


电池使用

如果用电池为本乐器供电，请使用 4 节 5 号碱性电池（LR6）/ 锰电池（R6）或可充电镍氢电池。

- 1 确保本乐器电源已关闭。**
电源指示灯（）在电源切断后熄灭。
- 2 更换电池时，请先将乐器倒置并放在软布上，再打开电池盖。**
- 3 装入 4 节新电池，确保按照电池盒内标出的极性符号安装。**



● 剩余电池电量

如果剩余电池电量仅为 5 或 10 分钟*，电源指示灯（）将会闪烁。另外，剩余电量快耗尽时，电源指示灯将自动熄灭，乐器进入待机模式。

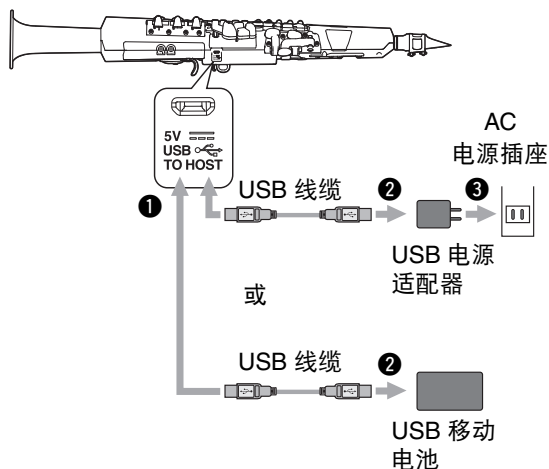
* 具体情况视使用环境而定。

注

- 我们建议您经常查看电源指示灯，以免出现演奏过程中电量耗尽的情况。

使用 USB 电源适配器或 USB 移动电池（另售）

按照图中所示顺序将 USB 线缆连接至 USB 电源适配器或 USB 移动电池（另售）。断开 USB 线缆时，请按照上述顺序进行逆向操作。



- 仅使用与 USB 标准兼容的 USB 电源适配器或 USB 移动电池进行供电。

输出电压 4.8 V 至 5.2 V

输出电流 1.0 A 或以上




注意

- 使用 USB 电源适配器或 USB 移动电池前，请务必阅读相关注意事项。

■ 打开电源/待机

1 按下 [⏻] (待机/打开) 按钮接通电源。

当电源打开后，电源指示灯 () 亮起为红色。在向笛头吹气的同时根据需要调整音量。



! 注意

- 请勿长时间持续以很高或令人不适的音量使用本乐器或耳机，否则可能会造成永久性听力损害。

须知

- 打开电源时，请勿尝试其它操作，如吹奏笛头等。否则可能会造成乐器故障。

2 按住 [⏻] (待机/打开) 按钮一秒钟以上启用待机模式。

! 注意

- 即使处于待机模式，乐器中仍有微量的电流。预计长时间不使用本乐器时，请务必从 AC 电源插座上断开 USB 电源适配器，或从乐器中取出电池。
- 如果 5 秒以上没有按下任意按键或按钮，LED 显示器将自动关闭。这时仅需按下任意按钮或移动乐器，LED 显示器将恢复显示。

● 启用/禁用自动关机

为避免不必要的电力消耗，本乐器配有自动关机功能，设备处于零操作状态一段时间后（30 分钟），电源将自动关闭。该功能默认打开，您可通过 [Fn] 按钮更改设置。

须知

- 如果您的乐器连接到如功放和计算机等其它设备并且在 30 分钟内不打算使用本乐器，如对应产品的使用说明书中所述，我们建议您关闭所有设备。这样做可以避免损坏其它设备的风险。如果不希望乐器在连接至其它设备时自动关机，请禁用自动关机功能。

■ 调节乐器音量

调节音量。

点按 VOL [+] 一次，音量增大 1。点按 VOL [-] 一次，音量减小 1。您可以在 0 到 15 (od (过载)) 的范围内调节音量大小。音量默认值为 13。

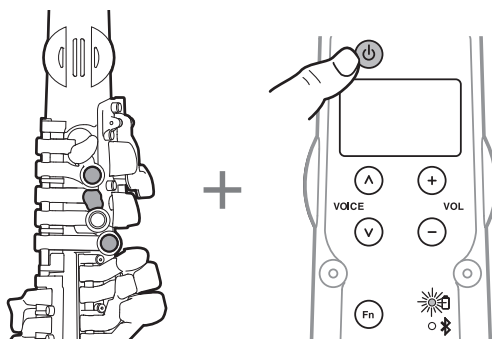


* “od” (过载) 设置为最大音量，声音最强。请注意特定音色或低音量可能造成声音失真。

■ 初始化

如果您希望恢复出厂设置，请执行此操作。

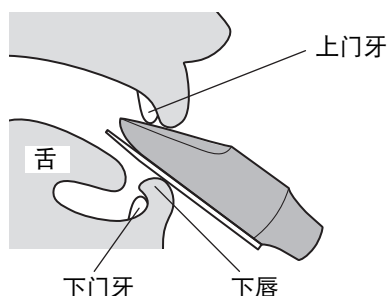
- 1 如果电源打开，请先关闭电源。
- 2 请同时按下 [1]、[p] 和 [3] 并打开电源。



演奏乐器

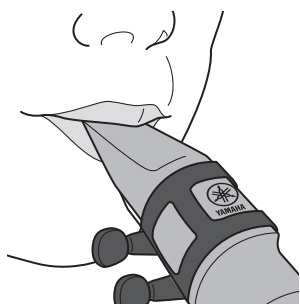
■ 口型

将笛头含于口中，使上门牙位于距笛头顶端 1 厘米处。用下唇盖住下门牙，以免牙齿直接接触到簧片。



将簧片置于下唇上，用嘴包住笛头以避免在吹气时空气从嘴角漏出。

* 请勿用力咬簧片或笛头。



■ 如何奏乐

将笛头含于口中并吹气。用力吹气可加大音量，反之可降低音量。不必像吹奏原音萨克斯一样拨动簧片。

注

- 与原音萨克斯不同的是，在本乐器上调节笛头没入脖管的长度并不能改变音高。

■ 选择一种音色

您可以根据喜好选择一种音色和音调，比如低音萨克斯、高音萨克斯等。

1 按下 VOICE [^]/[v] 按钮。

音色编号显示在 LED 显示屏上。有关音色名称，请参照音色一览表第 19 页。



LED 屏幕上可能出现下述情况：

R.01 至 *R.17*: 中音萨克斯音色 (E \flat 调)

S.01 至 *S.13*: 高音萨克斯音色 (B \flat 调)

F.01 至 *F.15*: 次中音萨克斯音色 (B \flat 调)

b.01 至 *b.11*: 上低音萨克斯音色 (E \flat 调)

C.01 至 *C.17*: 非萨克斯音色 (C 调)

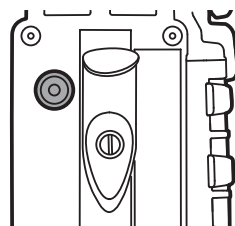
U.01 至 *U.20*: 您可以选择经专用应用编辑过的用户音色 (第 14 页)。详见专用应用使用说明书。

使用模拟控制器

根据所选音色不同，模拟控制器的默认功能也有所不同。

- 升高或降低音高。(弯音)
- 使声音出现颤音。(调制)
- 音高在音符滑动过程中流畅过渡。(滑音)

有关每种音色对应的模拟控制器的具体功能，请见本文件末音色一览表。



注

- 滑音是一种在不同音高间流畅地上下滑动的演奏技巧。在给一种音色增加滑音效果时，请移动拇指控制器以实现音高的流畅切换。

使用 [Fn] 按钮更改设置

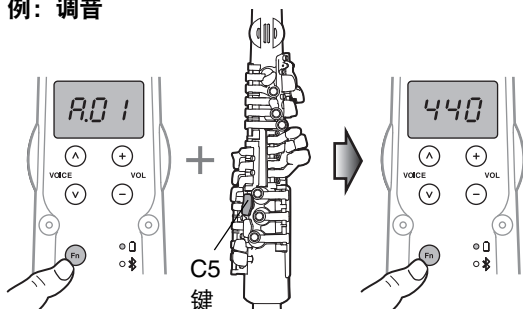
请在按住 [Fn] 按钮的同时按下其他按键来完成对本乐器不同功能的设置。

基本操作

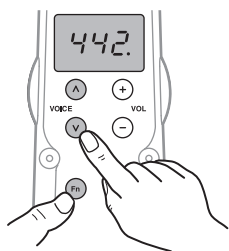
请遵照下列步骤，完成各功能的设置。

- 1 在按住 [Fn] 按钮的同时，按下相关功能对应的按键。在完成设置前，请勿松开 [Fn] 按钮。如果您中途松开按钮，此时的值会保存为设置，并且系统将返回音色选择界面。

例：调音



- 2 在按住 [Fn] 按钮的同时，按下 VOICE [^]/[v] 按钮并选择预期值。



注

- 同时按下两个 VOICE [^]/[v] 按钮可将所设值恢复为默认出厂设置。

- 3 选择好值后，松开 [Fn] 按钮。
设置完成，系统返回音色选择界面。

功能	设置	按键
呼气阻力 确定音量随着持续呼气力度而变化的程度。数值越低，乐器对呼气力度反应的灵敏度越高。	1 至 5 默认值：3	C3
呼气反馈 确定音量随着最初呼气力度而变化的程度。数值越高，您吹奏出声音需要的呼气力度就越大。	1 至 10 默认值：5	Tc
按键反馈 在手指同时按下或松开多个按键时，避免时间差带来的杂音。数值越高，杂音就越少。	1 至 20 默认值：10	Ta
调音 调节乐器的整体音高。音高大小将在 LED 屏幕上显示。您可以在 427 到 453 Hz 的范围内，通过每次升高或降低 0.5 Hz 来调节音高。在 LED 显示屏上，一个小数点代表 0.5 Hz。	427 至 453 (Hz) 默认值：440	C5
自动关机 启用该功能，乐器便可以自动关机。右栏中数值将在 LED 屏幕上显示。	Off、5、10、15、30、60、120 (分钟) 默认值：30	Tf
蓝牙功能开启/关闭 开启或关闭蓝牙功能。开启蓝牙并把耳机连接到乐器上，您就可以通过蓝牙聆听智能设备或类似设备上播放的音乐。	On, Off 默认值：Off	Eb
混响 设置混响效果。设定值越大，混响效果越强。混响效果仅能通过耳机输出。 注 • 混响效果与 AUX IN 输入或通过蓝牙接收的音频数据互不影响。	Off (1 至 5) 默认值：Off	G#

●开启蓝牙功能，与智能设备配对

1 开启蓝牙功能。

蓝牙开启后，蓝牙指示灯 (📶) 将慢速闪烁。在使用蓝牙音频 (Bluetooth Audio) 前请先进行配对。如果与乐器连接的是本乐器专用应用，则无需进行此操作。

2 在按下 [Fn] 按钮的同时，请按 C 键。

这样做可以让本乐器处于配对待机模式。长按 [Fn] 按钮。

- LED 屏幕：[b--] 配对待机
- LED 屏幕：[---] 蓝牙功能关闭

3 在长按 [Fn] 按钮的同时，请按下 VOICE [∧] 按钮以开始配对。

LED 屏幕将切换为以下界面，同时蓝牙指示灯 (📶) 快速闪烁。



注

- 如需取消配对，请按 VOICE [V] 按钮。

4 在智能设备上选择连接。

如果操作处理的是音频，请选择 [YDS-150 Audio]。

5 配对完成后，蓝牙指示灯将从快速闪烁转换为常亮。

如果配对失败，蓝牙指示灯将慢速闪烁，同时 LED 显示屏上出现 [b--]。

6 如果第三步开始后 5 分钟仍未完成配对，则配对失败。

7 松开 [Fn] 按钮。

系统将返回音色选择界面。

注

- 配对成功后，蓝牙指示灯保持常亮。
- 音频播放音量可能较高或令人不适，具体视智能设备而定。播放音频前，请调节您所连接的智能设备的音量。

使用专用应用

您可以使用本乐器专用应用以更方便地设置乐器的部分功能。

1 在智能设备上安装此乐器的专用应用。

2 通过蓝牙连接本乐器与智能设备。

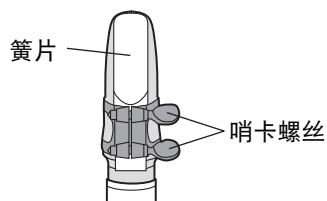
您可以在此应用上进行下列乐器设置。详见专用应用使用说明书。

- 编辑用户音色/编辑指法信息/启用和禁用音色选择快捷方式等。

演奏结束后乐器的维护保养

在将乐器放入乐器盒存储前，请从乐器上取下笛头，并擦拭喇叭和笛头附近出现的水汽。

1 松开哨卡螺丝，并从笛头上取下哨卡和簧片。



2 从脖子上取下下乐器时，请先紧握笛头，再将乐器轻轻从脖子一侧滑至另一侧取下。

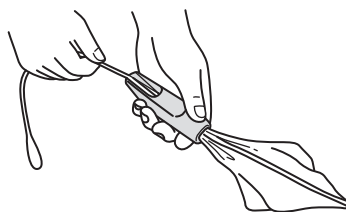


须知

- 取下笛头时，请避免弯折脖管。用力过猛可能损坏脖管。

3 请使用通条布（另售）清洁笛头内部。

- * 注意不要损坏笛头顶端。
- * 始终保持通条布清洁干燥。



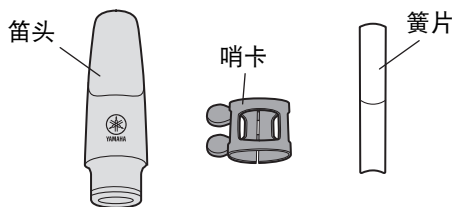
4 请使用干燥的软布清洁喇叭和按键。

■ 设置簧片和哨卡

将笛头滑入脖管后，轻轻左右旋转笛头。装上笛头后，请将簧片和哨卡安装在笛头上。

须知

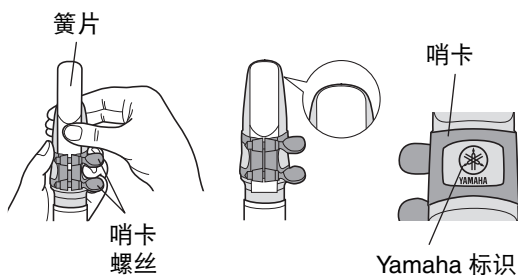
- 簧片头极易损坏，请谨慎操作以避免被哨卡等损坏。



1 将哨卡从锥端滑入套在笛头上方。

2 调整簧片位置，保证可以在簧片末端隐约看到笛头边缘。拧紧哨卡上的两颗螺丝从而将簧片固定到位。

* 调整哨卡位置，使调音叉的标识位于哨卡开口的中央。



须知

- 请使用本乐器随附的专用笛头套装（笛头、簧片、哨卡）否则可能出现乐器无法正常发声或其他功能异常的情况。
- 适当拧紧哨卡螺丝，可以防止簧片移动即可。请注意，不要拧得过紧。
- 请勿用水清洗本乐器或乐器内部。否则可能会损坏乐器。
- 请勿在乐器的脖管上涂抹油脂。否则可能会损坏脖管。
- 如果脖管和笛头连接松动，请使用随附的 O 型垫圈进行更换。
- 如果在使用过程中簧片顶端出现磨损或变形，请使用随附的簧片进行更换。

故障排除

• 无须停止声音。

- 请尝试重启电源。
- 笛头连接处的小孔内留有残余液体也可能造成声音无法停止。请使用细棉布将残余液体擦拭干净。

技术规格

产品名称	电子萨克斯
音色	AWM 采样
蓝牙	蓝牙版本：4.2 支持的协议：A2DP 符合蓝牙低功耗的 MIDI 规格 无线输出：蓝牙等级 2 最大传输距离：约 10 米 射频（工作频率）：2,402 至 2,480 MHz 最大输出功率 (EIRP)：4 dBm 调制类型：FHSS
电源	USB AC 电源适配器：5 V/1 A 供电式 USB 集线器：5 V/1 A 4 节 5 号碱性电池 (LR6)、 锰电池 (R6) 或 可充电镍氢 (HR6) 电池
功耗	4.5 W（使用 USB AC 电源适配器时）
自动关机	是
尺寸（宽 × 深 × 高）	699 mm（宽）× 110 mm（深）× 103 mm（高）
重量	1.0 kg（不含电池）

* 本说明书的内容适用于发布时的最新技术规格。如需获取最新的说明书，请访问 Yamaha 官网下载。
各个地区的商品技术规格、设备或另售附件可能会有所不同，请咨询当地 Yamaha 经销商。

For electrical and electronic products using batteries.

Information for users on collection and disposal of old equipment and used batteries:



These symbols on the products, packaging, and/or accompanying documents mean that used electrical and electronic products and batteries should not be mixed with general household waste.

For proper treatment, recovery and recycling of old products and used batteries, please take them to applicable collection points, in accordance with your national legislation.

By disposing of these products and batteries correctly, you will help to save valuable resources and prevent any potential negative effects on human health and the environment which could otherwise arise from inappropriate waste handling.

For more information about collection and recycling of old products and batteries, please contact your local municipality, your waste disposal service or the point of sale where you purchased the items.



For business users in the European Union:

If you wish to discard electrical and electronic equipment, please contact your dealer or supplier for further information.

Information on Disposal in other Countries outside the European Union:

These symbols are only valid in the European Union. If you wish to discard these items, please contact your local authorities or dealer and ask for the correct method of disposal.



Note for the battery symbol (bottom two symbol examples):

This symbol might be used in combination with a chemical symbol. In this case it complies with the requirement set by the EU Battery Directive for the chemical involved.

Cd

(weee_battery_eu_en_02)

Verbraucherinformation zur Sammlung und Entsorgung alter Elektrogeräte und benutzter Batterien



Befinden sich diese Symbole auf den Produkten, der Verpackung und/oder beiliegenden Unterlagen, so sollten benutzte elektrische Geräte und Batterien nicht mit dem normalen Haushaltsabfall entsorgt werden.

In Übereinstimmung mit Ihren nationalen Bestimmungen bringen Sie alte Geräte und benutzte Batterien bitte zur fachgerechten Entsorgung, Wiederaufbereitung und Wiederverwendung zu den entsprechenden Sammelstellen.

Durch die fachgerechte Entsorgung der Elektrogeräte und Batterien helfen Sie, wertvolle Ressourcen zu schützen, und verhindern mögliche negative Auswirkungen auf die menschliche Gesundheit und die Umwelt, die andernfalls durch unsachgerechte Müllentsorgung auftreten könnten.

Für weitere Informationen zum Sammeln und Wiederaufbereiten alter Elektrogeräte und Batterien kontaktieren Sie bitte Ihre örtliche Stadt- oder Gemeindeverwaltung, Ihren Abfallentsorgungsdienst oder die Verkaufsstelle der Artikel.



Information für geschäftliche Anwender in der Europäischen Union:

Wenn Sie Elektrogeräte ausrangieren möchten, kontaktieren Sie bitte Ihren Händler oder Zulieferer für weitere Informationen.

Entsorgungsinformation für Länder außerhalb der Europäischen Union:

Diese Symbole gelten nur innerhalb der Europäischen Union. Wenn Sie solche Artikel ausrangieren möchten, kontaktieren Sie bitte Ihre örtlichen Behörden oder Ihren Händler und fragen Sie nach der sachgerechten Entsorgungsmethode.



Anmerkung zum Batteriesymbol (untere zwei Symbolbeispiele):

Dieses Symbol kann auch in Kombination mit einem chemischen Symbol verwendet werden. In diesem Fall entspricht dies den Anforderungen der EU-Batterierichtlinie zur Verwendung chemischer Stoffe.

Cd

(weee_battery_eu_de_02)

Informations concernant la collecte et le traitement des piles usagées et des déchets d'équipements électriques et électroniques



Les symboles sur les produits, l'emballage et/ou les documents joints signifient que les produits électriques ou électroniques usagés ainsi que les piles usagées ne doivent pas être mélangés avec les déchets domestiques habituels.

Pour un traitement, une récupération et un recyclage appropriés des déchets d'équipements électriques et électroniques et des piles usagées, veuillez les déposer aux points de collecte prévus à cet effet, conformément à la réglementation nationale.

En vous débarrassant correctement des déchets d'équipements électriques et électroniques et des piles usagées, vous contribuerez à la sauvegarde de précieuses ressources et à la prévention de potentiels effets négatifs sur la santé humaine qui pourraient advenir lors d'un traitement inapproprié des déchets.

Pour plus d'informations à propos de la collecte et du recyclage des déchets d'équipements électriques et électroniques et des piles usagées, veuillez contacter votre municipalité, votre service de traitement des déchets ou le point de vente où vous avez acheté les produits.



Pour les professionnels dans l'Union européenne :

Si vous souhaitez vous débarrasser des déchets d'équipements électriques et électroniques, veuillez contacter votre vendeur ou fournisseur pour plus d'informations.

Informations sur la mise au rebut dans d'autres pays en dehors de l'Union européenne :

Ces symboles sont seulement valables dans l'Union européenne. Si vous souhaitez vous débarrasser de déchets d'équipements électriques et électroniques ou de piles usagées, veuillez contacter les autorités locales ou votre fournisseur et demander la méthode de traitement appropriée.



Note pour le symbole « pile » (deux exemples de symbole ci-dessous) :

Ce symbole peut être utilisé en combinaison avec un symbole chimique. Dans ce cas, il respecte les exigences établies par la directive européenne relative aux piles pour le produit chimique en question.

Cd

(weee_battery_eu_fr_02)

Información para usuarios sobre la recogida y eliminación de los equipos antiguos y las pilas usadas



Estos símbolos en los productos, embalajes y documentos anexos significan que los productos eléctricos y electrónicos y sus pilas no deben mezclarse con los desperdicios domésticos normales.

Para el tratamiento, recuperación y reciclaje apropiados de los productos antiguos y las pilas usadas, llévelos a puntos de reciclaje correspondientes, de acuerdo con la legislación nacional.

Al deshacerse de estos productos y pilas de forma correcta, ayudará a ahorrar recursos valiosos y a impedir los posibles efectos desfavorables en la salud humana y en el entorno que de otro modo se producirían si se trataran los desperdicios de modo inapropiado.

Para obtener más información acerca de la recogida y el reciclaje de los productos antiguos y las pilas, póngase en contacto con las autoridades locales, con el servicio de eliminación de basuras o con el punto de venta donde adquirió los artículos.



Para los usuarios empresariales de la Unión Europea:

Si desea desechar equipos eléctricos y electrónicos, póngase en contacto con su vendedor o proveedor para obtener más información.



Información sobre la eliminación en otros países fuera de la Unión Europea:

Estos símbolos solamente son válidos en la Unión Europea. Si desea desechar estos artículos, póngase en contacto con las autoridades locales o con el vendedor y pregúnteles el método correcto.

Nota sobre el símbolo de pila (dos ejemplos de símbolos en la parte inferior):

Este símbolo se puede utilizar en combinación con un símbolo químico. En este caso, cumple el requisito establecido por la Directiva de la UE sobre pilas correspondiente a la sustancia química utilizada.

Cd

(weee_battery_eu_es_02)

Informações para os utilizadores relativas à recolha e eliminação de baterias e equipamentos usados



Os símbolos ilustrados, presentes em produtos, embalagens e/ou incluídos na documentação associada, indicam que as baterias e os produtos elétricos e eletrónicos usados não devem ser eliminados juntamente com os resíduos domésticos em geral.

O procedimento correto consiste no tratamento, recuperação e reciclagem de produtos e baterias usados, pelo que deve proceder à respetiva entrega nos pontos de recolha adequados, em conformidade com a legislação nacional em vigor.

A eliminação destes produtos e baterias de forma adequada permite poupar recursos valiosos e evitar potenciais efeitos prejudiciais para a saúde pública e para o ambiente, associados ao processamento incorreto dos resíduos.

Para mais informações relativas à recolha e reciclagem de baterias e produtos usados, contacte as autoridades locais, o serviço de eliminação de resíduos ou o ponto de venda onde foram adquiridos os itens relevantes.



Informações para utilizadores empresariais na União Europeia:

Para proceder à eliminação de equipamento elétrico e eletrónico, contacte o seu revendedor ou fornecedor para obter informações adicionais.



Informações relativas à eliminação em países não pertencentes à União Europeia:

Estes símbolos são válidos exclusivamente na União Europeia. Caso pretenda eliminar este tipo de itens, contacte as autoridades locais ou o seu revendedor e informe-se acerca do procedimento correto para proceder à respetiva eliminação.

Nota relativa ao símbolo referente a baterias (os dois exemplos de símbolos na parte inferior):

Este símbolo poderá ser apresentado com um símbolo químico associado. Neste caso, significa que está em conformidade com os requisitos estabelecidos na Diretiva da UE relativa a Baterias no âmbito do elemento químico relacionado.

Cd

(weee_battery_eu_pt_02a)



Important Notice:
U.S. LIMITED WARRANTY for Customers in the United States

For detailed information about this Yamaha product and warranty service, please either visit the following website address (printable file is available at our website) or contact Customer Service at the address or telephone number identified below.

Website Address:

<https://usa.yamaha.com/support/warranty/index.html>

Customer Service:

Yamaha Corporation of America
6600 Orangethorpe Avenue, Buena Park, CA
90620-1273 Telephone: 800-854-1569

音色リスト / Voice List / Voice-Liste / Liste des sonorités / Lista de voces / Lista de voces / Список тембров / 음색 목록 / 音色一览表

Display	Voice Name	Trans-position	Analog Controller
A.01	Alto Sax 1 (Pop)	E♭ (-9)	Pitch Bend
A.02	Alto Sax 2 (Straight)	E♭ (-9)	Pitch Bend
A.03	Alto Sax 3 (Jazzy)	E♭ (-9)	Pitch Bend
A.04	Alto Sax 4 (Ballad)	E♭ (-9)	Pitch Bend
A.05	Alto Sax 5 (Rock)	E♭ (-9)	Pitch Bend
A.06	Alto Sax 6 (Funky)	E♭ (-9)	Pitch Bend
A.07	Alto Sax 7 (Classic)	E♭ (-9)	Pitch Bend
A.08	Alto Sax 8 (Rich Classic)	E♭ (-9)	Pitch Bend
A.09	Alto Sax 9 (Rich Vibrato)	E♭ (-9)	Pitch Bend
A.10	Alto Sax 10 (Modern Classic)	E♭ (-9)	Pitch Bend
A.11	DUAL Alto Sax 1 (Octave Alto and Tenor)	E♭ (-9)	Pitch Bend
A.12	DUAL Alto Sax 2 (4th Alto and Soprano)	E♭ (-9)	Pitch Bend
A.13	DUAL Alto Sax 3 (5th Alto and Tenor)	E♭ (-9)	Pitch Bend
A.14	FX Alto Sax 1 (Distortion Effect)	E♭ (-9)	Pitch Bend
A.15	FX Alto Sax 2 (Overdrive Effect)	E♭ (-9)	Pitch Bend
A.16	FX Alto Sax 3 (Flanger Effect)	E♭ (-9)	Pitch Bend
A.17	FX Alto Sax 4 (Phaser Effect)	E♭ (-9)	Portamento
S.01	Soprano Sax 1 (Pop)	B♭ (-2)	Pitch Bend
S.02	Soprano Sax 2 (Straight)	B♭ (-2)	Pitch Bend
S.03	Soprano Sax 3 (Jazzy)	B♭ (-2)	Pitch Bend
S.04	Soprano Sax 4 (Bright Pop)	B♭ (-2)	Pitch Bend
S.05	Soprano Sax 5 (Classic)	B♭ (-2)	Pitch Bend
S.06	Soprano Sax 6 (Rich Classic)	B♭ (-2)	Pitch Bend
S.07	Soprano Sax 7 (Smooth)	B♭ (-2)	Pitch Bend
S.08	DUAL Soprano Sax 1 (Octave Soprano and Alto)	B♭ (-2)	Pitch Bend
S.09	DUAL Soprano Sax 2 (4th Soprano and Alto)	B♭ (-2)	Pitch Bend
S.10	FX Soprano Sax 1 (Overdrive Effect)	B♭ (-2)	Pitch Bend
S.11	FX Soprano Sax 2 (Overdrive Effect)	B♭ (-2)	Pitch Bend
S.12	FX Soprano Sax 3 (Distortion Effect)	B♭ (-2)	Pitch Bend
S.13	FX Soprano Sax 4 (Phaser Effect)	B♭ (-2)	Portamento
T.01	Tenor Sax 1 (Pop)	B♭ (-14)	Pitch Bend
T.02	Tenor Sax 2 (Straight)	B♭ (-14)	Pitch Bend
T.03	Tenor Sax 3 (Jazzy)	B♭ (-14)	Pitch Bend
T.04	Tenor Sax 4 (Breathy)	B♭ (-14)	Pitch Bend
T.05	Tenor Sax 5 (Rock)	B♭ (-14)	Pitch Bend
T.06	Tenor Sax 6 (Funky)	B♭ (-14)	Pitch Bend
T.07	Tenor Sax 7 (Classic)	B♭ (-14)	Pitch Bend
T.08	Tenor Sax 8 (Rich Classic)	B♭ (-14)	Pitch Bend

Display	Voice Name	Trans-position	Analog Controller
T.09	DUAL Tenor Sax 1 (Octave Tenor and Alto)	B♭ (-14)	Pitch Bend
T.10	DUAL Tenor Sax 2 (Octave Tenor and Baritone)	B♭ (-14)	Pitch Bend
T.11	DUAL Tenor Sax 3 (4th Tenor and Alto)	B♭ (-14)	Pitch Bend
T.12	FX Tenor Sax 1 (Distortion Effect)	B♭ (-14)	Pitch Bend
T.13	FX Tenor Sax 2 (Overdrive Effect)	B♭ (-14)	Pitch Bend
T.14	FX Tenor Sax 3 (Flanger Effect)	B♭ (-14)	Pitch Bend
T.15	FX Tenor Sax 4 (Phaser Effect)	B♭ (-14)	Portamento
B.01	Baritone Sax 1 (Pop)	E♭ (-21)	Pitch Bend
B.02	Baritone Sax 2 (Jazzy)	E♭ (-21)	Pitch Bend
B.03	Baritone Sax 3 (Ballad)	E♭ (-21)	Pitch Bend
B.04	Baritone Sax 4 (Rock)	E♭ (-21)	Pitch Bend
B.05	Baritone Sax 5 (Slap)	E♭ (-21)	Portamento
B.06	DUAL Baritone Sax 1 (Octave Baritone and Tenor)	E♭ (-21)	Pitch Bend
B.07	DUAL Baritone Sax 2 (15th Baritone and Soprano)	E♭ (-21)	Pitch Bend
B.08	DUAL Baritone Sax 3 (5th Baritone and Tenor)	E♭ (-21)	Pitch Bend
B.09	FX Baritone Sax 1 (Distortion Effect)	E♭ (-21)	Pitch Bend
B.10	FX Baritone Sax 2 (Overdrive Effect)	E♭ (-21)	Pitch Bend
B.11	FX Baritone Sax 3 (Phaser Effect)	E♭ (-21)	Portamento
C.01	Harmonica	C (0)	Pitch Bend
C.02	Irish Pipes	C (0)	Pitch Bend
C.03	Pan Pipes	C (0)	Pitch Bend
C.04	Shakuhachi (Japanese Bamboo Flute)	C (0)	Pitch Bend
C.05	Di Zi (Chinese Transverse Flute)	C (+12)	Pitch Bend
C.06	Sawtooth Lead 1	C (0)	Pitch Bend
C.07	Sawtooth Lead 2	C (+12)	Pitch Bend
C.08	Sawtooth Lead 3	C (0)	Pitch Bend
C.09	Sawtooth Lead 4	C (0)	Pitch Bend
C.10	Sawtooth Lead 5	C (0)	Pitch Bend
C.11	Square Lead 1	C (0)	Modulation
C.12	Square Lead 2	C (0)	Pitch Bend
C.13	Square Lead 3	C (+12)	Portamento
C.14	Resonance Lead 1	C (0)	Pitch Bend
C.15	Resonance Lead 2	C (0)	Modulation
C.16	Resonance Lead 3	C (-12)	Portamento
C.17	Sawtooth Bass	C (-24)	Pitch Bend

フィンガリングチャート / Fingering Chart / Griffabelle / Tableau des doigts /

- | | |
|-------------|----------|
| ● 押さえる | ○ 放す |
| Close | Open |
| Geschlossen | Offen |
| Fermé | Ouvert |
| Cerrado | Abierto |
| Fechado | Aberto |
| Закрытый | Открытый |
| 닫힘 | 열림 |
| 关闭 | 开启 |

この表は代表的な連指を掲載しています。
楽譜は記譜音で表記しています。

This chart shows typical fingerings for saxophones. The music notation is the written pitch, and not the concert pitch.

Diese Karte zeigt die typischen Griffe für Saxophone.
Die Noten entsprechen der notierten Tonhöhe, nicht dem Kamerton.

The chart displays three rows of musical notation and corresponding fingerings for saxophone. Each note is accompanied by a diagram of the saxophone key mechanism, showing the fingerings for both closed (black dot) and open (white circle) states. The first row shows notes from G4 to G5, with a 'Low A' label pointing to the first fingering. The second row shows notes from A4 to A5. The third row shows notes from B4 to B5.

Gráfico de digitado / Tabela de digitação / Аппликатура / 운지법 / 指法表

Ce graphique représente les doigtés types pour les saxophones. La partition musicale correspond au diapason écrit et non au diapason de concert.

Este gráfico muestra los digitados habituales en los saxofones. La notación musical es el tono escrito, no el tono de concierto.

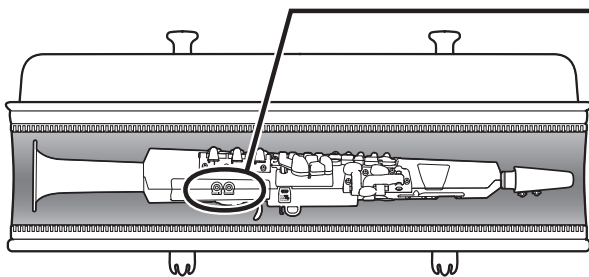
Esta tabela mostra as digitações mais comuns para saxofones. A notação musical corresponde à afinação indicada e não à afinação de concerto.

Ниже показана типичная аппликатура для саксофонов. Музыкальная нотация представлена в написанном, а не концертном строе.

이 표는 색소폰의 일반적인 운지법을 나타냅니다. 기보는 콘서트 피치가 아닌, 문서로 작성된 피치입니다.

本指法表上标有萨克斯演奏的典型指法。音符上标示的是谱面音高，而非演奏音高。

MEMO



PHONES 端子の孔を真上に向ける。

Make sure the PHONES jack is facing up.

Achten Sie darauf, dass die PHONES-Buchse nach oben zeigt.

Vérifiez que la prise PHONES est sur le haut.

Asegúrese de que la toma PHONES apunte hacia arriba.

O conector PHONES deve estar voltado para cima.

Убедитесь, что разъем PHONES находится сверху.

PHONES 잭이 위로 향하도록 하십시오.

请确认PHONES插孔正面朝上。

ご注意

- 楽器本体をケースに収納するときは、製品本体のPHONES 端子の孔を真上に向けて収納してください。それ以外の向きで収納すると、キイが故障するおそれがあります。

NOTICE

- Make sure that the PHONES jack is facing up when storing the instrument in the case. Failing to do so can cause damage to the keys.

ACHTUNG

- Achten Sie darauf, dass die PHONES-Buchse nach oben zeigt, wenn Sie das Instrument in den Koffer legen. Andernfalls können die Klappen beschädigt werden.

AVIS

- Vérifiez que la prise PHONES est sur le haut lorsque vous rangez l'instrument dans son étui. Sinon, vous risqueriez d'endommager les clés.

AVISO

- Al guardar el instrumento en el estuche, asegúrese de que la toma PHONES apunte hacia arriba. De no hacerlo así, podría dañar las llaves.

AVISO

- Verifique se o conector PHONES está voltado para cima ao guardar o instrumento na caixa. Caso contrário, as teclas poderão ser danificadas.

УВЕДОМЛЕНИЕ

- Убирая инструмент в футляр, убедитесь, что разъем PHONES находится сверху. Несоблюдение этого правила может привести к повреждению клавиш.

주의사항

- 악기를 케이스에 보관할 때는 PHONES 잭이 위로 향하도록 하십시오. 그렇지 않으면 키가 손상될 수 있습니다.

须知

- 将乐器放入乐器盒储存之前，请确认PHONES插孔正面朝上。否则可能损坏按键。

雅马哈乐器音响（中国）投资有限公司

上海市静安区新闻路1818号云和大厦2楼

客户服务热线：4000517700

公司网址：<http://www.yamaha.com.cn>

制造商：雅马哈株式会社

制造商地址：日本静冈县滨松市中区中泽町10-1

进口商：雅马哈乐器音响（中国）投资有限公司

进口商地址：上海市静安区新闻路1818号云和大厦2楼

原产地：印度尼西亚

Manual Development Group
©2020 Yamaha Corporation
Published 06/2020
2020年6月发行
POEI-A0

VDH5520